

## 1. 景気の現状に対する判断理由等

景気の現状に対する判断の理由及びそれに対する追加説明等について、その主だったもの及び特徴的と考えられるものを取りまとめると以下のとおりであった。

### 1. 北海道（地域別調査機関：株式会社北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北海道)		-	-	-
		一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・10月は衆議院選挙や大型台風があったが、引き続き国内観光客の売上が伸びており、全体売上は前年比103%、前々年比で121%と伸びている。北海道にもようやくアベノミクスの恩恵が表れ始めたかみている。ただ、当店に限れば、急激な少子化に伴い漁師の数が大幅に減少していることで原材料価格が上昇しているほか、人件費も上昇しているなど、経営面での影響が生じており、利益が前年から10%程度減少している。
		百貨店（売場主任）	競争相手の様子	・当社の10月の売上は前年比104%前後で推移しており、競合他店も前年比105～108%程度で推移している。当社だけの売上が良いのであれば、前年との施策の違いや品ぞろえの差などが影響しているとみられるが、市内全体的に売上が好調なことから、景気はやや良くなっている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・前月に引き続き外国人観光客の来店が伸びており、それに伴って客単価も上昇傾向となっている。特に特選ブランドや時計、化粧品で客単価アップ、売上アップが顕著となっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・比較的、価格の高い商材の売行きが良い。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・たばこや酒などの免許品を中心に客単価が上昇するなど、回復傾向がみられる。電子たばこの購入による上乗せや量販店などでの酒類の価格引上げの影響などの特殊要因が中心であるが、そのほかの商材についても客単価が下げ止まってきた。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・わずかではあるが、来場数や新車販売台数が前年よりも伸びている。
		自動車備品販売店（店長）	単価の動き	・国内各メーカーでタイヤの値上げがあったにもかかわらず、販売量、単価共に前年比110%以上を維持している。
		その他専門店〔医薬品〕（経営者）	お客様の様子	・徐々に前年並みの売上が確保できそうである。ただ、零細企業では、客の高齢化などにより経営が圧迫されてきている面がある。
		観光型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・近隣アジアから観光目的で訪れる外国人客が堅調に推移している。また、今年は当地でプロ野球クライマックスシリーズが行われなかったが、学会や研究会が開催されたことでカバーでき、減少分以上の売上を稼ぐことができた。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・ここにきて下期の問い合わせ件数などが増加してきたことから、景気はやや上向いている。
		タクシー運転手	販売量の動き	・衆議院選挙の影響による需要の停滞感はあったが、稼働状況はおおむね堅調に推移した。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・技術売上は横ばい状態だが、関連商材の売上が前年から5%程度上昇している。やや割高な商材であっても、客が価値を認めれば買う傾向にある。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・衆議院選挙も終わり、株式市場も活況を呈していることから、景気は順調に上向きで推移している。客のムードもとても良い。
		商店街（代表者）	単価の動き	・高額商材の販売量が減っており、客単価が下がっている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・客の動きに変化がないため、景気も変わらないままである。	
	商店街（代表者）	販売量の動き	・10月は衆議院選挙の影響で物販店や飲食店に大きな落ち込みがみられ、月を通してもばん回できない状況であった。	
	百貨店（担当者）	来客数の動き	・4月以降、周辺の客足動向は前年と比べて安定した増加傾向にあるが、やや高止まりしてきている。ただ、街ぐるみでの共催イベントなどがあると来客数は伸びる。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	来客数の動き	・ここ数か月、来客数が前年割れしている。客の節約志向も依然として変わっていない。近隣の競合店によるディスカウントの影響が大きい。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・ここ数年、競合のディスカウントストアの攻勢によって、来客数がかかり減少しており、売上もダウンしている。特に生鮮食料品の価格差が大きいことから、客がディスカウントストアに流れる傾向がみられる。
		スーパー（役員）	来客数の動き	・ここ数か月と比べると、10月の来客数は増加しているものの、客単価が前年比マイナス1.5%、買上率が前年比マイナス3%となっており、どうにか前年並みの売上を維持している状況となっている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・たばこやビールなどの嗜好品の売上が増加している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・依然として来客数が前年を下回っている。特に夕方から夜間にかけての落ち込みが大きい。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数、買上客数共に前年を下回っている。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・10月のスーツ関連の販売量は前年並みとなっている。付随するコート類の販売量にも大きな変動がみられず、景気は変わらない。
		家電量販店（店員）	来客数の動き	・来客数は前年と比較してやや落ち込んでいる。ただ、売上は前年を上回っている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・前月に引き続き10月も新型車効果が続いている。ただ、11月になると雪が降り始めるため、これから販売量が段々と落ち込むことになる。
		その他専門店 【ガソリンスタンド】（経営者）	販売量の動き	・石油製品価格が安定していることから、景気に変化がみられない。
		高級レストラン（経営者）	単価の動き	・物価がじわじわと上がってきている割に、給料が上がってこないため、家庭の負担が増大している。年末に備えて購買意欲が落ち込む時期であるため、当店のような飲食店は伸び悩んでいる。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・建設、土木などの一部の業種からの受注が好調であるが、市場全体が潤っているとまではいえない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・10月も前月までと同様に乗務員不足の影響でタクシーの稼働が悪い。タクシー1台当たりの売上は前年を3%程度上回っているが、会社の売上は前年比マイナス7%であった。
		タクシー運転手	販売量の動き	・売上の減少傾向が続いている。当市の人口減少の影響が徐々に表面化してきている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・10月の利用状況は、前月と比べて10～15%の落ち込みとなっており、依然として厳しい状況が続いている。
		通信会社（社員）	お客様の様子	・定例発売の商材の発売時期がずれ込んだことで、10月は全体的に活気が上がらずに終わった。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・ここ3か月、売上がほとんど変わらない。
		その他サービスの動向を把握できる者【フェリー】（従業員）	来客数の動き	・観光シーズンも終盤を迎えたが、依然として見込み以上の輸送量がみられる。
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・10月は衆議院選挙があり、選挙の結果次第で消費税などの動向が左右される可能性があったため、様子見している客が多かった。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・駐車場の在庫状況及びバスの乗降客数などから、商店街区域の10月の来客数を判断すると、初旬から中旬にかけては平日を中心に微減していたが、下旬は比較的多くの客がみられた。天候不順などの影響で、冬物用品などを買い求める客が多かった。ただ、売上を伸ばした3か月前と比べると、景気はやや悪い状況にある。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・衆議院選挙の影響で客足が遠のいた。
		百貨店（営業販売促進担当）	来客数の動き	・来客数が前月に引き続きマイナスとなっている。特にイベントや催事の弱い週の落ち込みが大きく、雑貨部門や食品部門にも悪影響が生じている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		スーパー（役員）	それ以外	・水産業の不振が続いている。加工業者を含めて地域全体に影響が広がっている。	
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・記録的不漁の影響で、港町の店舗では来客数の減少が著しい。	
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・地元基幹産業が低迷していることで、関連する業界も含めて、全般的に景気がやや悪くなっている。	
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新型車効果が全くみられず、販売量が伸びてこない。	
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・前年の北海道新幹線開業効果が薄れていることで、10月の来客数は前年実績のみならず、前々年実績も下回った。特に国内観光客の鈍化が顕著である。その一方で、東南アジアからの外国人観光客の姿が目立った。ランチは相変わらず満席になるが、以前と比べて待ち時間が少なくなっている。ディナーは7～8割の入込となっている。全体の来客数は前月に続き、前年を9%下回った。	
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・10月の売上は天候などの影響があり、やや悪かった。特に台風やみぞれに関する注意報が出るとフリー客が減少した。西洋料理が季節替わりにやや弱いことにも要因がある。	
		スナック（経営者）	来客数の動き	・10月は衆議院選挙があったことで、客の入込がやや少なかった。	
		観光型ホテル（役員）	来客数の動き	・国内客は団体客、個人客共に予約状況が悪かった。外国人観光客は個人客の予約状況が増加傾向にあるものの、団体客が悪かった。10月は全体的に宿泊予約が低調であった。	
		旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・国内客、外国人観光客の端境期となり、これから冬の流水観光が始まるまでは来客数の伸びない時期となる。一方、管内からの旅行客は、高校の修学旅行や農業系団体などの需要が活発になる時期だが、全体的な旅行客数は夏場繁忙期には及ばない。	
		タクシー運転手	来客数の動き	・衆議院選挙の公示が始まった時期から利用客数がやや落ち込んだ。また、台風などの天候の影響もあり、観光目的の客からのキャンセルが発生した。	
		通信会社（企画担当）	お客様の様子	・新商品が想定の7割程度しか売れなかった上、格安なサービスへの乗換えが想定よりも多かった。ただし、道内法人部門については好調を堅持している。	
		観光名所（従業員）	販売量の動き	・当施設における飲食・販売部門の10月25日時点の売上は前年の約83%となっている。例年よりも早い冷え込みがみられることや台風の影響などで、来客数が減っている。	
		パチンコ店（役員）	単価の動き	・冬に向けて、燃料などの単価が上昇していることで、消費者の生活が苦しくなっている。また、加工業、製造業にも影響が生じている。	
		美容室（経営者）	来客数の動き	・月によって来客数にばらつきがあることから、景気はやや悪くなっている。	
		×	一般小売店【酒】（経営者）	お客様の様子	・当社の得意先である飲食店についてみると、食事が中心の店も、酒が中心の店も同様に客がとてまもなく苦戦していたことから、当店の販売量も落ち込んだ。理由はよく分からないが、極端に売上の悪い月であった。
		×	コンビニ（オーナー）	それ以外	・地元客が少なくなっている傾向にあるなかで、外国人観光客の利用も減ってきている。
	×	タクシー運転手	販売量の動き	・売上が前年を下回り続けていることから、景気は確実に後退傾向にある。	
企業 動向 関連 (北海道)		-	-	-	
		食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・3か月前の7月の販売量は前年比92.8%であったが、10月の販売量は前年比99.8%であったことから、景気はやや良くなっている。	
		建設業（役員）	受注量や販売量の動き	・工事の追い込み時期に入り、完成工事高が計画を上回っている。民間建築工事の引き合いも引き続き多い。	
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・取引先から、上半期を終えた段階での今期の業績見通しについて拡大傾向とみている話を聞く機会が増えている。	
		コピーサービス業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・店舗展開している客先から、店舗の建て替えに関する話を最近よく聞くようになった。2018～2019年にかけての建て替えも複数件予定があるようである。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他非製造業 [鋼材卸売] (従業員)	受注量や販売量の動き	・人手不足の影響により省力化を進めようという動きが強まっており、生産効率改善のための設備需要などが増えてきている。
		食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・3か月前と比べても、特に売上に変化はみられず、前年とほぼ同様の状況で推移している。
		家具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・百貨店などの小売の状況が良くない。政治的に不安定な状況が市況に悪影響を及ぼしているようにみえる。天候不順も影響している。
		建設業(従業員)	受注量や販売量の動き	・中堅以上のゼネコン建築部門はおおむね年度内の受注目標を達成するなど、飽和状態にあり、新規受注物件に対応できない状況となっている。
		輸送業(支店長)	受注量や販売量の動き	・道外との貨物の移出入量のバランスが取れてきたが、道内農産物の出荷もピークを迎えているため、全体的にトラック不足に陥っている。結果的に、価格の高い下請業者にも声をかけざるを得ず、忙しい割にもうかっていない状態となっている。
		金融業(従業員)	取引先の様子	・住宅投資に陰りがみられる。公共投資もピークアウトしつつある。一方、小売販売額が堅調に推移するなど、個人消費は底堅く推移しており、道内景気は3か月前と比べて横ばいとなっている。
		司法書士	取引先の様子	・前年の同時期と比べて、不動産関係の売買取引、建物の建築などが下向き傾向にある。
		司法書士	取引先の様子	・日経平均株価が上昇傾向にあるものの、一向に景気回復の実感がない。また、衆議院選挙の影響による一過性のものか、季節的な要因かは不明だが、不動産取引の成約件数も減少している。
		その他サービス業[建設機械レンタル](総務担当)	受注量や販売量の動き	・受注量の前年比をみると、前月は前年並みの伸びとなったが、10月は再び前年から5%程度の伸びを示している。
		輸送業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・農作物関連は、前年の不作の影響により倉庫の在庫もほとんどなかったことから、今秋の収穫が始まった8~10月までの輸送量が少なく、厳しい状態が続いている。また、北海道付近を台風が通過したことで、海上輸送への影響もみられた。
	x	-	-	-
雇用関連 (北海道)		人材派遣会社 (社員)	求人数の動き	・企業の求人意欲が高まっている。特に営業職の求人依頼が多く、続いて経理、総務、IT系の人材へのニーズが強い。有効求人倍率が高いこともあり、すぐに採用できないことは企業側も承知しているようで、すぐ見付からなくても、継続して探してほしいとの要望も多い。企業の業績が安定又は拡大していることで、余裕のある様子がうかがえる。また、販売促進の人材ニーズも高く、企業の商材を売る意欲が高まっているようにみえる。
		新聞社[求人広告](担当者)	周辺企業の様子	・流通業の売上が前月を上回る傾向がみられる。また、新車販売台数や住宅着工数の伸びも顕著になってきている。これらのことから、当地の雇用環境はやや良くなっている。
		求人情報誌製作会社(編集者)	求職者数の動き	・紙媒体やWeb、SNSなどの媒体にかかわらず、求人に対する求職者の反応が著しく鈍化しつつある。全業種、全職種で同様の傾向がみられる。
		求人情報誌製作会社(編集者)	求人数の動き	・人手不足だが人材が集まらないため、求人を探める事業所が増えている。一方で、正社員化や制度、待遇の見直しなど、現在いる従業員を定着させるための動きが出てきている。
		求人情報誌製作会社(編集者)	求人数の動き	・市役所の移転工事、駅前の再開発、台風被害の復旧工事など、公共事業を中心に、建築、土木系の事業が今後数年にわたり見込めるが、人手不足で仕事を受けられないケースも多く、道外の事業所に仕事が行われている。結果的に仕事はあっても、人を雇用することができないという課題が多く聞かれる。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・月間有効求職者数が5年11か月連続で前年を下回り、月間有効求人数が8か月連続で前年を上回ったことから、有効求人倍率は1.09倍と前年を7年7か月連続で上回った。
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・建設関連の受注が順調である。また、スキーなどの冬季アウトドアシーズンを控えて、宿泊業などにおいて体制を確保するための求人申込の動きがみられる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所(職員)	求人数の動き	・9月の有効求人倍率は1.11倍となり、1年1か月ぶりに前年を上回った。業種によっては人手不足が深刻化している。
		*	*	*
	x	-	-	-

## 2. 東北(地域別調査機関:公益財団法人東北活性化研究センター)

(-:回答が存在しない、\*:主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (東北)		衣料品専門店(店長)	来客数の動き	・スーツ、礼服などの重衣料を購入する客や、単価を気にしないで購入する客の割合が増えている。出張や結婚式を機会に服の購入をしようとする気運が、消費行動のなかに表われている。
		一般小売店[医薬品](経営者)	単価の動き	・今月は衆議院選挙があったにもかかわらず、高額商材が売れたため、客単価が上がっている。お金を持っている客が増えたように見受けられる。
		一般小売店[医薬品](経営者)	販売量の動き	・特に販売量の動きが活発であり、前年比約102%となっている。医薬品、化粧品的好調は相変わらずであるが、更に生活にすぐに必要ではないバッグなどの雑貨類の売行きが良い。
		百貨店(買付担当)	お客様の様子	・前月に引き続き秋物が好調に推移しているが、特に定価品の動きが良くなっている。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・10月の売上は前年比99%であるが、9月の売上は95.8%のため、若干の改善が見受けられている。
		スーパー(総務担当)	単価の動き	・1品単価が上昇しているため、来客数は若干減少しつつも、それ以上に客単価が上がっている。
		コンビニ(経営者)	販売量の動き	・以前からの客単価や買上点数の好調が継続している。今月も特に大きなイベントやキャンペーンがなかったにもかかわらず、堅調に推移している。
		衣料品専門店(店長)	お客様の様子	・9月に1度寒くなったこともあり、秋冬物商材の立ち上がりが早い。例年と比較しても高単価な商品の動きが活発である反面、全体の来客数が伸び悩んでいることが懸念材料である。
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・年末に向けて営業活動を強化しており、その効果が徐々に表れてきている。
		住関連専門店(経営者)	販売量の動き	・受注量が増えている。
		その他小売[ショッピングセンター](統括)	来客数の動き	・衆議院選挙や台風の影響が多少あったものの、駅前を取り巻く集客環境は依然として好調である。
		都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・多くの全国大会や東北地区大会が地元で開催されている。その恩恵を受けて、宿泊部門はかなりの高稼働率を維持している。また、インバウンド誘致による飛行機の直接乗り入れがあり、台湾から多くの観光客が来日している。婚礼部門が若干の落ち着きをみせているものの、一般宴会も好調であり、全体的に上向きで推移している。
		旅行代理店(店長)	販売量の動き	・国内団体旅行の受注件数が増えている。また、個人での国内航空券購入件数も増えている。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・各企業の業績が良く、日経平均株価も値上がりしており、景気は上向きになっている。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・自宅でWi-Fiを利用する頻度が増えているため、インターネットの固定回線を導入する利用者が増加している。価格競争は厳しく、他社と比較して低価格のメニューが人気である。
		その他サービス[自動車整備業](経営者)	単価の動き	・秋に入ってから受注量が多く、単価が上がってきている。
	その他住宅[リフォーム](従業員)	来客数の動き	・リピーターによる受付が前月より7%増えている。	
	商店街(代表者)	販売量の動き	・例年であればイベントも多く、来客数、販売量の増加に期待できる時期であるが、衆議院選挙や大型台風で出足が鈍り、特にサービス関連、飲食店関係は苦戦の月となっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	来客数の動き	・9月以降は暖かく良い天候が続いて雨の日も少なく、来客数は少しずつ増えている。また、飲食店、更に衣料品関係は、バーゲンによるものではあるものの、ここに至りて秋物の動きが大変良くなっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・衆議院選挙が行われ、街中にはにぎわったものの、消費者の購買意欲に変化はない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・例年どおりの注文量はあるものの、販売量は減少している。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	販売量の動き	・突然の衆議院選挙による売上への影響はそれほどないものの、平日は相変わらず飲食店への配送が少なく静かである。
		一般小売店〔医薬品〕（経営者）	来客数の動き	・最低値まで落ち込んだ7月の来客数と10月の来客数が同程度となっているなど、来客数の減少傾向が顕著に表れている。
		一般小売店〔カメラ〕（店長）	販売量の動き	・販売量は横ばいで推移している。低額商材の動きが鈍いものの、高額商材の販売が好調なことで売上を確保している。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・気温の低下に伴い、秋冬物の動きに例年以上の反応がみられている。ただし、セールやカード施策などの動員をしても、単価、買上点数共に前年を下回っており、回復傾向とは言い難い。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・夏物商戦から回復傾向にある婦人服、紳士服などの衣料品は、今月も前年を上回っている。ただし、比較的堅調であった食品がやや苦戦しているため、全体的な景気に変化はみられていない。物産展は引き続き苦戦が続いており、展開内容や商品内容の見直しが求められている。また、高額商材においては、ブランド品の店外催事が苦戦しているものの、本来の売場は堅調である。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・大きく変動する要因がなく、景気は横ばいで推移している。
		百貨店（経営者）	販売量の動き	・さまざまな販売施策を行っているものの、不要不買の動きはますます明確になっている。現在はそのマイナス分を高額商材の好調さがカバーしているという傾向が続いている。富裕層にとっては景気が良いといえるが、中間層に浸透しているとはいえない。
		スーパー（経営者）	単価の動き	・10月の平均1品単価は前年を下回っているものの、推移は前月から横ばいである。来客数の若干の減少に伴い買上点数も同様の推移となっている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・長雨の影響により、来客数の前年比が減少している。
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・天候の影響もあり、来客数は前年比98.3%と減少している。買上点数が前年を上回っているため、売上は前年並みを確保できているが、このことで景気に変化してきているとは言い難い。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・夏前と比較しても外的環境などに変化がなく、来客数も横ばいで推移している。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・8月の長雨に始まり台風などもあったため、全体的に客の動きが悪くなっている。残暑もなく、夏の需要を見込んでいた商品の販売量が激減している。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・富裕層の顧客を中心に高額な冬物アウターが好調である。来客数の減少を単価の上昇でカバーしているものの、売上は前年並みとなっている。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・介護施設関連からの消耗品の受注は多いものの、衣料品の冬物作業服、事務服の動きが鈍い。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・秋物の動きが今一つ盛り上がっていない。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・来客数が天候に大きく左右されており、売上が安定していない。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・東北のなかでも北東北の売上が悪い。気温の低下に伴い季節商材が売れるはずなのだが、北東北の動きが悪く、南東北も前年並みであるため、景気が良いとはいえない。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は前年並みで推移している。冷蔵庫や4Kテレビなどの高額商材は好調であり、前年を上回ることができているが、ガソリン代などの高騰により、買い控えもみられている。
		家電量販店（従業員）	来客数の動き	・客単価の低下が継続している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (店長)	それ以外	・自動車メーカーの不正検査問題により、イメージダウンしている。
		住関連専門店 (経営者)	単価の動き	・客の多くは来店前にすでに予算を設定しているが、安価な予算が多く、高額商材の販売につながらない。インターネットによる安売りが原因ではないかとみている。
		住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・来客数、売上共に大きな変化はなく、横ばいで推移している。
		その他専門店 [酒](経営者)	来客数の動き	・今月は衆議院選挙があり、飲食店の状況が悪い。店頭商品が動いているため何とかなっているものの、数字が非常に読みづらくなっている。
		その他専門店 [食品](経営者)	販売量の動き	・長雨の影響により観光客の動きが鈍い。来客数の減少に伴い販売量も減少しており、単価も落ちている。原材料費の高騰の影響もあり景気が良いとはいえない。
		その他専門店 [白衣・ユニフォーム](営業担当)	販売量の動き	・今のところ、販売量の動きは好調に推移している。
		その他専門店 [ガソリンスタンド](営業担当)	来客数の動き	・10月は例年よりも早く寒くなっているため、販売量は前年を上回っている。ただし、仕入価格が上昇しているにもかかわらず価格転嫁が遅れているため、利益は減少している。そのため、全体としては横ばいの状態となっている。
		その他専門店 [ガソリンスタンド](営業担当)	販売量の動き	・大きな変動要因もなく、夏場の天候不順による販売量は低迷の状態が続いている。
		高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・選挙の影響もあり、あまり良くない状態である。
		高級レストラン (支配人)	来客数の動き	・観光客など他県からの来客数は前年に比べて伸びている。ただし、衆議院選挙などの影響もあるのか、地元客の来客数は前年を下回っている。
		一般レストラン (経営者)	単価の動き	・3か月前と比較しても特に良くも悪くもなく、小康状態が続いている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・レストランでの食事が、非日常的なジャンルになりつつある。ランチタイムでも以前のような女性客を中心とした活気がみられていない。このような状況が長く続いている。
		観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・来客数には月ごとに波があり、来客数が好調であった8～9月と比較すれば悪くなっているものの、今一つであった3か月前と比較すればあまり変わらない状況となる。
		観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・景気が上向いていることを実感できない。
		観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・紅葉シーズンに入り来客数は増えてきているものの、週末に台風など天候が崩れる事もあり、景気が上向いていることを実感するまでには至っていない。
		観光型旅館(スタッフ)	単価の動き	・単価は前年をやや下回っているものの、行楽シーズンに入り、単価の低下を来客数の増加でカバーしている。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・景気の動きに特に変化はないが、今月は台風などによるキャンセルが発生している。
		旅行代理店(店長)	来客数の動き	・相変わらず店頭の売上が低迷している。
		旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・価格重視の傾向が続いている。アジア方面やハワイ方面は前年並みの人気であるものの、韓国やグアムの問い合わせは少なく、欧州の落ち込みも大きい。客は様子見を続けており、海外から国内へという傾向も強い。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・発売したばかりの新型スマートフォンの安売りが始まるなど、売れない状況に苦戦している。インフラ整備も終わり通信業界は低迷している。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・顧客の設備投資意欲に変化がみられていない。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・コスト削減の話ばかりであり、新サービスが売れない状況が続いている。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・相変わらず商品購入に至る決定要因は価格重視となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光名所（職員）	単価の動き	・天候に恵まれず、来客数が振るわない。ただし、客の購買意欲は高く、天候の良い日は同じ来客数でも客単価が高い状態となるため、景気がどの方向に向いているのか判断しにくい。
		遊園地（経営者）	来客数の動き	・中旬まではまずまずの来客数であったが、後半の週末に2度も台風が襲来し、期待していたイベントに打撃を与えている。結果として、来客数は前年比において20%を超える落ち込みとなっている。
		競艇場（職員）	来客数の動き	・ここ数か月、固定客のみの来客数となっている。新規客が少ないため売上も増えていない。
		美容室（経営者）	単価の動き	・客単価の前年比は横ばいで推移している。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・不動産から取得する顧客が増えているが、決定までの時間が長く受注予定が組みづらくなっている。
		一般小売店〔書籍〕（経営者）	販売量の動き	・政治に対する不安や、ネット通販の利用頻度の増加など、景気が良くなるような要因がない。
		一般小売店〔酒〕（経営者）	来客数の動き	・天候が悪い日が多く、来客数が減少している。
		一般小売店〔寝具〕（経営者）	販売量の動き	・急に寒くなったため冬物商材の需要を期待しているが、客の反応は今一つ鈍いままである。
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・売上は横ばいであるが、競合店の出店により来客数は98%と減少傾向にある。チラシやポイント販促策の強化により、客単価、買上点数共に102%台で推移しているが、競合店による来客数減少に歯止めがかからない状況である。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客の動きがかなり悪くなっている。競合店が増えたこともあるが、建設関係や、まだ稲刈りが残っている農業関係の客の動きが鈍い。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・前半は来客数、客単価共に良かったが、後半の来客数は前年を下回ったため、売上は前年に届いていない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・コーヒーやドーナツなどのカウンターフーズの販売量が減少しており、来客数も前年比で3ポイント減少している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・前月は単価が悪くなかったが、10月は天候不順の影響により、来客数が減少している。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・夏に比べれば来客数、売上共に減少している。また、前月から除雪の支払も始まっており、経営的には厳しくなってきた。ただし、客単価の前年比は100%を維持しているため、客の購買意欲は低下していないとみている。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・相次ぐ自動車メーカーの不正検査問題による、自動車業界全体に対する不信感の拡大が心配である。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・自動車メーカーの不正検査問題によるリコールで、販売量が伸び悩んでいる。
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・市場で会う同業者からは、あまり景気は良くないと聞いている。夜の繁華街の景気は全体的に落ち込んでいる。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は衆議院選挙の影響なのか、来客数が激減している。8～9月が好調であったため、かなりの痛手となっている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・地元客による夜の外出率はかなり低い。イベントがあれば県外からの客で来客数を維持できるが、それがなければかなり厳しくなる。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・O157や冷夏の関係がレストランの来客数が芳しくない。衆議院選挙の影響もあり、飲食関係の売上が厳しい。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・宿泊部門、宴会部門、レストラン部門全ての数字が前年に届いていない。競合店オープンの影響もあるが、市内全体で宿泊客が減少している。また、衆議院選挙の影響もあり、レストランの来客数も減少している。
		観光名所（職員）	お客様の様子	・入場料金が発生すると聞いて帰る客が多く、特に年配の男性客に多い。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・客は高齢者が多く、施設に入所するなどして、だんだんと来客数が減少している。
	×	スーパー（経営者）	お客様の様子	・衆議院選挙があり、消費税増税の議論が高まっている。また、米の不作、デフレなどの要因で、消費者の財布のひもは固く締まっている。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	その他専門店 [靴] (従業員)	販売量の動き	・客は必要な物や安い物は購入するものの、それ以外の購入には慎重である。
企業 動向 関連  (東北)		建設業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・民間工事に合わせ、公共工事の受注も確定するなど、3か月前と比較すると景気拡大の傾向にある。
		金属製品製造業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・好調な受注が続いており、なかには断る案件もある。人手不足により製造できないことが原因の1つであることから、動向を注意深くみていく必要がある。
		電気機械器具製造業 (企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・半導体電子部品の価格が高値を維持している。
		金融業 (広報担当)	取引先の様子	・企業の設備投資意欲が改善している。指標によっても、最新の建築物着工床面積は増加しており、数か月ぶりに前年同月を上回っている。
		広告業協会 (役員)	それ以外	・10月は衆議院選挙の効果もあり、新聞社への出稿は前年を上回り、テレビ各社も前年並みに回復している。流通商業関係も持ち直している様子である。
		その他非製造業 [飲食料品卸売業] (経営者)	受注量や販売量の動き	・県内よりも県外、主に首都圏での販売量が良好である。
		食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・今年は例年あった企画がなく、土日に台風が来たこともあり、前年と比較して売上は減少している。しかし、今年から販売を開始しているハロウィーン商品により、多少のカバーができています。
		食料品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・衆議院選挙により、旅行客などの人の移動が少ないため、土産物の販売が苦戦している。
		繊維工業 (経営者)	取引先の様子	・天候不順により販売店の売上が悪い。
		木材木製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・前年ほどの過熱感はないものの、受注は依然として好調である。また、円安に伴う輸入原材料のコストアップ分の価格転嫁についても、徐々に進んできている。
		出版・印刷・関連産業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・大きなイベントがあり、一時的に売上は増えている。ただし、取引先からは、特に飲食店の景気が下降していると聞いている。
		窯業・土石製品製造業 (役員)	受注量や販売量の動き	・4～9月における東北地域の出荷量は、前年比101.7%となっているものの、落ち込みが激しかった前年との比較のため、下げ止まったままで回復はみられていない。老朽化したプラントや設備の更新を控えている工場も多く、さらに、ミキサー車の運転手の募集をしても、オリンピック需要で首都圏に人が取られているのが、なかなか集まらない。
		建設業 (企画担当)	受注価格や販売価格の動き	・手持ち工事の繁忙度の高い状態が続いている。
		輸送業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・主要荷主商品に輸出増が見込まれている。当社の取扱となる予定であるが、まだ実績にはなっていない。
		通信業 (営業担当)	取引先の様子	・地道な営業活動が実を結ぶということを実感しているものの、まだまだ景気の不透明感は拭いていない。
		通信業 (営業担当)	取引先の様子	・中小企業、地方企業への優遇施策がない。
		通信業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・通信業界は全体的に大きな伸びが期待できない状況である。
		金融業 (営業担当)	取引先の様子	・県外に販路を見出している企業は業績が良いが、県内の販路のみの企業はパイの奪い合いとなっている。
		広告代理店 (経営者)	受注量や販売量の動き	・全体的に仕事のボリュームが減ってきている。今月は衆議院選挙により広報活動の仕事が増えたものの、それを除けば大幅減の状態となっている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・大型商業施設では、一定の人出はあるものの、購入客の割合はそれほどでもない。	
	公認会計士	取引先の様子	・小売業、サービス業の決算状況は悪化している。ただし、建設業の月次状況は相変わらず黒字基調のため、全体的にはやや好調の印象がある。	
	その他非製造業 [飲食料品卸売業] (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・地元スーパーの話では、全体的に店頭価格は低下の傾向がみられている。売れる商品も特売価格の商品が主流であり、利益に結び付かず苦戦している状況が続いている。	
	その他企業 [企画業] (経営者)	受注量や販売量の動き	・天候が悪く、特に週末に襲来する台風の影響により、秋物商戦のチラシ印刷需要が、前年に比べてかなり少なくなっている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・8月の長雨の影響でももの品質が低下しており、販売価格が2～3割安くなっている。
		農林水産業（従業者）	受注量や販売量の動き	・天候不順の影響により、米の収穫量は例年になく不作となっている。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売価格の上昇により、販売量が5%ほど減少している。今年に入ってからは、販売量減少に歯止めがかからない。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・ここ3か月、売上の前年同月比は約10%の落ち込みとなっている。
		コピーサービス業（従業員）	受注量や販売量の動き	・毎月の売上はほぼ横ばいで推移しているものの、メイン商材である複合機の販売量が苦戦している。
		x	*	*
雇用 関連  (東北)		-	-	-
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数は堅調に推移している。大手メーカーの増産の影響は裾野産業の中小企業まで波及し、採用活動に動いている印象がある。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・年末の繁忙期に向けた依頼や新規依頼が若干増加している。ただし、新規登録者は依然として低調である。
		アウトソーシング企業（社員）	それ以外	・途絶えることなく仕事がきている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数の前年同月比は、8～9月共に増加で推移している。多くの求人は未充足のための更新であるが、自動車関連、半導体関連の製造業においては、受注量などの増加による求人が増えている。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・赤字であった大型受託業務が10月で終了したことにより、収益悪化要因がなくなるものの、全体的には3か月前と比べて、現状維持の状況となっている。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・地元の中堅、中小企業では大学生の新卒採用が進まず、この8月からは中途採用に切り替えている。特に、外食産業、不動産、小売業、卸業の企業は、中途採用の活動を強化している。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者は増えているものの、より高条件を求める傾向が強く、求人とのミスマッチが多い。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・年末商戦前にもかかわらず、中小企業の採用意欲は薄い。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・大都市に集中している人手不足の余波は、地方にも影響している。被災地では、ようやく社員募集をかけられるようになったものの、応募がない状態であり、結果として求人数はあまり増えていない。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・県内では、大量の解雇や希望退職者の募集による離職者が増加傾向にある。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・求人倍率の高い状態が継続しているものの、賃金の上昇や正社員待遇の求人の増加はみられていない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・人手不足の状況に変化はない。募集は続いており、また、退職者を出さない努力も続いている。
		学校就職担当者	求人数の動き	・獲得新卒求人数は、前年同期と比較して微増状態であり、特に変化はみられない。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・ここしばらく、大手時計工場の人員整理が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、ここ数か月間減少傾向が続いている。特に建設業、製造業からの求人が大幅に減少している。小売業ではフルタイムの求人数は少ないながらもそれほど変化はないが、パート求人は減少傾向にある。
	x	-	-	-

### 3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (北関東)		-	-	-
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・今月に入り、気温の低下とともに来客数が前年比105%、売上も同104%と上がってきており、良くなっている。衣料品、住居用品、食料品等いずれも前年をクリアしている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・相変わらず、国産、輸入車の新車の売行きは横ばいだが、中古車の販売量、車検、定期点検、板金塗装関係の入庫が増えている。全体的に見て売上は少ないものの、利益率が高くなっているため、2～3か月前と比べると、内容はやや良くなっている。
		一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・レストラン部門の売上は、3か月連続で前年同月を超えており、今月も同様の見込みである。忘新年会の予約も例年以上に早く、今のところ順調に推移している。
		都市型ホテル (営業)	来客数の動き	・今月に入り秋のプランが好評で、宴会はかなり上向きになってきている。それに伴って、宿泊客も増加傾向となっている。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・衆議院選挙も終わり、株価上昇や政権の安定などによる安心感もあり、年末にかけて消費が上向いている。
		ゴルフ場(総務担当)	来客数の動き	・入場予約状況は、3か月前と比較して順調であり、上向いている。ただし、予約は増加傾向だが、台風や悪天候により、実績は前年比マイナスまではいかないまでも前年並みとなってしまっている。
		設計事務所(所長)	競争相手の様子	・同業者や建設業者の話を聞いていると、忙しいところが多いようである。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・生活必需品以外を取り扱う個人商店では客足が遠のいているとはっきり分かるようになってきている。天候も足を引っ張り、毎日苦戦を強いられている。
		一般小売店[精肉](経営者)	お客様の様子	・今月は雨の1か月といえる。各地区の行事も台風と秋雨前線にたたられ、客は動かない。大企業は上向いているというが、一般消費は変わらない。
		百貨店(営業担当)	来客数の動き	・商圏内にショッピングセンターがオープンし、来客数減少を想定していたが、当初想定していたほどのマイナスの影響は見られなかった。今月は、気温の低下に伴いアパレルが堅調に推移しているほか、化粧品も引き続き堅調である。
		百貨店(店長)	来客数の動き	・天候不順で雨の日が多く、客足が減っている。
		百貨店(副店長)	お客様の様子	・隣接する大型商業施設が開業し、広域から当地区に客が集まっている。当店の来客数は2倍になり、売上も好調に推移していたが、長雨や台風にたたられている。引き続き、婦人雑貨は堅調で、婦人服、紳士服も復調してきている。ただし、開店景気や天候不順などの特殊要素が多く、現時点では良い方向に向かっているかどうかの判断は、しかなる。
		コンビニ(経営者)	お客様の様子	・客の新商品などに対する動きが、以前ほど敏感でなくなっているため、多少悪いのではないかと。
		衣料品専門店 (販売担当)	来客数の動き	・3か月前から変わらない状況ではあるが、日によっては良い日がいくらか出てきた。一方で、極端に悪い日も多くなってきている。依然として悪いままで変わっていないが、浮き沈みが極端に出てきているようである。
		乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・最近、新規の設備投資か我慢の限界なのか分からないが、2～4トン車の新規受注が相次いでいる。その一方で、車検などの整備売上は伸び悩んでいる。全体では前月と変わらない。
		乗用車販売店 (販売担当)	販売量の動き	・商談件数が極めて少なく、成約となっても、かなり値引きをしないと客が納得しない。
		自動車備品販売店 (経営者)	単価の動き	・全体的に車両販売の単価が下がってきている。単価の低い物を一生懸命売れば、それなりに売上は上がるが、固定客の客足も悪く、購買量などは減っている。価格の安さなどに心が動いているようである。
		その他専門店 [燃料](従業員)	販売量の動き	・寒暖差があり、受注は増えてきているものの、販売量はさほど増えていない。
		その他小売 [ショッピングセンター](統括)	販売量の動き	・来客数が落ちていない日でも、競合店出店の影響もあり、買上率が低下している。今年度はアパレル業種の前年割れが続いており、一向に回復の気配はない。
		都市型ホテル (営業担当)	販売量の動き	・3か月前と比べると軒並み稼働率が上がっている。例年10月は稼働率は上がってくるが、例年に比して大きく稼働率が上昇しているわけではないので、変わらない。
		都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・滞在型の団体客も多くあり、稼働は引き続き好調を維持している。売上も前年を上回っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・宿泊単価が高い商材は、敬遠されがちである。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・景気は堅調に推移してきたものの、この時期の衆議院選挙や今月の2度の台風による天候不順が、来客数の動きに響いている。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・依然として客の動きが鈍い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は降雨の日が多いせいか、多少売上が増加しているものの、夜、深夜の客は減っている。
		タクシー（経営者）	お客様の様子	・月初めは動きが良かったものの、後半は悪く、前年同月と比べて1%の減少である。
		タクシー（役員）	お客様の様子	・ドライバーが確保できない。
		通信会社（経営者）	販売量の動き	・地方の景気は相変わらず下降を続けている。販売に結び付く案件、業種が偏り過ぎており、量も少ない。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・紅葉シーズンの繁忙期であるが、台風の襲来など外的要因が多々あり、来客数が減少している。
		競輪場（職員）	お客様の様子	・入場者数、購買単価共に、ほとんど変化がみられない。
		その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・客の財布のひもは固く、節約志向が強い。安全、安心は分かっているが、購入に踏み切れない客が多い状況は続いている。
		その他サービス [立体駐車場]（従業員）	お客様の様子	・衆議院選挙があったので、来客数が若干増えるかとも見ていたが、ほぼ横ばいである。単価等、総体的に横ばいで変わらない。
		その他サービス [イベント企画]（職員）	お客様の様子	・イベント開催時の来客数は、若干増えているようだが、物販は例年並みである。
		設計事務所（所長）	来客数の動き	・年末に近付いて、多少は仕事の情報が入るとみていたが、ほとんどない。
		住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・相続資産の処分が主だが、税制の変更で優遇を受けられる物の動きが良い。
		住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・このところ、不動産の動きがあまりない。貸店舗は、相変わらず空室状態で、引き合いもほとんどない。賃貸アパートへの引き合いもかなり減っている。土地は、本当に引き合いがなく苦戦をしている。
		一般小売店[衣料]（経営者）	販売量の動き	・今月中旬から当市では商工会議所を通じて、プレミアム付商品券の販売をした。1人10万円の限度額だが、あまり購入している様子はみられない。
		一般小売店[青果]（店長）	単価の動き	・野菜が高騰し、品質が悪い上に割当制など、欲しい物を欲しただけもらえず、販売に支障が出ている。
		スーパー（商品部担当）	販売量の動き	・天候不順で、農作物への影響や来客数に苦戦している。客数減に伴い1品単価も下がっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今月は毎週末のように雨が降り、来客数が少なく、当然販売量も大きく後退している。
		コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・競合店の進出により、やや悪くなっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・天候不順もあり、来客数が大きく落ち込んでいる。来客数は前年比94.8%、単価は横ばいのため、売上は同95%となっている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・観光立地のため、気温の低下に伴い、来客数が減っている。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・今月に入って気温も下がり始め、電気の暖房商材が前年比5割増で推移したため、前年を若干超えて着地となる。他の商材で元気があるのは、テレビ、冷蔵庫、エアコンなどである。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・天候が悪く雨も多いため、来客数は減少している。特に来客数が、イベントを開催しても鈍い状況である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・衆議院選挙と台風の影響かともみているが、来客数が少ない。
		住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・異常気象が一番の要因である。そこに、突然の衆議院選挙が重なって、不安定要素が増したため、客の購買意欲に陰りがみえる。
		一般レストラン（経営者）	単価の動き	・ランチ、ディナー共に、客単価が落ちているようである。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き	・新商品発表により、新モデルの発売と型落ちモデルの値下げを期待して待つ客がいるため、販売減となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		通信会社（局長）	それ以外	・企業的には人手不足だが、労働者は掛け持ちで仕事をしないと生活ができない。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・本県の米の作況指数は日照不足が影響して、11年ぶりの不良である。就農世帯の割合が高い地域のため、米が穫れないと、お金は市場に出回らないというのが通説である。
	x	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・降雨の日が前年に比べて6日多く、台風まで上陸、通過した結果、来客数が極端に落ちて、売上の低下要因となっている。3か月前と比べて悪化している。
企業 動向 関連  (北関東)		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・油圧建設機械向けの仕事が増加し、当社の協力工場のキャパシティ不足から計画した数量を納入することができない状況である。また、ロボット関連の新規受注が量産立ち上げ時期に入り、対応に追われている。
		その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・今月は当社の決算月だが、売上は前年より33%増、減価償却費、純利益共に30%増加している。
		窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が増えている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ある取引先は毎月20%ずつぐらいい伸びており、当社の売上も毎月2割くらい増加している。他の取引先はそれほどでもない。また、仕事を手伝ってくれないかという話があちこちから入ってくるので、多少景気が良くなっているのではない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・北米向けSUV車の輸出が前月に引き続き好調である。また、国内販売もSUV車を筆頭に、納車までに2.4か月かかっている。
		建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・売上の95%が公共工事である。公共工事は現政権誕生後順調に推移してきたが、前年度は減少に転じ、心配していたが、今年度は前年比16%増と安心できる状態である。ただ今年度発注は前々年の99%に戻っただけである。当社も今年度は前年比10%増の受注額で、ひと安心である。ただし、決算計上は前年度受注になるため、利益確保は厳しい。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・関係先企業や団体からは、常に人手や人材不足と聞かされ、販売も好調のようである。しかし、担い手不足のために生産が増えないことが要因でその伸びは遅い。また、家計消費も秋の長雨や台風のために伸び悩み、不完全燃焼の状態である。
		化学工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・長雨や台風の上陸、更には衆議院選挙の影響もあるのか、主力製品の出荷が予想より伸びず、変わらない。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・6月以降、受注は大変良く、高原状態で変わらない。
		輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先が十数社あるので、会社によって繁閑がさまざま、平均的にはあまり変わらない。
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・今月は天候不順等により、気温も低い日が多く、季節家電のヒーター、こたつ等や、秋冬衣類等の出荷量も前年より15%増である。ただし、人手不足による車両不足で、依頼費が上昇し、特に九州、関西方面の手配運賃も高くなっている。仕事量に対して、利用便の確保が大変厳しい。
		不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・管理物件の空室は相変わらず埋まらず、設備改修をオーナーに勧めているものの、良い反応が得られない。定期的な維持管理作業は天候不順によりやむなく延期することが多かったため、忙しかった割に売上は横ばいである。
		司法書士	受注量や販売量の動き	・小さく良くなったり悪くなったりを繰り返し、横ばいである。我々の業界は11~12月と少し上向くので、今年も、例年どおりになっていくのではない。
		社会保険労務士	取引先の様子	・高付加価値商品を扱っている事業所は良いが、そうでない事業所の価格交渉は厳しい。
		その他サービス業 [情報サービス] (経営者)	受注量や販売量の動き	・受注、販売量共に、特段の変化はみられない。
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先の生産計画が相変わらず芳しくなく、当社の受注生産の減少を招いている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・発注量が例年と比べても、少ないようだ。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・自動車、住宅、結婚式場などの客単価の高い業界で、売上が悪いため、広告宣伝予算が下がっている。9～10月の広告出稿件数が、前年比1割も落ちている。
	x	-	-	-
雇用 関連		-	-	-
(北関東)		人材派遣会社（管理担当）	採用者数の動き	・取引先で、派遣採用数が増えている。
		学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・大手企業の事務職求人も出てくるようになり、企業が間接業務にも力を入れてきている。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・鉄鋼、自動車関連と電機、電子部品の募集は少し目立ったが、依然として介護職、サービス関係のスタッフ、住宅関連土木、販売員等のスタッフ募集なども、多く目立っている。住宅関連は地域的に多少誤差はあるが、修繕、改築、新築等は目立っている。全体的には非常に暗いモードである。
		人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・今のところ、忙しくも暇でもなく、仕事は穏やかである。
		人材派遣会社（支社長）	周辺企業の様子	・労働契約法の有期雇用者の通算5年での無期雇用化の話避ける企業が多く、おおむね消極的な回答が続いている上、有期雇用派遣への警戒感も広がっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数が増加しているが、求職者は少ない上、職種の不マッチによって採用は増えない。
	x	-	-	-

#### 4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連		スーパー（経営者）	販売量の動き	・来客数の増加により、売上が伸びてきている。
(南関東)		スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・気温低下により衣料品の売行きが良く、前年の1.5倍となっている。
		その他専門店〔貴金属〕（統括）	販売量の動き	・人材確保が難しくなってきたことから、思うように伸ばせてはいないものの、市場全体の景気は好調に推移している。競合他社も売上を伸ばしている（東京都）。
		その他小売〔雑貨卸〕（経営者）	販売量の動き	・来客数と売上が増加している（東京都）。
		旅行代理店（販売促進担当）	販売量の動き	・今月は教育旅行が順調であり、法人関係も予定以上の結果になっている。海外についてはあまり良い材料がないが、可もなく不可もない（東京都）。
		商店街（代表者）	それ以外	・株価が好調だと、良好な住宅街の景気は良い方向に向いていく。衆議院選挙で与党が勝ったので、更に良い方向に動いている気がする。クレジットカードの取扱、来街者数共に好調である（東京都）。
		一般小売店〔和菓子〕（経営者）	販売量の動き	・長雨による来客数の減少がみられたが、大口の注文が入ったため、売上につながっている。
		一般小売店〔傘〕（店長）	販売量の動き	・最近の降雨や台風で販売量が増えている。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・中旬までは全体的に安定した気候にも助けられ、衣料、雑貨共に好調に推移したが、台風や気温の乱高下とともに秋物、冬物共に足踏み状態となっている。消費に力強さは足りないものの、やや回復基調と思われる。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・前月から引き続きファッション関連が浮上している。あわせて、美術、宝飾品、時計などを中心に富裕層需要も拡大しており、基調はプラスとなっている。ただし、毎週末の雨天により、ボリュームゾーンの動きが鈍い（東京都）。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・気温の変化もあるが、衣料品関連の動きが良くなってきている。また、美術、宝飾といった高額品の動きも堅調である（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・雨天や台風の影響が大きく、10月は全体的な売上が減少しているものの、来客数は3か月前より好調に推移しており、買上単価も増加傾向にある。衣料品や雑貨などの買上単価がアップしており、消耗品だけでなく、ファッションなどへの支出がやや改善してきている。
		百貨店（販売促進担当）	単価の動き	・国内富裕層、訪日外国人共に高単価雑貨の動きが依然として良い（東京都）。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・先の改装効果もあり、天候不順のなか、ファッション、生活雑貨関連が好調である。売上客数も2か月連続で前年を超えている。
		衣料品専門店（統括）	来客数の動き	・気温の低下、悪天候により、セーターを含めたアウターなどの防寒衣料が活発に動いている。
		家電量販店（経営企画担当）	来客数の動き	・前年の数字、3か月前、前月と比較しても、来客数が確実に増加している。インバウンド需要は、前年が悪すぎたせいもあるが、来客数が大きく伸びている。また、カテゴリ別にみても、今まで厳しかった情報家電に復活の兆しははっきりと見えている（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・当店の業態は定食屋である。原料の高騰により値上げをした後も来客数は落ちていないものの、夜の来客数が減少している。多少のお酒も提供している飲食店へ移っているか、勤務時間の削減により夜の外食が減っていることも推測できる。土日祝日などはあまり変わらず、繁華街の来客数は伸びている（東京都）。
		その他飲食〔給食・レストラン〕（役員）	単価の動き	・取引先との委託料交渉を継続してきたが、今年度に入り当社の提示条件に応じる取引先が続けて出始めたことから、収益は改善の方向に向かっている（東京都）。
		観光型旅館（スタッフ）	お客様の様子	・値上げを行なったが、客足には変わりがない（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・10月は行楽シーズンなので来客数が増加している。インバウンド団体の利用や学会絡みの長期滞在ゲストも多く、高稼働が続いている。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・販売量が増加している。
		タクシー運転手	お客様の様子	・夜間の駅周辺は、空車タクシーが足りなくなる時間帯が適時ある。時折、深夜のタクシーチケットでの長距離利用客があり、景気はやや良い（東京都）。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は雨天が続いたお陰で、思ったよりタクシーの量が多い。天候に左右される仕事だけに、恵みの雨になっている。
		通信会社（経営者）	お客様の様子	・直接の契約になかなか結び付かないところもあるが、秋のイベントシーズンで、出展ブースでの客の反応が良い時もある（東京都）。
		通信会社（経営企画担当）	販売量の動き	・案件数の増加により、やや良くなっている（東京都）。
		ゴルフ場（企画担当）	単価の動き	・10月は大雨と台風で来客数が大きく減少しているが、リーダー1人のグリーンフィーを含めて収益単価が上昇し、収入面に関しては年度予算どおりである。
		競輪場（職員）	来客数の動き	・年に一度の大きなイベント開催で、雨天にもかかわらず、前年度より出足も良く、6%ほど来場客が増えた。年末に向けてトップシーズンになるため、この好景気が続くよう、広告も戦略的に行うことができている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・3か月前は販売量が目標数字の約145%だったが、10月はやや増加し約168%となり、景気は若干良くなっている。5か月連続で販売量が目標数字を超えている。
		住宅販売会社（従業員）	それ以外	・協力会社の仕事量が増えているようで、特に杭工事の業者手配が困難になってきている。
		その他住宅〔住宅資材〕（営業）	販売量の動き	・これまで荷動きがあまりない状況が続いていたが、前年比で建築資材の需要が活発になっている（東京都）。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・季節的なものでもあるが、10月は台風が何回も来ているため、客の出足が非常に悪くなり、売上が減少している（東京都）。
		一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・流通の形態が完全にインターネット通販に移行してきているのではないかと。PCの普及とともに、どうにもならない現状である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔文具〕（経営者）	販売量の動き	・今月は台風などにより天候不順であったため、商店街で行われているイベントへの来街者数が伸びず、結果として当店の来客数も減少したため、売上がやや減少している。ただし、この売上減は天候によるものであり、2～3か月前と同様に商品のまとめ買いをする客も多くみられるため、当月の売上減が景気の低迷とは思っていない（東京都）。
		一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	お客様の様子	・店頭については、台風などが来たが、夜だったこともあり、天候不順の影響はあまりない。客単価もさほど変わらず、来客数も変わらない。9月と比べて、店頭はほとんど変化がなく、外商もさほど変わりはない。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	販売量の動き	・現状維持も難しい状況である。販売量は伸びを欠き、新規の受注も競争が激しくてなかなか取れない（東京都）。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・前月までは非常に良かったが、今月は天候不順等もあり、菓子、生鮮を中心に店頭販売が厳しい。当地域は工事等の影響もややあるので、今のところ前年比マイナス1ポイントほどで推移している。全店の売場でもマイナス2ポイントほどで推移している。まだ牛肉等の動きも厳しいので、衆議院選挙も終わり、どう変わっていくか様子を見ている（東京都）。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・天候の影響が大きく、土日がほぼ雨が台風等のため、秋物が大変している（東京都）。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・台風21号など毎週末の天候不順により、来客数が少なく、売上也厳しい状況である。一方で、晴天時は来客数も戻り、特別提供品などのお値打ち品が完売するなど、消費そのものが落ち込んでいる様子は見受けられない。来店するきっかけがあれば購買につながっているようである。今月も、売上は厳しいものの、全体的な景気はほぼ変わっていない（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・前月に引き続き、化粧品、時計、ラグジュアリーブランドを中心に免税売上が大幅に回復している。地区によっては2けたの伸びを見せ、売上をけん引している（東京都）。
		百貨店（副店長）	お客様の様子	・今月は週末に2週間連続で台風の影響があり、実態が把握しにくい。影響がなかった場合は、比較的順調な推移であったと思われる。
		百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・販売状況としては前月ほどの好調さを感じないが、天候などが影響していると考えため、悪いという状況ではない（東京都）。
		スーパー（販売担当）	単価の動き	・競合店との価格競争があり、客の買上点数は前年を上回ってきているが、平均単価が下落しているため、客1人当たりの買上額がなかなか前年に届かない状況である（東京都）。
		スーパー（経営者）	来客数の動き	・10月は降雨が多く、来客数が減少している。客単価は上がっているが、それでもやや悪い状態が続いている。特に、競合が多く出店し、その影響が最も大きい。それ以外に天候の影響もある。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の減少が売上減少の一番の要因になっている。平均客単価、買上点数については前年を上回るものの、来客数が前年を大きく下回り、1日平均約240名が減少している。原因としては、客が近隣の競合店との間で買い回りしており、本当に必要な物だけを当店で買い、安い特売品を他店で買うという状況が続いていることである（東京都）。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・価格にシビアな面がうかがえ、数円の違いで販売量に差が出るものの、圧倒的な違いにはならないので、客は必要以上の出費を控えている様子である（東京都）。
		スーパー（営業担当）	来客数の動き	・全体的に来客数が前年を割る状況が続いている。
		スーパー（仕入担当）	販売量の動き	・気温の低下に伴い、鍋関連の秋冬商材の動きが良い。生鮮関連は、青果が天候と件による価格の不安定と、鮮魚がアニサキス事件以来、特に生魚を中心に売上が落ち込んでいる。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・このところ降雨が続き、台風も来たため、来客数が激減している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・景気はどちらとも言えないが、天候の影響が大きい（東京都）。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・天候が悪かった割にはあまり変わらないので、良いほうである。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・10月に入ってからの天候の影響を受け、売上は前年比86%と開店以来の最低記録となっている。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・中旬までは天候に恵まれ、予定どおり来客数、売上共に前年を上回っていたが、2度の台風上陸で来客数が激減している。目的買いの客が多いため、客単価は上がっており、1か月トータルで3か月前の売上はクリアしたものの、前年売上には届いていない。
		衣料品専門店（店長）	単価の動き	・客単価が下落しているなか、来客数の微増により売上を維持している（東京都）。
		家電量販店（店長）	来客数の動き	・来客数は新店込みで前年並みに推移している。既存店では、依然として5%ダウンのため、単価を上げる販促施策を行ない、売上を前年並みに維持している。インバウンド売上は、関西では好調であるが、東京では中国人客の単価下落の影響を受けている（東京都）。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車整備は順調であるが、販売はあまり芳しくない。新型車が出て、来客は多いが、なかなか成約に結び付かない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の販売量が前年よりもかなり伸びている。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・決算が過ぎても大幅な増減もなく、数字的には変化が少ない。
		乗用車販売店（店長）	販売量の動き	・販売量、客の動向共に前月とあまり変わらない。
		その他専門店【ドラッグストア】（経営者）	販売量の動き	・販売量が増えたように思い注目してみたものの、前月と変わっていない。
		その他小売【ショッピングセンター】（統括）	来客数の動き	・寒暖差があるため、衣料品を中心に動いている（東京都）。
		その他小売【生鮮魚介卸売】（営業）	単価の動き	・商材の品薄が続いており、値上げを余儀なくされている（東京都）。
		その他小売【ゲーム】（開発戦略担当）	販売量の動き	・年末を控え、目立ったタイトルの発売もなく、谷間の月となっている（東京都）。
		その他小売【ショッピングセンター】（統括）	販売量の動き	・前年メガヒット作があった映画部門は、今年は振るわないものの、例年に比べて悪いというほどではない。
		高級レストラン（副支配人）	来客数の動き	・法人関連の宴会利用状況は、ほぼ前年並みで推移している（東京都）。
		高級レストラン（仕入担当）	来客数の動き	・来客数、販売単価、売上高いずれもほぼ前年並みであり、特に景気が良くなっているとも悪くなっているとも感じられない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・例年は夏を過ぎると少し回復し、売上もやや伸びてくるが、今のところその兆しはない。売上はほとんど伸びておらず、やや悪くなった夏頃と同じくらいで、横ばいである。
		一般レストラン（経営者）	それ以外	・近隣の再開発に伴い、商業施設を持つ超高層ビルが完成したが、情報の周知も少なく、地元との密着度が感じられない（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比べて来客数もあまり変わらず、伸びもせず、通常の状態である。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・3か月前の7月1～31日の前年比は、売上109.2%、来客数99.2%である。10月1～29日の前年比は、売上104.4%、来客数100.2%である（東京都）。
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・極端に暇な日もあれば、そこそこ入る日もあり、差が激しくなっている。特に今月は、本来客が入るべき週末に台風が来たり雨が降ったことが、売上減少の大きな要因になっている（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・求人募集のためハローワークに電話したところ、10月から東京都の最低賃金が958円になっていると知った。飲食店なども人手がないため募集を掛けているにもかかわらず、人件費だけが上がっているのは、果たして景気が上向きな証拠なのだろうか。周りの店も人手不足ということなので、人件費ばかりが上がり、人が不足している現状をもう少し考えてもらいたい（東京都）。
		都市型ホテル（総務担当）	お客様の様子	・ホテルの客室稼働率を上げるための単価引下げ、宴会予約数の低迷などを見ると、景気が良いとは感じられない。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・天候不順の影響も重なっているかもしれないが、今はインターネットやスマートフォン等で予約ができるので、競争相手も苦戦しているようである。新規顧客の開拓がなかなか思うようにできない。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・前月からの北朝鮮のミサイル問題の影響で、良くないまま変わらない（東京都）。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・衆議院選挙があったせいで、客の動きがなかった（東京都）。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・国内旅行は台風、海外旅行はアメリカのハリケーンや山火事等の影響で、旅行の予約がキャンセル、延期になっている（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・新商品の申込が少ない（東京都）。
		旅行代理店（営業担当）	販売量の動き	・過去3か月と比べて、大きな好材料も悪材料もなく、横ばいである（東京都）。
		タクシー（団体役員）	来客数の動き	・タクシー業界は天候、衆議院選挙結果の影響か、利用者に上向きの動きがみられたものの、曜日、日により大きく変動しており、安定感にはまだ不安が残る。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新規契約数は伸びておらず、大きな変化はみられない。
		通信会社（営業担当）	単価の動き	・ここ数か月、携帯電話も含め競合他社との価格競争が激しくなっており、消費者も安価なサービスに流れる傾向が続いている。
		通信会社（管理担当）	単価の動き	・携帯電話のショップ活動に大きな波があり、通信業界の客の移動は非常に小幅で不安定に感じる。高齢者は固定インターネット回線を利用せず、利用するのは若年層から団塊の世代だが、その世代は自ら考えて判断できるため、営業活動の効果が薄れているように感じている。
		通信会社（局長）	販売量の動き	・ケーブルテレビ及びインターネット契約が3か月前や前年同月比でほぼ横ばいであること、起爆剤となる新サービスがないことなどから、しばらくは現状のまま推移する（東京都）。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・新規加入、コース変更共に必要最低限のプランを選択をする傾向は相変わらずである。
		通信会社（総務担当）	お客様の様子	・夏の異常気象と最近の悪天候の影響で、農作物の価格が依然として高騰しており、そのあおりを受け、ほかの消費が若干落ち込んでいる（東京都）。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・当社の加入者数の変動をみると、ここ数か月はほとんど動きがなく、爆発的な伸びはない（東京都）。
		通信会社（経理担当）	単価の動き	・一時的に販売単価が下げ止まったものの、上がっていく材料がない。たとえ単価が下がっても、販売努力を続けていくしかない。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・例年ならば、今月は3か月前より良い成績になるところだが、長雨の影響で、3か月前とほとんど変わらない（東京都）。
		ゴルフ場（従業員）	お客様の様子	・河川敷にあるゴルフ場のため、台風の影響で冠水被害を受けた。多くの客に再開を待たれ、決して景気が良いとはいえないが、特に変わってもない。
		パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・天候の悪い日が続く、全体として数字はさほど上がっていない。むしろ悪いくらいである。しかし、天候面を抜きにすると変わらないのではとも思える。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・衆議院選挙、台風、災害に伴い、客は落ち着かない様子で、やや微妙な雰囲気である。
		その他サービス [保険代理店] (経営者)	販売量の動き	・増額、増収はほとんどない。良いと思う商品を推奨しても、関心はあるが購入しない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス 〔電力〕（経営者）	お客様の様子	・株価が上がり、景気回復しているように見えるが、相変わらず実態と合っており、良くない状況が続いている（東京都）。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・以前からのプロジェクトがそのまま動いているだけであり、新たなプロジェクトが動いていない。
		設計事務所（職員）	それ以外	・上向き、下向きどちらも感じられない（東京都）。
		住宅販売会社 （経営者）	販売量の動き	・当社は不動産デベロッパー業と総合建設業である。インバウンドが増加していることからホテルの建設は増えているが、住宅が全く売れない。中小企業の給与が上がらないまま物価が上がっているため、客が長期の住宅ローンを組むのに不安を持っているからである。公共工事については、工事量はあるが、発注価格が低く、赤字になってしまうこともあり、不調になる工事も増えている。
		住宅販売会社 （従業員）	販売量の動き	・例年10月は半期締め反動で受注がやや少ない。今月も同じような状況である。
		その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	お客様の様子	・相談はいくつかあるが、この先景気が良くなることが分かれば仕事量も考えていきたいという話が多い。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・10月の動向は、3週連続、土、日の天候が悪くなったこともあり、来客数が大変少ない。特に土、日が悪い。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・10月に関しては、毎週末の悪天候が売上を大きく下げた原因となっている（東京都）。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	来客数の動き	・例年10月は売上が落ちるが、この長雨のせいで、例年以上に売上が落ちている。電話での問い合わせも少ない。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	販売量の動き	・節約志向というか、購買意欲がないというか、商品の動きが悪い。しかし、工事はそこそこで、車の充電システムの工事の申込が複数入っている。
		一般小売店〔家具〕（経営者）	お客様の様子	・最近、日本人より外国人の来店客のほうが多く、販売に結び付けるのがより難しい状態である（東京都）。
		一般小売店〔祭用品〕（経営者）	来客数の動き	・天候不順で祭事に中止等が発生したため、売上は今一つである。
		一般小売店〔茶〕（営業担当）	来客数の動き	・今月の来客数が10%ほど減少しており、それに伴い売上も減少している。
		百貨店（売場主任）	来客数の動き	・悪天候により、肝心の週末の来客数が減少し、週末の催事やイベントの売上が予測より大幅にダウン、客単価も伸び悩み苦戦している。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・週末の2度の大型台風や天候不順により、厳しい状況が続いている。食料品等は堅調に推移しているものの、衣料品、高額品の動きが鈍く、全体としてマイナス傾向にある。
		百貨店（計画管理担当）	お客様の様子	・9月の好調を10月初週までは維持したが、2週目の長雨以降は来客数、売上共に低迷し、戻る見込みがない（東京都）。
		百貨店（店長）	販売量の動き	・10月はほとんどが雨天だったことに加え、週末のたびに台風が直撃した。気温が低いことから、客の消費マインドも冷え込んでいる。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・中小のスーパーには好景気がなかなか反映されない（東京都）。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・天候不順により来客数が減少している。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・秋物商材の動きが鈍り始めてきている。天候の加減もあると思うが、単価も下がってきており、全般的に不調である（東京都）。
		スーパー（仕入担当）	来客数の動き	・今月は記録的な長雨が続き、来店頻度が減り、来客数も減少している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・3か月連続で来客数、単価共に前年比マイナスである。天候が不安定なことが大きな要因である（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・1～21日までの売上客数は前年を2～3%ほど上回っていたが、22～24日にかけて台風の影響があり、来客数が激減した。衆議院選挙の影響もあったと思うが、売上も減っている。今週もまた同じように台風が来るため、来客数の減少が予想される。現在のところ前年比97%まで落ちており、回復はなかなか難しい。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・日々の売上状況を見ると、前よりも落ち込んでいる。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・雨の日が多く、前年同期比で3ポイント程度来客数が落ちている。
		衣料品専門店（営業担当）	来客数の動き	・ターミナル駅から当店への客の動線の命ともいえる駅ビルが1年以上の改装工事に入り、ターゲットとする年代の来客数がことごとく減って、本当に困っている。前年も前年割れをしていた売上に対し、今月も80%とかなり厳しい。2つの台風で人が出ない状況もみられる。
		乗用車販売店（総務担当）	来客数の動き	・客の来店が鈍く、サービス需要が落ち込んでいる。
		住関連専門店（統括）	販売量の動き	・来客数はある程度あるが、販売量、販売金額はそれに伴って伸びてはならず、売上の的にも落ち込んでいる状態である。
		その他専門店 [ドラッグストア]（経営者）	単価の動き	・以前よりも動めた商品の購買が減少している。より買物にシビアになっている気がする。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・国内要因として、今夏及び10月の長雨などの天候不順、衆議院選挙の影響により消費が落ち込んでいる。選挙は終わったものの、天候不順の影響は今後顕著になってくるものとみている。外的要因としては、北朝鮮問題が日本国民の気持ちを暗くし、少なからず消費者マインドにネガティブに作用しているのではないかと。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・ホテル全般的に厳しい状況が続いているが、特にレストランの落ち込みが激しく、衆議院選挙の関係からか、法人利用の減少が目立つ。ランチについては例年並みだが、ディナー時間帯は問い合わせ自体が少なく、販売量も3か月前と比べて更に悪化傾向にある。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月は衆議院選挙のせいで客の動きがどうしても少ない（東京都）。
		タクシー運転手	お客様の様子	・客との会話で、先日の衆議院選挙について、「なぜこの時期にやるのか、仕事でそれどころではない」という意見が多かった（東京都）。
		通信会社（管理担当）	販売量の動き	・法人向けのソリューション案件が減少傾向にある。また、個人向けの携帯電話や周辺機器も、人気スマートフォンの最新機種が伸び悩みを見せている（東京都）。
		パチンコ店（経営者）	来客数の動き	・10月は台風などの影響もあり、来客数がふだんに比べて伸び悩んでいる。以前に比べて、面白い機種が徐々に減ってきていることが若干マイナス材料になっている（東京都）。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・天候不順のため、客の来店頻度が鈍っているように見受けられる。
		設計事務所（経営者）	お客様の様子	・民間は依然として厳しい状況が続いている。住宅の設計、監理業務は、特別な関係がない限りハウスメーカー主導で推移している。仕事の絶対量が少ないため、価格競争に巻き込まれないようにしている。
		設計事務所（所長）	お客様の様子	・設計業務としては、新築物件が非常に少なく、今は耐震診断、耐震補強設計、改修設計がほとんどである。決して良いとは言えない。
	×	一般小売店 [食料雑貨]（経営者）	来客数の動き	・隣接する街に相次いで商業施設がオープンし、客が市外へ流出している。
	×	百貨店（営業担当）	それ以外	・10月中旬の気温上昇とその後の長雨及び台風2回の影響で、中旬までは前年比20%プラスで推移していたが、半分まで低下してしまっている。景気全体としては、株価高騰もあり、外商中心に時計や絵画の高額品が成約に至ったが、自部門での売上は一時的に低下している（東京都）。
	×	スーパー（経営者）	来客数の動き	・天候不順の影響もあり、来客数が減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	コンビニ（経営者）	競争相手の様子	・当店周辺の商圏は、スーパーは1店のみだが、コンビニ、100円ショップ、ドラッグストア等、細々としたチェーンが出てきて競争が激化し、非常に厳しい状況になっている（東京都）。
	×	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・週末ごとに雨が続いていることや、台風の直撃を受けたことで、来客数が大幅に減少している（東京都）。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・月初めの1週間は前年より良かったが、以降は台風と悪天候で年金支給月も最悪である。秋物衣料品の動きが悪く、来客数、売上共に2けた減少している。商圏内での大きな台風被害もあり、紅葉狩りも盛り上がり、衆議院選挙も売上には良くない。
	×	一般レストラン（経営者）	単価の動き	・すでに12月の忘年会等の問い合わせが電話等で入っているが、例年に比べて安いコースに集中しているように見受けられる。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・外の様子も来客数も変わらず、とても少ない。
	×	設計事務所（所長）	お客様の様子	・土地の値上がりか、工事費の値上がりか見当がつかないが、計画業務が中断してしまい、ほとんど動かない状態である（東京都）。
企業 動向 関連  (南関東)		通信業（広報担当）	受注量や販売量の動き	・今月は一進一退の状況から一転、2けたの伸びを示している（東京都）。
		繊維工業（従業員）	取引先の様子	・気温の低下により秋冬物の衣料品等の売上が増加しつつある（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先からの問い合わせも増えている（東京都）。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・印鑑、ゴム印、名刺印刷の仕事をしている。今月は問屋への支払がふだん15万円ぐらいのところ20万円あり、やや景気が良い。注文を見越しての仕入れはなく、客の需要が発生してからなので、支払がそのままの注文数に直結している。会社設立関連は通常どおりで、5件の注文がある（東京都）。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に10月の動きは良かったと思うが、これが続くかどうかは分からない。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新しい仕事が入ってきているので、やや上向いている。
		建設業（営業担当）	競争相手の様子	・客からの引き合いが大変多くなった。工事単価もかなり引き上がってきている。
		輸送業（経理担当）	それ以外	・日経平均株価の続伸、高値更新のニュースを聞くと景気が上向いているように感じる。
		金融業（統括）	取引先の様子	・政治も落ち着いたようなので、取引先にも安堵感があり、前向きな話が多くなっている。
		金融業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・株価の続伸に伴い、消費も伸びている。小売業でも売上が増加傾向にあり、製造業も好調である。不動産業は賃貸アパートの建設がやや減少傾向にあり、売上は落ち込むとみている。雇用は、人手不足から人件費もまだ高騰しているため、利益を圧迫している（東京都）。
		広告代理店（従業員）	取引先の様子	・取引先の自動車販売会社で新車の発売が続き、宣伝が活発になっている。
		税理士	取引先の様子	・突然の衆議院選挙で現内閣が事実上信任され、アベノミクスの更なる影響を期待している。株価が高値を維持し、米国大統領の来日など明るい材料もある。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・中小製造業、金属加工業では、夏のボーナスを出せる状況となり、さらに、冬のボーナスも出せるだけの売上が確保できつつある（東京都）。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・前月と同様、受注量が回復してきている。
		その他サービス業〔警備〕（経営者）	取引先の様子	・仕事の受注は順調であるが、警備員不足により、思うように受注できない。単価を上げることで業績は改善している。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・受注案件が増え、人員が足りなくなってきた。	
	出版・印刷・同関連産業（所長）	受注量や販売量の動き	・依然として厳しい状況には変わらないが、年末に向けた動きが少しずつ活発になってきている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・化粧品や医療品容器の新企画の設計、金型製作、サンプル作成が一巡し、マーケットの反応をうかがっている。
		金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・見積件数は多くなってきたものの、価格の折り合いがつかず、注文が取れないのが現状である。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量は前月比プラス3ポイント、販売量は横ばいで、受注残が増している。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・商品が定価で売れない。
		建設業（経営者）	それ以外	・少子高齢化のため、建設業界は斜陽産業と感ずる。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・設備投資がやや進んでいるようで、計画や機械導入につき、機械基礎などの工事の話がある。
		建設業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・現状の手持ち工事はほどほどあるが、この先の見積案件は目立って増加しておらず、全てが受注できるわけでもないの、決して明るくない。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・取扱量の減少が続く現況下、輸送事業者の経営は悪化の一途をたどっている。荷主へ運送料金の値上げ要請をしているが、荷主側の運送費増に対する負担力も限界とのことで、業界全体の抜本的な流通改革が急務となってきた（東京都）。
		輸送業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・チャーター需要が増加に転じないと当社の業績は回復しない（東京都）。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・荷主メーカーの出荷量は微増傾向であるが、日々の出荷量の変動が大きく、労働時間の規制強化等で限られた時間でしか配送ができないため、車両の手配に苦慮している。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前月と比べてスポット的な業務が増えてきているが、全体としては大きな変化はみられない。
		金融業（支店長）	取引先の様子	・日経平均株価は高値を更新するものの、実態経済が良くなっている感覚はない。
		金融業（役員）	取引先の様子	・新規事業のための融資案件の申込が出てきている一方、収益物件に係る融資案件は若干減少傾向にあり、全体的には景気は横ばいである。
		不動産業（経営者）	競争相手の様子	・市の再開発複合施設は、まだ全店オープンに至っていないが、近くの医療機関が入店したほかに、携帯電話ショップ、楽器店、不動産店、回転寿司等は同じ開発地区からの移転である。当初、近隣の店舗を閉店しての入店は不可であったため、計画から様変わりしている。隣接商業施設のレストランフロアへ夕食に行ったが、客は2組だけだった。やっと完成した再開発地区だが、心配である（東京都）。
		不動産業（総務担当）	取引先の様子	・ようやく主力のオフィスビルが契約上は満室になったが、若干のフリーレントがあるので、賃料的にはまだ満室稼働とはいえない。ただし、足元の景気は安定している（東京都）。
		税理士	それ以外	・夜10時過ぎに2つの商店街を歩いているが、飲食店に客があまり入っていない。窓越しに見るが、かなり経営者の入替えもしているようなので、あまり動いてないと思う（東京都）。
		社会保険労務士	取引先の様子	・資金繰りの厳しい会社や、助成金の活用を目指す会社がいまだに多く見受けられる（東京都）。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・訪問した和菓子店主の話によると、このところ続いている天候不順の影響は大きく、外出機会を減らしているの、商店街を歩いている人が少ない。特に、当店のようなし好品の製造小売店は困ったことになっている。売行きが悪さはもちろんだが、せっかく作ったものを廃棄しなければならない無念さは、言葉では言い尽くせない、とのことである。
		その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・既存物件の見積依頼はあるものの、人手不足と人件費の高騰で見積価格を上げているので、受注にはなかなかつなげてこない（東京都）。
		その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年並みの受注はあるものの、現状では売上増に至っていない（東京都）。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	競争相手の様子	・同業者とは、仕事の依頼はあってもピンポイントの仕事が多く、受注に結び付けるのは難しいと話している（東京都）。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・このところ、受注量に大きな変化は見られない。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・天候不順のため、秋の各イベントが中止となり、出店できずに売上がなくなってしまっている。また、店の来客数も減ってしまっている。
		食料品製造業（営業統括）	競争相手の様子	・見た目上は数字のマジックにより前年を保持しているが、実際は前年を多少下回っている。
		出版・印刷・関連産業（経営者）	それ以外	・競争激化で受注環境にも変動が出てきている。
		その他製造業〔靴〕（経営者）	取引先の様子	・9月辺りから陰りはあったが、受注量がここへきてははっきりと落ち込んでいますと取引先から聞いている。店頭販売がかなり冷え込んできているようである。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・景気が良くなったという報道もされているが、現実問題として断片的な要素が含まれており、景気がそれほど上向いているとは感じていない。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・台風による週末の降雨等の影響で、客足が落ち込んでいる店舗が多い。
	x	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・9月度納品が当社の当該業務の最終納品である。
雇用 関連  (南関東)		人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・2018年4月の労働契約法による有期労働契約締結から5年経過後の無期契約への転換に対して、無期化意向の企業が多数ある（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・派遣求人数は増加傾向にある。
		求人情報誌製作会社（広報担当）	求職者数の動き	・途中で正社員を採用しようとしているが、なかなか応募がない。派遣社員の採用では、断られることもしばしばあるようだ。1～2年前と比べると、とても採用しにくくなっている（東京都）。
		求人情報誌製作会社（所長）	周辺企業の様子	・周りで景気が悪いという話を聞くことが少なくなったように感じる。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・すでに2019年採用のインターンシップイベントがスタートしており、参加企業数は増加している。2018年採用も継続している（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・一部の自動車メーカーの組立期間工等で求人が若干増えているが、正社員求人は増えていない（東京都）。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・3か月前と同様に、企業からの求人申込が入り続けている。
		人材派遣会社（社員）	それ以外	・当社の売上や採用状況だけでなく、周囲の消費動向などに変化がみられない（東京都）。
		人材派遣会社（支店長）	それ以外	・人手不足には変わりないが、企業からの人材の依頼は変わらず堅調に推移している（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・製造業メーカーからのエンジニア派遣の引き合いは継続的に多く、メーカーにおけるエンジニア不足がうかがえる（東京都）。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で微増となっているが、医療、福祉、労働者派遣業など一部の産業の大幅な増加によるものであり、産業別では減少が増加を上回る状況が続いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年同期比で増加しているものの、増加割合は3か月前と比べると縮小している（東京都）。
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・職種全般に求人があるが、求職者の対応が難しい状態が続いている。企業からの提示条件はここしばらく同レベルで推移している（東京都）。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・当社に寄せられる求人は依然として多く、当社データでの転職求人倍率はリーマンショック前の水準以上の1.9倍で高止まりしている（東京都）。
		人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・夏以降、派遣求人件数、新規登録者数共に減少しており、今月は特に新規派遣登録希望者が減少している。採用ポジションも、新設ポジションでの派遣増員ではなく、派遣スタッフの退職補充が中心となっており、全体の稼働者数はほぼ横ばいになっている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・8～9月に予定でもらっていた、営業所や支店を作るための増員計画が、10社のうち5社について頓挫というか、取り止めになっている。確固とした企業なのだが、かなりのダメージである。そのことから、景気が悪いと判断している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	-	-	-

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (甲信越)		衣料品専門店 (経営者)	販売量の動き	・冬支度が始まり、注文が増えてきている。
		その他サービス [葬祭業](経営者)	お客様の様子	・葬儀の依頼が過去最高である。
		一般小売店[家電] (経営者)	販売量の動き	・エアコン、冷蔵庫、洗濯機等の白物家電の動きが少し良くなってきている。また、リフォーム関係も多少出てきている。
		自動車備品販売 店(経営者)	お客様の様子	・廉価品を求める客が多いなか、高付加価値の高額品や新商品の売行きも良い。街中で外国人観光客も見掛けるようになっている。また、県外ナンバーの車も、観光地ではなく、市街地で増えてきている。
		スナック(経営者)	来客数の動き	・前年より客単価、来客数共に良くなっている。不景気な話をしている客は、本当に少なくなっている。
		商店街(代表者)	販売量の動き	・今月初めは多少売行きの良い日もあったが、秋雨前線と台風による長雨で、来街者がばったり途絶え、売上も低いレベルとなっている。
		百貨店(営業担当)	販売量の動き	・これと違って悪い方に変わっているとも感じられないので、若干上向き基調になっていくのかもしれないが、特に変わりはない。
		百貨店(店長)	販売量の動き	・売上の前年割れが続いている。下げ止まりを実感できない。
		百貨店(売場担当)	お客様の様子	・客の来店動向は変わらない。新規、フリー客が増えることはほとんどなく、固定客の実績で売上が左右されている。固定客の大口入金の有無で、前年比が大きく変わる場合があるのも事実である。
		スーパー(経営者)	販売量の動き	・店頭販売は変わらないが、外販が増えたので、売上は増えている。
		スーパー(経営者)	来客数の動き	・既存店舗の来客数の減少や食中毒O157関連報道の影響で総菜は苦戦している。青果などの相場安は続いている。
		スーパー(企画担当)	来客数の動き	・1品単価は上がっているが、競争激化で来客数は大きく減っている。
		家電量販店(店長)	来客数の動き	・前年に比べ、集客が減少傾向にある。客単価を上げる努力によって、前年並みで推移している現状である。
		乗用車販売店 (経営者)	単価の動き	・新車販売は、成約までに時間がかかっており、他店との競合もあり、仮に成約しても利益が少ない。また、自動車メーカーの不正検査問題で、成約までもう一步のところまで来ていた商談が破談になるケースも出た。車検、一般修理は目標を達成し、スタッドレスタイヤの問い合わせも増加している。
		一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・期待していたデスティネーションキャンペーンも前月までで終了し、観光客はいまだに増えていない。最近では社会人の昼食客が増えているものの、家族連れの動きは相変わらず鈍い。
		スナック(経営者)	お客様の様子	・悪い状態で変わらない。また、客の動きがとにかく悪い。
	観光型ホテル (支配人)	来客数の動き	・紅葉シーズンを迎え、予約状況はおおむね好調だったが、度重なる台風の影響によるキャンセルが痛手となっている。	
	都市型ホテル (支配人)	競争相手の様子	・当ホテルの宿泊料金は通年同額であるが、他のホテルはインターネット予約料金を日々の予約状況によって上下させる傾向が多くみられる。これにより県外から市内への入込状況がおおむね分かるが、相変わらず宿泊料金の変動が激しく、景気が良くなっているとは判断できない。	
	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・衆議院選挙があり、企業を含めた動きが悪い。さらに、台風等の影響で、来客数が減っている。	
	通信会社(経営者)	お客様の様子	・インターネットサービスは、他通信事業者の営業強化などで、乗換える客も増えつつある。	



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		美容室（経営者）	お客様の様子	・長雨の影響で来客数が減少している。客は髪を切ってきたにしたいというニーズはあるものの、季節のイベントや仕事等で時間が取れず、なかなか来店してくれない。
		設計事務所（経営者）	来客数の動き	・仕事の依頼は引き続き増えており、計画が間に合っていない。
		商店街（代表者）	単価の動き	・物価がいろいろと上がってきてしまい、とても売りにくい状況で、不景気である。競争の時代だが、仕入価格も高くなってしまっているため、とても大変である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・今月は長雨、台風など週末の天候が悪く、来客数に影響が出ている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・天候不順の影響もあるが、全体的に消費が冷え込んでいる。季節商材の動きも今一つである。
		スーパー（経営者）	競争相手の様子	・働き方改革などで残業が減り、実質的所得の減少がみられ、生活防衛的な低価格志向が強くなっている。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・今月後半は、毎週末台風が来るような状況で、大雨も降り、客足が遠のき、来客数は非常に少なく、販売量が減ってしまっている。その上、気温も急に下がって、季節の変わり目となり、売る物と客のニーズが合わない状況である。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は、イベントや天候に関係なく増えない。購買点数よりも純粋に来客数が増えないところに限界がある。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・天候の影響もあるが、近隣に競合店が出来たため、来客数が減っていることが一番大きい。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・行楽シーズンに衆議院選挙、悪天候が続き、全く動きが悪い。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・秋の長雨が続き、予約が増えてこない。また今年は当地産の松茸が大不作で、単価の高い松茸コースを販売できず単価が上がらない。台風21号の影響でキャンセルが出たり、停電等で客を断つたため、売上は更に減っている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・数か月前から予約が落ち込み、また今月のフリー客も減少し、前年と比べて非常に悪くなっている。選挙があると、必ず客足が鈍り大幅に落ち込むが、今月も同様で、既に悪い状況のなかで、更に落ち込んだので非常に厳しい。
		旅行代理店（副支店長）	販売量の動き	・衆議院選挙、市長選挙と2週連続で週末に選挙があったため、受注は明らかに減少した。海外旅行は世界情勢も不安定なため、渡航先が限定されるなど、業界にとって良い材料がない。
		遊園地（職員）	来客数の動き	・台風の影響により、来客数が減少したため、やや悪くなっている。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・梅雨のような長雨、さらに、冷たい雨のため、年配客の多い当コースではキャンセルが非常に多く、近年で最低の来場者数となっている。
		ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・細かい金額の要求が以前に比べて多くなってきている。利用者が高齢化し、蓄えていた資金を切り崩しながら使っていることが要因である。
	×	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・自動車メーカーの不正検査問題で、新車販売が止まってしまい、新規客の動きが全くなくなっている。
	×	乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・寒さが例年より早く訪れたこともあり、冬物衣料の購買意欲は順調に推移している。一方で、野菜や果物は台風の影響もありやや高く、消費は下降傾向である。A Iを搭載した安全性機能の充実を図っている自動車の購買意欲はあるものの、販売はやや下落している。
	×	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・天候不順が相当影響しているだろうが、今月に入って売上が極端に落ちている。
企業 動向 関連  (甲信越)		金融業（調査担当）	取引先の様子	・県内企業の景況感は改善している。業況判断D Iが製造業で前期に比べて改善し、プラス水準を維持している。
		食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・今月は天候不順が続き、見学者は減少したものの、新酒の販売が大きく貢献し、前年をクリアしている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	取引先の様子	・例年並みに年末商材の受注はある。さらに、特注品や店頭商品の受注も伸びている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他製造業 [ 宝石・貴金属 ] ( 経営者 )	受注量や販売量の動き	・展示会の売上は回復してきているが、問屋は相変わらず仕入れを抑えており、前年と比べて多少の伸びにとどまっている。
		金融業 ( 経営企画担当 )	取引先の様子	・地元観光業は中国の旅行会社への規制もあり、団体客から個人客に変わってはいるものの、全体的な外国人観光客数は変わらない。乗用車販売、食料品関連は引き続き堅調である。衣料品関連も持ち直しの動きがあり、国内景気は徐々にではあるが、良くなっている。
		食料品製造業 ( 製造担当 )	取引先の様子	・今月大手スーパーが理由は明かさずに撤退した。元々地代のかかる場所でのスタートだったため、利益が出ないと厳しかったのではないかと。販売点数には限界があり、利益の取れない価格競争は、お互いの首を絞める。前年から廃業した卸売、小売業は4件になり、当社も売上確保が厳しくなっている。
		電気機械器具製造業 ( 営業担当 )	受注量や販売量の動き	・業種によって良いところ、悪いところの差が出ている。
		建設業 ( 経営者 )	受注量や販売量の動き	・現在、受注量は順調に伸びている。
		新聞販売店 [ 広告 ] ( 総務担当 )	受注量や販売量の動き	・今月のチラシ出稿量は前年比96.7%である。当地では衆議院選挙と市長選挙があり、選挙関連の折込チラシが含まれており、これを除くと89.5%である。一方、冷え込みや長雨が続き、紳士服専門店や百貨店では、コート等の冬物の動きが好調と聞いている。
		電気機械器具製造業 ( 経営者 )	受注量や販売量の動き	・以前に比べ受注が少ない。受注があっても部品の納品が悪く効率的ではない。短納期のため受注機会を逃すことがある。
	x	*	*	*
雇用関連		職業安定所 ( 職員 )	求人数の動き	・半導体関連製造業を中心に、派遣を含む求人数が増加しており、求人倍率は毎月上昇している。
		*	*	*
( 甲信越 )		人材派遣会社 ( 営業担当 )	雇用形態の様子	・雇用条件が厳しいことや合否に慎重であるため、採用に1か月ほどかけている企業がある。
		求人情報誌制作会社 ( 経営者 )	周辺企業の様子	・今月は年末に向けて季節的な募集が目立っている。地元大手食品メーカーの年末贈答品生産に伴うパート、アルバイト募集や宅配会社の募集が多く、特に折込チラシによる募集が目立っている。
		職業安定所 ( 職員 )	求人数の動き	・求人数は前年同月比6.2%増である。建設業では販路拡大を図るため営業拠点を増やしている企業から技術者、営業などの大口求人がみられる一方で、退職者の補充に苦慮する企業も目立つ。卸売、小売業では新規出店を見据えた大口求人があった。求職者については同3.8%減であるが、そのうち在職者は6.3%増加している。
		民間職業紹介機関 ( 経営者 )	求人数の動き	・求人をけん引する製造業では、求人は増えてきているものの、正社員求人には変化がなく、採用基準の引下げも少なく、充足できない状況が続いている。
		-	-	-
	x	-	-	-

## 6. 東海 ( 地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 )

( - : 回答が存在しない、\* : 主だった回答等が存在しない )

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連		商店街 ( 代表者 )	来客数の動き	・前月と違って来客数が増加しており、前年同期比で120%程度伸びている。
( 東海 )		乗用車販売店 ( 従業員 )	販売量の動き	・来客数、販売量共に、10月は文句なしに良い。売行きも良く、問い合わせも多い。客は購買意欲が高まっている。
		一般小売店 [ 高級精肉 ] ( 企画担当 )	販売量の動き	・株価、景況感共に上昇している。企業の業績も向上が見込まれ、期待が大きい。
		一般小売店 [ 書店 ] ( 営業担当 )	販売量の動き	・年度末に向かって客の予算執行が順調に行われている。
		百貨店 ( 経理担当 )	お客様の様子	・台風等で天候には恵まれなかったが、消費の盛り上がりでマイナス分を補っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（計画担当）	単価の動き	・来客数が増えてきている上に、外商客を中心に高額商品の動きが出てきている。
		百貨店（売場担当）	単価の動き	・アウター等商品単価が上がり、売上が伸びている。前年比を上回る日もある。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・長雨や台風等の影響はあったが、富裕層を中心に購買意欲は強く、インバウンド需要も重なり、売上は堅調に推移している。
		スーパー（ブロック長）	お客様の様子	・競合店の出店が続き厳しい状況であるが、新商品や高単価品への客の関心が高く、売上にもつながっている。売上は前年同期をクリアしている。
		コンビニ（企画担当）	それ以外	・インバウンドが増えている。
		衣料品専門店 〔紳士服洋品〕 （売場担当）	お客様の様子	・気候も影響しているが、これまで苦戦していた衣料品が全般的によく動いている。客も見ただけではなく、実際の購買につながっている。
		家電量販店（店員）	単価の動き	・有機Eテレビや新型冷蔵庫等の高単価商品がよく売れている。
		乗用車販売店 （営業担当）	単価の動き	・新型電気自動車の販売が好調で、比較的高い価格帯の上級グレード車が特に売れている。自動車メーカーの不正検査問題がなければもっと売れている。
		乗用車販売店 （経営者）	販売量の動き	・買換え客が多く、中でも新車の購入が多い。分割ではなく一括払いの客が多数を占めている。
		乗用車販売店 （営業担当）	販売量の動き	・例年10月は決算明けで売上が落ちるが、今年は衆議院選挙や台風の影響で来客数は減少したものの、来客数に対する受注率が高く、販売量は増加している。
		高級レストラン （役員）	来客数の動き	・ランチタイムの来客数が前年同月を上回っている。
		都市型ホテル （支配人）	来客数の動き	・宿泊予約の入りは良いが、宿泊単価を上げると入らなくなる。レストランは不調が続き、宴会は、前年割れの状態である。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約数は微増、解約件数は減少しており、良くなっている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・これまで以上に販売量が増加している。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・比較的高額な商品の見積依頼が増えている。
		美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・キャンペーンが続き、セット商品を購入する客がいる。
		その他サービス 〔介護サービス〕 （職員）	お客様の様子	・同居家族の仕事が忙しくなってきたため、介護施設の利用時間を延長する利用者が増えている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・相変わらず客単価が伸びず、販売量や売上の改善につながらない。天候不順もあるが、このような状況がずっと続いている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・天候不順のせいか衆議院選挙があったためか、販売量としては前年よりも1割ほど減少している。ただし客の購買意欲は変わらない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・相変わらず節約志向が強い。若い人の収入が増えていない。
		商店街（代表者）	単価の動き	・低単価傾向に変化はないが、来客数は安定してきている。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・例年は秋口にある大口注文が今年はなく、見込んでいた売上を大きく下回っている。取引先の話では、とにかく景気が悪いままで、消費者の財布のひもは固いとのことである。
		一般小売店〔生花〕 （経営者）	お客様の様子	・依然、財布のひもは固い。必要な物だけを少しでも安くという風潮となっている。高額商品の動きも鈍い。
		一般小売店〔薬局〕 （経営者）	来客数の動き	・行事としては8月のバーゲンセールから3か月は何もない。天候の悪い日や祭日も多く、駅前ビルのテナント店の多くでは、来客数が少なく売上も伸びていない。大都市圏は活況というニュースもあるが、地方ではまだまだであり、特に当地は冷え切ったままである。
		一般小売店〔贈答品〕 （経営者）	お客様の様子	・例年10月は動きが鈍くなる。大企業は広告として大量の贈答品を購入し売上も増えているが、個人客は付き合いを絞っているのか、返礼品等の売上は減少している。両者の増減がバランスして売上は増加せず、変わらない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・前月から衆議院選挙期間中の観光客の減少という要素があって良くないが、台風による観光施設の破損や来客数の減少が大きく影響し、ダブルパンチとなっている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・靴の修理部門は忙しいが、新しい靴を買う客が減少している。
		百貨店（経理担当）	単価の動き	・今月は台風の影響等により前年割れが続いているが、全体的な流れとしては、あまり変化がない。
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・前半は自家需要の動きがなく購入に慎重な客が多かったが、後半になって自家・ギフト需要共に好転した。高額商品の動きも良いが、総合的にみるとまだ不安定である。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・自動車、スマートフォン関係の部品等は円安で輸出も伸び、外貨は順調に確保されている。内需はあまり伸びず、サービス業で働く人が多いため所得があまり増えず、世間でいわれるほど景気は良くなってはいない。10月中旬以降は寒さで冬物商材の売行きが良くなっているが、全体的には中小企業で働く人たちの給与は増えず、皆困っている。
		スーパー（経営者）	販売量の動き	・青果物の価格は、日照時間不足に加えて台風の被害で急騰している。景気指数では景気が良いといわれているが、実感できない。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・秋の味覚、栗、柿、ミカン等、旬の物が出始め、買い求める様子が見受けられたが、2度の台風直撃の悪天候はさすがに客足に響いた。
		スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・10月の売上は前年比102%で推移しており、徐々に前年同期をクリアしている。この傾向が続けば改善しているといえるが、もうしばらくは様子見が必要である。
		スーパー（営業企画）	お客様の様子	・客はし好品にはある程度支出するが、日用品には低価格を求めており、消費傾向に変化はない。
		スーパー（企画・経営担当）	お客様の様子	・ハロウィーン柄の商品は、販売が順調である。気温が下がってきたことで冬物商材がよく動くようになってきたが、台風の影響で前年比の状況としては、前月よりも悪くなっている。
		スーパー（人事担当）	販売量の動き	・相変わらず余分な物は買わない傾向である。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・週末の悪天候が大きく影響しているが、前月のような重点商品の米飯やファーストフードの伸びはない。横ばいの推移となっている。
		コンビニ（エリア担当）	競争相手の様子	・客の動きは、以前よりは活発化しているが購入点数にはつながっていない。競争相手の動向もそれほど良くない。
		衣料品専門店（販売企画担当）	それ以外	・何社かの取引先と話をしたが、いずれも前年より売上が下がっているとのことである。
		乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・足元の景気は変わらないが、免許返納や自動車を手放す高齢者が複数いるため、増加するペースによっては影響が出てくる可能性がある。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・来客数は前年同期比で増加しているが、成約には結び付いておらず、最低限の計画値は達成しているが、決算期に見合うような成果が上がっていない。破格値の特選車等は完売するが、それ以外の車種に関しては、下調べという様子の客が多い。車以外に金をかけたいという声も多く耳にする。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・2週連続の週末の台風で新型車種の発表会が開催できず、店頭誘致は不調に終わったが、自動ブレーキ等の事故回避装備が多くの車種に普及してきたので、客の新車への関心は徐々に高まってきている。
		住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・新築の持家住宅や分譲マンションは増えていないが、大規模改修やリフォーム工事は増えている。設備投資や公共工事等については、横ばいである。
		その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	販売量の動き	・販売量の動きは、客足と同じようにやや控えめであるが、下見客はいるので、年末に向けては良くなると期待している。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	販売量の動き	・売上高は前年比マイナス2.7%、来客数は前年比マイナス2.5%である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他飲食〔仕出し〕(経営者)	販売量の動き	・衆議院選挙が終わり株価は上がっているが、消費の面で良くなっているという実感は全くない。
		その他飲食〔ワイン輸入〕(経営企画担当)	お客様の様子	・株高や求人好調等で、客は良好な景況感を維持している。
		観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・ここ3か月は、来客数が前年同月比で3~5%減少している。傾向としては変わらないが、やや悪い状況が続いている。
		都市型ホテル(経営者)	販売量の動き	・忙しい日と暇な日の差が拡大している。
		旅行代理店(経営者)	それ以外	・ターミナル駅前でも、飲食店等では競争激化と客単価の下落が続いている。昼食に使う金額はせいぜい横ばいで、コンビニ利用に変わる人もいて、消費が活発化しているようには見受けられない。
		旅行代理店(経営者)	販売量の動き	・年末年始商品の受注は前年並みだが、年明け以降の受注が全く読めていない。衆議院選挙が終わっても政治の方向性がわからず、北朝鮮の問題もあり、先行きは不透明なままである。
		旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・年末年始や忘新年会の動きはあまり良くない。早くも卒業旅行・春休みの予約・問い合わせが増えており、今後期待する。
		タクシー運転手	来客数の動き	・夜の飲食店街では、客が少ない状態がずっと続いている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・10月は雨の日が多く、プラスマイナスの両面があった。平日の雨の日は夜間の客が減るが、土日に雨の日は結婚式等で無線配車の仕事が増える。台風と衆議院選挙の投票日が重なった日は非常に客が多く、特に選挙関係で深夜まで働いた人の帰宅で遅くまで利用客が多く、非常に売上が良かった。
		タクシー運転手	お客様の様子	・高齢者が通院や買物であまりタクシーを使わなくなっている。夜の街へ出かける人も少ない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・景気が上向いているという実感はまだないが、衆議院選挙の結果によって、良くなるという期待感を感じる。
		通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客からの問い合わせ数は平均的で、大きな変化はない。
		テーマパーク職員(総務担当)	販売量の動き	・当園内での販売量等は増加がみられない。
		その他レジャー施設〔鉄道会社〕(職員)	来客数の動き	・秋の行楽シーズンとなり、観光列車の予約状況は堅調であるが、一般の客はわずかながら減少しており、総じて売上は横ばいである。
		設計事務所(経営者)	来客数の動き	・案件数の変化はあまりない。
		住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・大きな変化はなく、横ばいである。
		住宅販売会社(従業員)	競争相手の様子	・建て売り住宅の着工は増えてきている。
		その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕(経営者)	販売量の動き	・不動産の仕入れがかなり減少しており、売上も伸びない。
		百貨店(業績管理担当)	来客数の動き	・台風による天候悪化が要因で、来客数が前年同期を下回っている。
		スーパー(総務担当)	来客数の動き	・今月は肝心な時に雨に降られることが多い。
		スーパー(販売担当)	競争相手の様子	・徒歩圏内に競合店が開店したが、品ぞろえや価格等の点では良い店である。天候不順や台風等も重なり、当店の来客数は少ないが、競合店は盛況である。
		コンビニ(企画担当)	販売量の動き	・天候の影響もあり、売上が夏以降低迷している。前年は大幅なキャンペーンを行ったこともあり、前年同期比では各店共に悪い。
		コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・悪天候の影響もあるが、来客数が徐々に減少している。
		コンビニ(店長)	販売量の動き	・繁華街の入出が非常に悪く、特に土曜日が悪化している。それに伴い来客数、売上共に前年同期比で15%減少しており、この傾向は夏以降ずっと続いている。景気としては非常に悪い方向へ向かっている。
		コンビニ(店長)	来客数の動き	・10月は台風等で雨の日が多く気温も低く、来客数、売上共に前年を大きく下回っている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店(店員)	来客数の動き	・来客数は減少し、客単価は上昇している。客足は天候に左右されやすく、今月は台風が2週続けて週末に直撃したこと、衆議院選挙による政治の不安定化が来客数の減少につながっている。
		乗用車販売店(経営者)	販売量の動き	・来客数は3か月前より減少している。販売量も減少傾向である。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・北朝鮮の問題や衆議院選挙に伴う政治の不安定等で、車の売行きは悪くなっている。
		乗用車販売店(従業員)	販売量の動き	・半期決算後でもあり、新型車種の発表もなく、販売量は全体的に伸び悩んでいる。新車の販売台数は、全社的に前年同期比90%前後で推移している。
		一般レストラン[パン・カフェ](経営者)	競争相手の様子	・10月は週末になると雨や台風で、前年同月に比べて悪くなっている。
		一般レストラン(経営者)	販売量の動き	・全体的に飲酒の量が減少している。
		観光型ホテル(販売担当)	来客数の動き	・宿泊は、2度の週末の台風により来客数、売上共に大きな影響を受けた。一般宴会においては、前年同月にあった企業の周年記念行事や全国組織の大会に代わる案件を受注できなかったため、全体で10%程度のダウンとなっている。
		旅行代理店(従業員)	それ以外	・ただでさえ衆議院選挙のある月は旅行需要が減少するのに、これだけ雨の日や台風が多いと、秋の行楽にはダブルの痛手である。旅行中止によって利益は予定よりも減少し、来店客の減少で旅行申込も減少し、今年は秋のシーズンがなくなってしまった。
		通信会社(営業担当)	販売量の動き	・新型スマートフォンの発売が遅れており、既に発売されている機種も伸び悩んでいる。その他にも年末にかけて新機種は発売されるが特に目新しさはなく、この先も心配である。
		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・台風21、22号が週末に接近したため、来客数が大幅に減少している。
		ゴルフ場(企画担当)	来客数の動き	・10月は雨天が多く天候に恵まれなかった。土日に台風の影響もあり、来客数は前年より1割ほど減少している。ゴルフシーズンであるが残念な結果となっている。来客数でみれば非常に悪いが、天候が大きな原因であり、業況としてはやや悪い状況と評価している。
		理美容室(経営者)	来客数の動き	・客との話で、景気が良くないので床屋に来られないと言われた。
		美容室(経営者)	単価の動き	・毎年この時期にキャンペーン等の企画を立てるが、客はなかなかキャンペーン等のサービスの商品に反応しない。
		美容室(経営者)	お客様の様子	・客はなかなか金を使わない。
		設計事務所(職員)	お客様の様子	・客との打合せでは、特に景気の良い話は聞かない。
		住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・客層が高額商品と低額商品に2極化している。高額商品は、後で売れる物件や買換えができそうな物件に需要が集まっている。
		その他住宅[住宅管理](経営者)	お客様の様子	・リフォームの依頼は増えているが、特に賃貸物件では予算を抑える傾向にある。外装には金をかけるが、内装は低価格の材料が増えている。
	×	商店街(代表者)	お客様の様子	・年金生活の客が多く、老後への不安からか消費に対する意欲がない。
	×	一般小売店[結納品](経営者)	来客数の動き	・2週連続の台風と衆議院選挙の影響で、来客数が減少している。
	×	一般小売店[酒類](経営者)	来客数の動き	・飲食店では、来客数がゼロの日が週の半分という店が出てきている。ほかの酒販店でも同様の傾向と聞く。
	×	スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数が大きく減少している。ふだん購入される豆腐等の日配品も大きく落ち込んでいるが、急激な落ち込みの要因はわからない。
	×	スーパー(商品開発担当)	販売量の動き	・3か月前と比較して、前年同期比の来客数は更に2%ほど減少している。売上も100%を割っており、3か月前よりも状況は厳しくなっている。
	×	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・客の来店頻度は減少傾向にあり、売上も落ち込んでいる。接客にもゆとりがなくなり、客足が遠のく一因となっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	×	一般レストラン（従業員）	販売量の動き	・台風の影響で売上が減少している。
	×	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や客単価が悪くなっている。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・雨や台風が来ると、車に乗れない客は外出できず売 上につながらない。今年に入って10月の売上が一番少 なくなっている。
	×	理容室（経営者）	お客様の様子	・今月は特に厳しくなっている。
企業 動向 関連 (東海)		*	*	*
		食料品製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・秋冬商材の出荷が堅調に推移している。台風の影響 で若干失速気味ではあるが、これからのばん回は十分 に可能である。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・原材料の値上がり分の製品価格への転嫁も徐々に進 み、販売量も多少増加しており、景気はやや良くなっ ている。
		化学工業（人事担当）	受注価格や販売価格の動き	・車、旅行や持ち物等は高級品がよく売れている。た まにしか購入しない物は高くても良い品を購入する一 方、普段使う日用品や食材はできるだけ安く済ませる スタイルが広がっている。
		窯業・土石製品製造業（社員）	取引先の様子	・工場見学を希望する客が増えている。勉強目的の出 張にも費用を出せる余裕が表れている。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売量は増えているが、製品によるばらつきはあ る。全体に良くなっているという状況ではない。
		一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・北米市場では、中古設備を改造する計画が新規設備 導入に変更される等、予算金額が増額となる案件が増 えている。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・円安傾向のためやや良くなっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・価格面では非常に厳しい状態が続いているが、半導 体関係の影響で、工作機械は過去にない売上、受注に なっている。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・北朝鮮の問題や為替の大きな変動等、不安感の強 かった年度初めや3か月前と比較すると、落ち着きを 取り戻しつつある。当社の業界でも機器の受注が増え てきている。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・今年度に入り、輸送物量は前年同期よりやや増加す る傾向が続いているが、10月からは同業他社で運賃値 上げが実施されたこともあり、他社から移行された荷 物が増加している。
		通信会社（法人営業担当）	競争相手の様子	・客の高額なシステム提案には、これまでの競合会社 以外にも、数社が名乗りを上げるようになってきている。
		通信会社（総務担当）	それ以外	・株価の続伸は景気が良くなる兆しである。衆議院選 挙の結果は、現状の肯定と考えられる。地元でもイン パウンドの増加が顕著で、地方での需要もじわじわと 増加傾向にある。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・自動車産業、住宅関係、建築関係においては、わず かではあるが、景気は良い方向に向かってるように 見受けられる。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・株高、円安が進んだことで個人投資家には含み益が 出てきており、消費の動きが出始めている。
		行政書士	受注量や販売量の動き	・建設部材や重量物の運搬、機械設置の業者では売上 が良くなっている。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・10月決算では利益増加の中小企業が多い。要因とし ては、建設業では元請企業からの、製造業では中堅企 業からの請負単価と金額が良くなっており、大企業か らの波及がみられる。
		会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・客先の企業では売上、利益共に伸びており、好調な ところが多い。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に例年よりも減少が続いている。 し好品には景気のしわ寄せが強く表れている。
		化学工業（総務秘書）	それ以外	・衆議院選挙では与党が大勝したものの、景気回復の 実感が湧かないという国民の声が大きくクローズアッ プされ、景気が良くなっているとは言いがたい。
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・業界では「秋需」と呼ぶ繁忙期に例年ならば入っ ているが、受注量や販売量は横ばいである。東京オリ ンピックや公共事業により、ある程度の伸びを期待し ていたが、肩すかしの状況にある。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・短納期の案件が多く繁忙感は強いが、全体としてはボリュームに欠ける。効率の良い稼働状況が続いている。
		輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	取引先の様子	・客先の生産計画が増加傾向で、ずっと変わらない。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・この3か月は、1日当たりの売上はほとんど変わらず、比較的良好水準が続いている。
		建設業（役員）	それ以外	・10月は購入客の動きが若干鈍い。様々な要因はあるが、景気の悪化ではない。
		建設業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・客の施設の経年劣化の具合に合わせて見積等を出しているが、まだ確定には至らず、あまり変わらない。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・物量は国内外共に、前年に比べて微増で安定している。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・海外航空貨物は安定しており現状維持である。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・全社での1日当たり取扱貨物量をみると、3か月前は前年同期に比べて4～5%ほど増加しているが、10月の動きも前年同期比としては3か月前とそれほど変わらない。
		通信会社（法人営業担当）	それ以外	・有効求人倍率は全都道府県で12か月連続して1.0倍を超えており、特に東海3県は顕著である。様々な経済指標からは景気の回復がうかがえるが、実感が湧かない。
		不動産業（経営者）	それ以外	・例年よりも雨天が多いことや台風の影響もあるが、売上は前年同月をやや上回る程度で推移している。駐輪場は低額で利用できることもあり、必要な出費を惜しむほど景気は悪くない。
		不動産業（用地仕入）	取引先の様子	・特段の大きなトピックはない。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・紙媒体でも電波媒体でもあまり動きがなく、状況は変わっていない。
		公認会計士	それ以外	・大企業の好業績に対して、中堅中小企業の業績は非常に厳しい。
		その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・引き合い案件があっても対応できる人員がいない。外部に委託したくても、業務が特殊で一般的な人員では難しいため、現在の案件で手一杯となっている。
		その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・10月は非常に忙しく、前月の良い状態から変わらない。新しい案件も受注し、先行きも非常に明るい状態である。
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・客先の業界全体が悪いなかで、客も設備投資を減らしており、当社の売上も減少している。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きが前年同期比5.7%の減少で、やや悪くなっている。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・衆議院選挙の影響で、新聞折込が入らない日が1日あった。
	x	-	-	-
雇用関連		-	-	-
(東海)		人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・株価が上昇している。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数は、前年同期比で120%強、3か月前との比較では130%強と大幅に伸びている。自動車メーカーや自動車部品メーカーからの引き合いが堅調である。
		アウトソーシング企業（エリア担当）	求職者数の動き	・国内自動車販売及び輸出台数は上向きに推移しており、生産体制を維持するために求人が増加している。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・求人広告の問い合わせが増えている。
		職業安定所（所長）	雇用形態の様子	・管内企業の有効求人倍率と正社員求人倍率が、これまでになく高まっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前に比べて、有効求職者数は変わらないが有効求人数が3.8%増加しているため、有効求人倍率は1.6倍から1.64倍に上昇している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の増加傾向に加えて、求職者の減少傾向もみられる。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・正社員求人数が大幅に増加し、前年同月比でもプラスに転じている。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・働き方改革の影響もあるが、残業削減の動きが多くみられる。個人の所得としては減少傾向である。
		人材派遣業（営業担当）	周辺企業の様子	・衆議院選挙や北朝鮮情勢により、景気は様子見の状態が続いている。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・職業紹介の新規登録者が増えない。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・足元では例年に比べると悪いが、3か月前との比較では、さほど変わらない。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・引き続き企業の採用意欲は高い。特に製造要員やサービス業での接客人材では、人手不足が続いている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・求職者と求人者のミスマッチが多く、実際の就職実績に結び付かない。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・求人倍率は1.0倍程度で推移し大幅な変動はない。企業では人手不足感が強いが、従業員の給料には反映されていない。
		民間職業紹介機関（営業担当）	採用者数の動き	・引き続き転職希望者の売手市場という状況に変化はない。大手企業からの募集案件は高止まりであるが、ひっ迫度の高い案件は既に採用が決定しているため、中堅中小企業での決定が中心となる。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・慢性的な人手不足による不安感が大きい。企業の存続も危ういのではと考える人も多い。景気が良いという声は、富裕層が引っ張っている一部分だけである。
	x	-	-	-

## 7. 北陸（地域別調査機関：一般財団法人北陸経済研究所）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北陸)		通信会社（役員）	販売量の動き	・インターネットや電話、テレビの新規や増設の契約数が増加している。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・株高により一部の富裕層の資産効果の影響からか、高額美術品の動きが好調である。また、化粧品は引き続き安定している。不振だった婦人服には回復傾向がみられる。
		乗用車販売店（役員）	お客様の様子	・自動車の購入を検討する際に、カーナビやドライブレコーダーなどの付属品への客の関心が高くなっている。購入価格の増加に対して、以前よりも客の抵抗感が薄れているようである。
		乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・10月の販売量は前年同月比103%の見込みである。3か月前の実績が前年同月比82%であったため、3か月前との比較で上向きである。
		その他小売〔ショッピングセンター〕	販売量の動き	・例年より気温低下が早まり、羽織物や寝具などが順調であったが、一転して9月中旬並みの汗ばむ陽気となり、特に衣料を中心に動きが鈍って大苦戦した。食料品は旬の食材の入荷が順調で、野菜を中心に相場安が続いているため、メニュー提案がしやすく売上を維持できている。
		観光型旅館（スタッフ）	来客数の動き	・前年比で総売上82%、宿泊人数82%、宿泊単価97%である。団体客が取れない状況が続いているが、個人客は前年比95%と健闘している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・秋の行楽のため、週末を中心に観光客が増えている。4～5人の小グループで2泊3日の観光客が多く、特に中高年の割合が増えている。
		通信会社（職員）	お客様の様子	・携帯電話のキャリア契約の変更は気軽にできるものではないが、店頭での販売数が増えている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・寒暖差が大きく、そのためアウターを検討する客が多くみられる。しかし、なかなか購買には結び付かない。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・季節要因による先買いで需要期がずれているものの、全体的には変化がない。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・固定客は来店しているが、新規の客や若い年齢層の客の取り込みがうまくいっておらず、今後の課題である。
		一般小売店〔事務用品〕（店員）	単価の動き	・仕入価格や配送コストの値上げ改定によって、利益確保がより難しくなっている。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・食品物産の催物にはぎわったが、各階への買い回り効果は薄い。要冷蔵品など目当ての食品だけを購入して、そのまま帰る客が多い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（営業担当）	単価の動き	・後半の天候悪化により来客数は伸びなかったが、重衣料の動きが早く、前年並みの売上が達成できている。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・安定しない気候の影響による野菜の不作、サンマやサケの不漁などで、売上確保が難しい。ただし、単価は下がっているものの、販売量は前年並みで推移していることから、景気の状態は変わらないと考える。
		スーパー（統括）	単価の動き	・3か月前とほとんど状況が変わらない。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数と客単価に大きな動きはみられない。
		衣料品専門店（総括）	お客様の様子	・上向きになったといえるのは気温が下がった時だけである。根本から景気が良くなったとはいえない。
		家電量販店（店長）	販売量の動き	・ヒット商品がなく、10月は特に動きがない。
		家電量販店（本部）	販売量の動き	・商品によって販売量の動きに差はあるが、全体では横ばいである。
		乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・例年であれば週末には来客数が多くなるが、今月は各店とも来客数が少ない。購買意欲が高まっているようにはみえない。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・特に目立った動きはないものの、自動車販売、整備共に販売計画は達成している。
		自動車備品販売店（役員）	お客様の様子	・車検需要が減少する一方で、ドライブレコーダーや安全用品への関心が高まるなど、外的要因が来客数や売上に影響している。しかし、必要なものへの金の使い方は変わらず、良いものを選択する客が多いため、客単価は前年から下がっていない。
		住関連専門店（役員）	販売量の動き	・例年と比較しても購入点数や単価の減少が進んでいる。
		その他専門店 [酒]（経営者）	販売量の動き	・営業状態は、とにかく静かで暇である。酒を納入している料理屋から聞いた話では、衆議院選挙があったため来客数が伸びなかったということである。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	お客様の様子	・シネマが前年比で引き続き苦戦しており、館全体の来客数でも前年を割っている。また、同様に衣料品も下回り、食料品や日用雑貨、書籍でも苦戦している。ただし、飲食やその他業種については来客数が少ないながらも売上高が前年を超えており、客単価と購買率は堅調に推移している。
		観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・9～10月の2か月間は、耐震補強工事のために客室のうち30室が使用できなかった。また、週末に大型台風が来た影響などで、北陸新幹線開業前の売上にまで落ち込んだ。
		都市型ホテル（役員）	販売量の動き	・宿泊部門は堅調に推移しているが、レストラン部門と婚礼部門は厳しい状況にある。一般宴会は企業周年イベントやコンベンションによって若干良いが、全体で見ると景気動向は変わらない。
		旅行代理店（所長）	販売量の動き	・前年比で売上の伸びが全くない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・朝夕の予約が以前より多くなっている。忙しくなっているが、一般客の利用は少し減少している。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・新商品が発売されたにもかかわらず、販売量が予想を下回り、伸び悩んでいる。
		通信会社（役員）	販売量の動き	・契約獲得件数は、過去数か月では前年を大きく下回って推移していたが、今月はやや持ち直している。衆議院選挙の結果を受けて、消費者心理に改善傾向が出てきたのではないかと考えている。
		その他レジャー施設（総支配人）	来客数の動き	・大人の会員数は維持できているが、子供の会員数が減少している。また、大手企業から健康経営に関連する依頼が始めているが、ごく一部である。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・ここ数か月は、客単価のアップによって前年売上をクリアしている。しかし、毎月の来客数は前年割れとなっており、今後が不安である。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・契約件数、契約金額共に前年よりやや増えており、今後もしばらくは続きそうである。消費税増税の時期がほぼ決定となりそうなので、それまでは契約金額は安定すると考える。
		住宅販売会社（従業員）	それ以外	・受注件数は前年並みだが、受注価格が低く利益は出ない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	販売量の動き	・2週間にわたり土日にデパートで子供向けのイベントが開催され、多くの人出があった。それにもかかわらず、その波及効果による売上増が全くなかった。ここ数年では珍しい。
		一般小売店〔書籍〕（従業員）	販売量の動き	・来客数の減少に加え、販売量の落ち込みが目立ち始めている。
		一般小売店〔鮮魚〕（役員）	販売量の動き	・北陸新幹線開業から2年半経過し、さすがににぎわいが落ち着いてきた。飲食や旅館などでも売上が前年割れしているとの声をよく聞くようになった。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・例年よりも気温が低く、秋物商材への関心が高まると期待していたが、台風や衆議院選挙などの影響によって来客数、購入金額共に減少している。優待会や催事でも集客に苦戦する状況である。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・前年の野菜の相場高の影響によって、売上前年比は減少している。野菜は高くても売行きが見込める商材であるが、単価ダウンの傾向が顕著である。
		スーパー（総務担当）	単価の動き	・来客数は前年を維持しているが、客単価が減少している。特に1品単価が減少しており、より安い特売品の割合が増加している。
		スーパー（店舗管理）	来客数の動き	・10月に入って急激に来客数が落ち込んでいる。競合店の新規出店や改装オープンが続いているが、原因はそれだけではないと考える。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・客単価は微増であるが、来客数の落ち込みが大きい。行楽客の立ち寄り回数が少ないようである。来店客はたくさん買って行くのだが、そもそも行楽に行く人が少ない。
		コンビニ（店舗管理）	販売量の動き	・地元ブランド米の売出しキャンペーンが大盛況であったため、月間売上が前年を超える好業績であった。一方で、この効果がなければ前年を大きく割り込んでいたかもしれない。O157の事故が総菜販売にとって逆風となっている。
		高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・9月にポイントを2倍利用できるキャンペーンを実施し、前年比120%を超える集客があった。そのため、今月は完全にその反動を受けた状態である。
		一般レストラン（店長）	来客数の動き	・急な衆議院選挙となり、人の動きが悪くなった。また、週末の台風上陸が重なって予約キャンセルが出ている。
		一般レストラン（統括）	来客数の動き	・9～10月の来客数が前年同時期に比べると悪く、ここ最近で最も悪い状況だった。食材供給先に聞いても同様の状況である。10月下旬ごろより少し回復基調となっているものの、台風や衆議院選挙などで外食産業にとっては良くない状況である。
		都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・全体的に堅調に推移してきたが、10月に入ってレストランや宴会部門の売上が前年を割り込んでいる。宿泊部門は前年並みである。レストラン客は引き続き価格に敏感で、販売価格の値下げや原価を上げて割安感を出さないと売れない。一方で、仕入価格は天候の影響などで値上がりしており、収益を圧迫している。さらに、重油が前年より2割以上値上がりして収益悪化の要因にもなっている。
		テーマパーク（役員）	来客数の動き	・前年と比べて10月は、台風を始め天候の悪い日が続いた。衆議院選挙もあって、国内の旅行客の動きが前年比でやや悪い。
		住宅販売会社（営業）	来客数の動き	・例年の来客数に届いていない。
	×	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・景気の拡大が言われているなか、中間層がいなくなり、世帯年収は両極端になってきている。中間層ねらいの衣料品専門店は、ますます苦戦している状況である。
	×	スナック（経営者）	来客数の動き	・なじみ客が病気になったり、旅行に出かけたりと来客数は安定しない。また、台風や衆議院選挙の影響もあって、来客数は前年同月の9割、前月比でも9割の低空飛行であり、頭が痛いところである。
企業 動向 関連  (北陸)		一般機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・米国市場は順調に受注できている。欧州市場では、大型見本市出展以降に商談が決まり、受注は伸びている。また、国内市場も好調である。しかし、受注は伸びているものの、機械を作る基幹部品の納品が滞っており、生産できないという問題が発生している。
		化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・受注量が好調に推移している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		建設業（役員）	受注価格や販売価格の動き	・当地域では工事発注量が増加してきたが、当地域の一部においては厳しい受注価格競争が続いている。	
		輸送業（配車担当）	取引先の様子	・円安が続く現状から、今後しばらくは輸出が好調に推移するとみている。	
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・3月決算期企業の9月中間期の収益着地見込みを聞くと、メーカーや卸売業者、小売業者共に総じて堅調である。特に、輸出と国内出荷が共に順調であるため、地元の機械メーカーとそれに連なる下請企業群の業績が更に伸びている。	
		司法書士	取引先の様子	・不動産業者や建設業者の話では、不動産は動いており忙しいとのことである。	
		食料品製造業（経営企画）	受注量や販売量の動き	・コンビニエンスストア向けの商品が引き続き好調である。しばらくはこの傾向が続くと見込んでいる。	
		繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年同期並みの受注は何とか確保できているが、決して受注環境は良くなっていない。衣料品関係の国内消費の低迷が起因している。	
		繊維工業（経営者）	取引先の様子	・衣料関係の消費状況が非常に厳しいなか、販売数量が前年比で変わらないということは大健闘といえる。非衣料分野については安定している。	
		精密機械器具製造業（役員）	取引先の様子	・展示会等での当社の受注量は前年を上回っている。ただし、全体的には若干増加傾向にあるものの、大きくは変わっていない。	
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・手持ちの工事はそこそこあるが、この時期になかったら大変である。従業員の残業時間をチェックしても残業は増えておらず、景気が良くなっていると言うほどではない。	
		金融業（融資担当）	受注量や販売量の動き	・夏場からの、週末に重なる天候不順や台風の影響によって、地元観光地の入込客数が前年と比べて良くない。	
		税理士（所長）	取引先の様子	・最近の景気は大きくマイナスというものはないが、プラスになる要因もない状況である。ただ、売上高のペースをみると過去最高には届かないが、経費が削減されていて順調であったり、退職者が出て採用ができないことから人件費が効率化されて利益が出ているといった、消極的な利益が上がっているという感じがある。	
		プラスチック製品製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・新設住宅着工戸数が前年同期比でやや減少傾向で推移している。それと同様に住宅業界の売上や受注は伸び悩んでいる。	
		不動産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・同業者の話によると、忙しい様子はない。問い合わせがないという人が多かった。特に、個人客からの問い合わせが少ない。	
		x	-	-	-
	雇用 関連 (北陸)		新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・求人広告件数は前年より落ち込んでいるが、正社員の比率が前月より上がってきている。正社員需要がまだまだ落ち着いていないことから、企業の人手不足感がうかがえる。
		新聞社〔求人広告〕（営業）	周辺企業の様子	・各企業の広告出稿に対する姿勢が前向きである。実際に、ここ2か月の出稿量が少し上向きである。	
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・製造業を中心に、2次募集の案内が前年同時期より多い。	
		人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・求人需要は減ってはいないが、適材となる求職者数が全く伸びず、マッチング率が悪い。	
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者数は少ない傾向のまま変わらない。企業からの求人に対して紹介可能な求職者を確保できずに苦慮している。	
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・求人広告1回の発行で、求人数がほとんど変わらない。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は、前年と比べると増加傾向にあるものの、横ばい状況になってきている。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・9月の新規求人数は4,912人と、前年同月比で15.8%、前月比でも18.3%と増加している。また、前年同月比においてフルタイムでは23.5%、パートタイムでは6.5%の増加となっている。	
		民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・直近の求人には、単発的な業務や催物対応など短期の需要が多い。その影響もあって募集しても応募者の集まりが悪く、常に人手不足であるのだと考える。	
		-	-	-	-

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
	x	-	-	-

8. 近畿（地域別調査機関：りそな総合研究所株式会社）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (近畿)		百貨店（売場主任）	単価の動き	・食料品の動きは、台風や長雨の影響を受けたものの、前年比で3.0%増と好調。特に、衣料品や化粧品などの雑貨が好調である。精肉や鮮魚などの単価の高い商品の動きも良くなっている。
		百貨店（マネージャー）	単価の動き	・今月は、週末が2度台風に見舞われたが、店舗全体の売上は前年比で9%増、訪日外国人売上を除いても2%増と好調である。直近の株高効果もあってか、特選衣料、宝飾品、時計などの高額品が好調に推移し、客単価を押し上げるとともに、幅広い商品で前年を上回っている。訪日外国人売上も前年から倍増となるなど、好調な動きが幅広い商品に及んでいる。
		タクシー運転手	来客数の動き	・タクシーの利用率が上がっている。
		一般小売店〔鮮魚〕（営業担当）	販売量の動き	・3か月前に比べると、売上が8%伸びている。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・売上の36%を占める外国人売上が、前年からほぼ倍増となった。今月は化粧品だけでなく、特選ブティックや時計などの高額の動きも好調で、大幅な売上増の要因となっている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・優良顧客のうち、更にトップクラスの顧客が、高級ブランド品や高額衣料品を今まで以上に購入し、売上全体を押し上げている。衆議院選挙の影響も良い方向に出ている。また、インバウンドの売上もうなぎ上りとなっている。
		百貨店（売場マネージャー）	販売量の動き	・月初から婦人、紳士の秋物商材が好調に動き、前年比で2けた近い伸びとなった。最終的には、週末の2度の台風襲来でほぼ前年並みに終わったが、国内需要についても、ここ数年はみられなかった力強さを感じている。
		百貨店（販促担当）	販売量の動き	・今月は気温の低下もあり、これまで不振であった衣料品についても、底堅く動いている。また、比較的好調に推移している雑貨、食品関連も引き続き順調である。大型の台風の直撃により、今月の売上は前年並みに押し下げられたものの、セールに頼らず、定価品に動きがみられる。
		百貨店（サービス担当）	お客様の様子	・今月もインバウンド効果に変化はなく、好調に推移している。また、食品催事を中心に、特選洋品やアクセサリー、化粧品も好調で、前年実績や売上目標などが確保できそうである。
		百貨店（販売推進担当）	来客数の動き	・インバウンドはもちろん、来客数が依然として増加傾向にある。
		百貨店（商品担当）	販売量の動き	・郊外の店舗は、台風を始めとする天候要因の影響を受けたが、都市部の店舗は依然として免税売上が順調で、売上全体を底上げしている。ただし、化粧品、子供服は好調であるが、免税売上シェアの低い婦人、紳士衣料は、前月から一変して低調となっている。その一方、婦人洋品雑貨は防寒アイテムが動き、食品は大型の物産催事が安定して集客できているなど、順調な動きとなっている。
		百貨店（外商担当）	販売量の動き	・インバウンド売上が前年比で70～80%増と好調に推移しているほか、宝飾品や100万円以上の時計の購入が増えるなど、富裕層の購買意欲が高まってきている。
		百貨店（マネージャー）	単価の動き	・10月の前半は中国の国慶節があり、訪日外国人客が大幅に増加。インバウンド売上が前年比で300%増と約4倍に増えるなど、大きな効果があった。ただし、中旬、下旬は週末の台風の接近が2度あり、来店客数が激減。10月の売上は前年比で減少となった。一方、台風と衆議院選挙の最中に開催した富裕層対象の大型催事が過去最高の売上となるなど、高額品を中心に消費意欲は上向いている。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・急に寒くなって、鍋物野菜がよく売れている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		家電量販店(企画担当)	販売量の動き	・オール電化関連商品の買換えが始まり、電気温水器からエコキュートに替える動きが増えてきた。また、今回の衆議院選挙での再生エネルギーに関する党首討論などで、太陽光発電システムへの関心が更に高まってきたと感じる。
		その他専門店[宝石](経営者)	お客様の様子	・今回の衆議院選挙で、与党が過半数を獲得して圧勝したため、株価も安定している。2万円を大幅に超える状態が続けば、これからも市場は落ち着き、景気は良くなる。
		高級レストラン(企画)	単価の動き	・11月の繁忙期を中心に、客室の販売単価が前年と比べて伸びている。
		観光型旅館(経営者)	販売量の動き	・少し良くなったと感じるものの、台風の被害によるマイナスの影響がみられる。
		都市型ホテル(スタッフ)	来客数の動き	・インバウンドは中国、韓国を中心に好調で、東南アジアからも増えてきている。規模は小さいものの、ベトナムが倍増となっている。一方、食堂は朝食が好調であるものの、ディナーはかなり悪い。それに対し、宴会は様々な業種から、新規の問い合わせが増えてきている。
		都市型ホテル(総務担当)	来客数の動き	・今月の客室稼働率は、最繁忙月である8月を上回っている。また、レストラン部門の売上も、前年を上回って推移している。
		旅行代理店(役員)	販売量の動き	・週末の台風直撃で、多くのキャンセルが発生した一方、海外旅行は不安要素が多いなかで、単価の高い商品が売れている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・神戸港の開港150年というイベントの効果がある。休日のみならず、平日も様々な地域から客が来て、タクシーを利用してきている。
		通信会社(経営者)	お客様の様子	・客の受注状況に大きな変化はみられない。
		通信会社(社員)	販売量の動き	・加入契約者が安定的に増加しているほか、解約数が減少してきている。
		住宅販売会社(総務担当)	販売量の動き	・現政権の維持に伴って株価が上昇している。受注量も前年を上回っており、年末の工事は許容量をオーバーしている。
		その他住宅[展示場](従業員)	来客数の動き	・10月の展示場への来場者数は、前年比で伸びている。
		その他住宅[住宅設備](営業担当)	それ以外	・先日、社用車を買換えられたが、車両のグレードが上がったため、会社の景気は良いと感じる。
		その他住宅[情報誌](編集者)	お客様の様子	・新築分譲マンションでは、都心などの高額物件の販売が堅調に推移している。特に、富裕層を中心として、投資目的の購入も含めた活発な動きがみられる。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・インバウンドなどの来街者は増加しているが、従来からの客が減少している。
		一般小売店[精肉](管理担当)	販売量の動き	・例年、10月の動きは悪くないが、今年は衆議院選挙の影響を受けた。また、天候も週末に雨が多く、大型の台風による交通機関などへの影響も大きかった。災害の大きさや範囲によっては、今後への影響も考えられる。さらに、気温が早めに低くなり、鍋物の需要が高まると思っていたが、動きが悪い。
		一般小売店[菓子](経営企画担当)	販売量の動き	・10月と7月の売上前年比を、各地区別に上位5店舗の平均でみると、関西は10月が96.2%で、7月が99.1%、関東は10月が92.1%で、7月が91.2%、中部は10月が74.6%で、7月が92.1%、中国は10月が59.4%で、7月が102.8%となり、各地区合計の平均は10月が84.0%で、7月が96.9%と、全国的に不調である。特に、中部、中国地区が悪い。週末の台風による影響や、中国地区は前年のプロ野球の優勝セールによる反動が出ている。
		一般小売店[衣服](経営者)	販売量の動き	・冬物衣料が少しずつ動き出している。季節的な変動であり、動くのは当然であるが、例年ほど大きな動きもなく、むしろ前年よりも販売量は少し落ちている。
		一般小売店[野菜](店長)	競争相手の様子	・問屋で話を聞いても、飲食関係が悪く、業況は芳しくない。どこも厳しいとの声が聞かれる。
		百貨店(売場主任)	販売量の動き	・雨や台風の影響で、お歳暮商戦は立ち遅れているが、外国人観光客の増加や株高に支えられ、化粧品や衣料品、高額品が好調に推移している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・今月も目標を達成する見込みである。依然としてインバウンドが好調であり、雨の日が多いものの、気温の低下で秋物商材の動きも良い。ただし、全ての商品の売上が好調ではなく、良い商品とそうでない商品の差が顕著である。客は、景気が良いから商品を購入するわけではなく、特殊な要因による売上の好調が続いている。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・株高の影響などで高額品の動きが良いほか、インバウンドによる購入で、化粧品や特選ブランド商品も大きく伸びている。ただし、天候不順で来客数が増えていない。メインのボリューム層の購買も伸び悩んでおり、富裕層、インバウンドの好調が相殺されている。
		百貨店（マネージャー）	お客様の様子	・全体的に消費は堅実であり、買物における節約志向は変わらない。特にファッションについては、家計支出に占める割合の低下が続いており、購入点数の減少が厳しい。神戸地区ではインバウンド需要も限定的であり、エリア間の格差が出てきている。
		百貨店（服飾品担当）	販売量の動き	・10月も都心店舗は大きく数字が伸びており、好調であった前月の水準を維持している。特に、化粧品は都心店舗で前年比2けた増、郊外店舗でも1けた増と勢いは止まらず、アンチエイジングの新商材などがけん引している。一方、厳しい状況にあった衣料品関連は、都心店舗が前年を超え、郊外店舗は横ばいと、前月に続き回復傾向にある。スカートの販売が前年を超えているほか、靴ではパンプスが久しぶりに売上を伸ばしている。少しきれいめの商材に動きが出てきているほか、重ね着のレイヤードスタイルの提案などが顧客ニーズをとらえている。
		百貨店（役員）	単価の動き	・大阪の都市部の百貨店は、インバウンド需要や富裕層の高額品需要が伸びている。また、衣料品についても、気温の低下に伴って秋物商材の動きが良く、大幅に売上が伸びている。ただし、中間所得層については、社会保険料や教育費の負担増で、可処分所得の伸びは大きくないため、日用品雑貨の購入はあるものの、総じて買い控えの傾向がみられる。一方、地方都市では、インバウンド需要の恩恵はほとんどなく、富裕層も少ない。また、高級輸入ブランドの取扱も限定的であり、集客も中間所得層が多いことから、売上が伸びていない。
		百貨店（営業企画）	単価の動き	・来客数は前年の水準を維持しているものの、売上が前年割れの状態である。
		百貨店（宣伝担当）	単価の動き	・株高の影響で、富裕層の購買が引き続き堅調。特選ブランド、宝飾品を中心とした高額品の売上が前年比で30%伸びている。残暑があまり厳しくなく、秋物も好調であり、急な冷え込みによって単価の高いコートなどの重衣料が動いている。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・特売品には反応があるが、ぜいたく品、高額品には反応が薄い。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・野菜は十数年で一番の相場安であるが、浮いたお金がほかの食品購入には回らず、全体の買上点数が上がらない。節約志向が顕著である。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・毎月同じ傾向であるが、買上数量が減っている。もう1品買ってほしいところである。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・客1人当たりの単価が下がっている。雨が多かったこともあるが、年末を前にした買い控えも考えられる。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数には大きな変化がなく、安定している。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・売上は今一つであるが、週末の台風などの天候不順や、野菜の相場安による影響が大きく、全体の消費が落ち込んでいるわけではない。
		スーパー（開発担当）	お客様の様子	・特売チラシを入れても、爆発的に売上が増えるわけではない。
		スーパー（社員）	お客様の様子	・今月は天候の安定しない日が多く、客も計画的に買物できない様子である。その結果、曜日や時間帯の売上状況がふだんとは大きく異なり、対応に苦慮する店舗が多い。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・雨がかったほか、台風の影響もあり、来客数は減少した。ただし、その一方でまとめ買いなどが増え、客単価が上昇したため、売上は横ばいとなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		コンビニ(店長)	販売量の動き	・販売量に変化はなく、来客数は減少、販売単価は上昇しているため、売上は横ばいである。恐らく値上げの影響や、電子たばこの販売増がプラス要因になっている。
		コンビニ(店員)	販売量の動き	・お弁当やサンドウィッチの売行きが好調であったため、わずかに売上は伸びているが、景気が上向いたわけではない。
		コンビニ(広告担当)	お客様の様子	・衆議院選挙は与党の圧勝で終わり、日本の株価も好調に推移するなど、疲弊感はあまりないように感じるものの、消費者にどこまで好影響が広がっているかは分かりにくいところであり、また財布のひもは固い。
		コンビニ(店員)	来客数の動き	・常連客ばかりで、旅行客などの来店も少なく、来客数は前月と変わらない。買い控えているのか、客単価も低い。
		衣料品専門店(販売担当)	お客様の様子	・年間を通じて、買い控えがますます続く。
		家電量販店(経営者)	お客様の様子	・将来不安からか、消費をせずに貯蓄する傾向が強く感じられる。無駄な消費を抑える傾向が強く、家電製品の買換えサイクルが伸びているため、販売量の増加が見込めない。
		乗用車販売店(販売担当)	販売量の動き	・客と商談をしていても、なかなか進まない。株価は上がっているが、実感できないという声が多い。
		その他専門店[医薬品](経営者)	それ以外	・9月に続いて雨の日が多く、客の出足が鈍い。また、買上点数が少なくなり、チラシを出した日に、まとめ買いをする客が多い。
		その他専門店[スポーツ用品](経理担当)	販売量の動き	・株価は上昇しているものの、景気が上向いているとは感じられない。
		その他専門店[宝飾品](販売担当)	お客様の様子	・購入を控えようとする意識が目立つわけではないが、購入に意欲的な消費者は少ない。販売側の接客や提案力にかかっているように感じる。
		高級レストラン(スタッフ)	来客数の動き	・例年に比べて週末の天候が不順で、客足が伸びない。
		一般レストラン(経理担当)	それ以外	・衆議院選挙の影響や、北朝鮮情勢に関する不確定要素、異常気象や大型台風による客足の低迷など、複合的な要因で伸び悩んでいる。
		一般レストラン(企画)	来客数の動き	・来客数の前年比は100%前後で推移している。一方、売上の前年比は客単価に支えられて100%を上回っており、堅調な営業が続いている。
		その他飲食[自動販売機(飲料)](管理担当)	お客様の様子	・経費削減に関する声が多い。新規の注文もあるが、取引先ごとの差が大きい。
		観光型ホテル(経営者)	来客数の動き	・自然災害などの影響が出てきている。
		観光型ホテル(経営者)	販売量の動き	・今月は台風21号の影響や、団体客のキャンセルが重なり、前年の販売量を下回った。また、直前の個人客の動きも今一つであり、キャンセルで発生した空室を埋められていない。
		都市型ホテル(支配人)	販売量の動き	・景気に大きな変動はみられない。衆議院選挙の結果が与党の大勝となり、様子見の状況にある。
		都市型ホテル(管理担当)	来客数の動き	・インバウンドの団体客は、引き続き好調に推移している。ただし、個人客については勢いがみられず、代理店経由の動きはオンラインを含めて低調に推移している。レストランについては、朝食付きの団体客が増えているので、微増となっている。
		都市型ホテル(管理担当)	単価の動き	・アジアからのインバウンドの宿泊は、大きく減少することなく推移しているが、国内の代理店経由の動きに回復の兆しがみられない。
		都市型ホテル(客室担当)	来客数の動き	・国慶節の期間も含め、訪日外国人は前年比で4.2%増となっている。そのお陰で、稼働率、売上共に前年を上回っている。
		旅行代理店(営業担当)	販売量の動き	・個人消費がなかなか浮上しないほか、台風の影響もあり、依然として厳しい状況が続いている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・天候不順であったが、客の増減はみられない。
		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・修学旅行や遠足の時期であり、客の消費は増えているが、天候不順もあって集客が伸び悩んでいる。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他レジャー施設 [ イベントホール ] (職員)	お客様の様子	・来場者の数は、以前と比べて変化が少ない一方、物販の販売量は若干減っている。
		その他レジャー施設 [ 飲食・物販系滞在型施設 ] (企画担当)	単価の動き	・10月は天候が悪過ぎて、消費動向が分かりにくい。消費単価をみる限り、特に改善や悪化は感じられない。
		美容室 (店員)	販売量の動き	・ヘアケア商品の購入が、夏物から秋冬物へ変化した様子はあるが、増えたという印象は薄い。
		美容室 (店員)	単価の動き	・来客数自体の動きは変わらないが、パーマやカラーなどの高額なメニューを勧めると、積極的に受け入れてくれる。
		その他サービス [ 学習塾 ] (スタッフ)	来客数の動き	・現在、生徒の増減が落ち着いている。
		その他サービス [ ビデオ・CD レンタル ] (エリア担当)	販売量の動き	・今月はゲーム販売や文具雑貨の品ぞろえが良く、売上はかなり好調で、レンタル売上の前年割れをカバーしている。
		住宅販売会社 (経営者)	来客数の動き	・7月頃から、顧客数の増加が継続している。
		その他住宅投資の動向を把握できる者 [ 不動産仲介 ] (経営者)	お客様の様子	・中小企業の売上が増えているとは、あまり聞かれない。
		商店街 (代表者)	来客数の動き	・天候不順により、来店頻度が減少している。
		一般小売店 [ 珈琲 ] (経営者)	販売量の動き	・商品を卸している飲食店からの注文数量が減少している。直営店の来客数も、雨などの天候不順で激減している。
		一般小売店 [ 時計 ] (経営者)	来客数の動き	・月の初めは客足も悪くなく、まずまずの出足であった。少し期待したが、中旬からは雨が多く、2度の週末の台風で商店街のイベントも延期となり、客足も随分減った。雨が降ると、路面店には致命傷となる。
		スーパー (店長)	来客数の動き	・近くに競合店ができたこともあり、来客数が減少。農産品の相場安もあり、商品単価が低下している。また、割引セールに買物が集中するなど、消費者の生活防衛意識は依然として高い。
		スーパー (企画担当)	販売量の動き	・今年は残暑が厳しくないほか、台風などの天候要因もあり、飲料関連は大きく前年を下回っている。逆に、鍋物関連商品は動きが早くなっているが、マイナス分をカバーするほどではない。野菜価格は高騰しているものの、一定以上は価格を上げられず、苦戦している。
		スーパー (企画)	来客数の動き	・客単価は堅調なものの、来客数が厳しい状況にある。これまでは衣料品、生活関連品の不振を食料品がカバーしてきたが、9月以降は食料品の動きも鈍くなりつつある。9月からの台風や不漁で、青果や鮮魚関係の価格が上がるとともに、足元の消費環境は厳しくなっている。
		コンビニ (経営者)	来客数の動き	・近隣で工事をしていた2つのホテルが完成し、工事関係者の来店がなくなっている。今はオープンまでの空白期間であるため、客が減少している。
		コンビニ (店員)	来客数の動き	・雨の日が多く、来客数が少ない。
		家電量販店 (店員)	販売量の動き	・前年と比べて来客数が減少し、販売量に関しても前年割れの状況にある。買い渋りが非常に目立つ。
		家電量販店 (人事担当)	来客数の動き	・夏が終わって気温が下がり、過ごしやすい季節となったため、買換え需要以外の客の動きが少ない。また、秋の長雨により、来客数も前年に比べて減っている。
		乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・客の姿勢が消費に向けられているとは感じられない。衆議院選挙も与党の圧勝で何も変わらず、株価は上昇しているが、実際に豊かになったという客はいない。
		乗用車販売店 (営業担当)	来客数の動き	・店舗に来店する客の数が減り、インターネットの中古車販売サイトへのアクセスも減少している。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		乗用車販売店 (営業企画)	単価の動き	・例年どおり、年末に向けて価格が低下している。
		住関連専門店 (店長)	単価の動き	・予算を前提とした商談が多い。例えば1万円しか予算がなく、どの商品なら買えるかと聞いてくる客が増えている。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・今月は週末の台風が2週間続いたため、来客数が減少した。近隣の商店街も人通りは少なく、周囲の店にも客は入っていない。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・外食業界では、特に9～10月は来客数の減少や伸び悩みをよく耳にした。また、近隣の会社での異動や引越して新規顧客が安定せず、変動が大きい。
		観光型旅館(団体役員)	来客数の動き	・10月に入り、台風が2度にわたって週末に接近したため、予約のキャンセルによる損失が大きい。
		旅行代理店(店長)	お客様の様子	・客が台風や衆議院選挙前後から減っている。いろいろな要因が重なり、旅行は今でなくてもよいと考えている。
		旅行代理店(支店長)	お客様の様子	・北朝鮮によるグアムへの攻撃予告を受けて、教育旅行を中心に、キャンセル料がかかっても渡航をキャンセルする動きが増えている。客の需要が戻らない。
		競輪場(職員)	単価の動き	・今月の客単価は9,015円で、3か月前の9,511円よりも下がっている。
		美容室(店長)	来客数の動き	・来客数が伸びず、前年を下回っている。
		住宅販売会社 (従業員)	競争相手の様子	・新築マンションの商談が遅れ始めており、デベロッパー各社が用地取得に対して慎重になっている。特に、郊外ではより顕著に表れている。
	×	スーパー(経営者)	来客数の動き	・週末に接近した2度の台風や、前年比で2倍の降雨量により、来客数が大きな影響を受けた。また、前年は野菜の相場が急騰した反動で、1品単価も前年比で6割程度に落ち込んでいる。不漁や台風の影響で、鮮魚の入荷も不安定となるなど、散々な売上となっている。
	×	衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・市長選挙、市議会議員補欠選挙、衆議院選挙の影響もあり、来客数が伸び悩んでいる。
	×	衣料品専門店 (経営者)	お客様の様子	・10月前半までは暑く、雨が降ってから急に寒くなったため、衣料品の売れ筋商品が変わり、売上が前年比で3割減少している。
	×	乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・自動車メーカーの不正検査問題の影響で、消費者の信頼がなくなっている。
企業 動向 関連 (近畿)		-	-	-
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・今月に入ってから、問い合わせが増えてきており、受注にもつながっている。
		広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・紙広告、Web広告共に、問い合わせが増えてきている。
		広告代理店(営業担当)	受注量や販売量の動き	・衆議院選挙関連の広告出稿があり、売上は結構良い。
		広告代理店(企画担当)	取引先の様子	・服飾商材の売上が好調に推移しており、施設全体の売上が伸びている。個人消費が良くなってきていると感じる。
		食料品製造業 (従業員)	受注量や販売量の動き	・台風などの影響で週末のたびに天候が崩れ、人の出足も鈍っているが、気温が下がってきていることもあり、商品の出荷は少し回復している。
		繊維工業(団体職員)	受注量や販売量の動き	・全体的には前年と変わらない。
		化学工業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・過去数か月は製品出荷が好調で、取引先からは、今後も生産は好調を維持できるとの連絡を受けている。ただし、化学品の原料価格上昇により、利益はあまり増加しない。
		プラスチック製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・既存の商品の勢いは止まってきたが、新規商品の販売が立ち上がってきている。
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・景気はやや良い状態で、大きな不安はない。
		一般機械器具製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・取引先の景況は悪くない。ただし、当社の取扱商品と市場の需要が今一つ合っていない。
		電気機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・製造設備への投資は前向きであるが、資金の使い方が非常にシビアである。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		電気機械器具製造業（経営者）	それ以外	・当社の周辺では、中堅規模の中小企業による工場の新設が目につく。これまで市内では、商店が閉鎖されるとそのまま放置されることが多かった。素直に景気は上向いていると考えたいが、政治があまりに不安定なので、まだ安心はできない。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・売上が伸びず、横ばい状態である。
		電気機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・ここ最近では仕事の予定が入っていない。
		電気機械器具製造業（宣伝担当）	受注量や販売量の動き	・テレビ市場は、有機ELテレビの販売増で単価アップの傾向にあるが、市場全体が伸びているわけではない。そのほかの商品では、あまり状況は変わっていない。
		輸送用機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・塗装関係の受注は安定しているものの、前年比での伸びはみられないほか、航空機関連もトーンダウンしている。また、中小企業の設備投資意欲は、相変わらず低調である。
		その他製造業〔事務用品〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注、売上共に変化がなく、例年どおりの動きとなっている。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・衆議院選挙の影響もあり、しばらくは景気が停滞しているように感じる。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・価格競争は相変わらず厳しい状況が続いている。今回の台風被害の応急対応で、監理技術者や技能労務者の不足がより深刻になっている。
		金融業（営業担当）	競争相手の様子	・得意先の取り合いが起きている。競合先が多く、当社の条件よりも安い金額を設定する動きが多い。頑張れば頑張るほど価格競争が進み、利益率は悪化傾向となる。
		金融業〔投資運用業〕（代表）	それ以外	・景気を左右する要素がみられない。衆議院選挙での与党勝利の影響は、これから徐々に出てくる。
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先との会話では、受注の増加や減少についての声はなく、横ばいであるとの回答が多い。
		不動産業（営業担当）	取引先の様子	・神戸からの企業の撤退が続いている。それに伴って事務所のニーズが減り、家賃が下がっているほか、社宅のニーズも減り、賃料も低下している。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・購読収入、折込収入共に、横ばいである。10月は衆議院選挙と市長選挙が重なったので、広告の選挙特需を期待したが、それほどでもない。
		経営コンサルタント	それ以外	・何かが良くなっているとか、悪くなっているといった実感が無い。
		経営コンサルタント	受注価格や販売価格の動き	・ここしばらく、各クライアントは企業の規模、業種を問わず、価格に厳しい。
		コピーサービス業（店長）	受注量や販売量の動き	・前年と比べても、受注量に変化はみられない。
		その他サービス業〔店舗開発〕（従業員）	受注量や販売量の動き	・今月は雨の日が非常に多く、特に週末の行楽には悪影響となったため、駅ナカ店舗は軒並み来客数が減り、売上ダウンとなった。一方、コンビニなどの売店では、傘やレインコートといった雨具の売上が、例年の約120%増となっている。
		その他非製造業〔機械器具卸〕（経営者）	取引先の様子	・受注や予算の見積状況のほか、それ以外の動きもあまり変わらない。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・今月に入って、急激な気温の低下や週末の天候の悪化もあり、景気が良くない。
		食料品製造業（経理担当）	それ以外	・衆議院選挙も物足りない感じで終わり、株の動きだけが目立っている。商品の動きは、9月に続いて良くない。
		繊維工業（総務担当）	取引先の様子	・消費者向けの催事では、集客の減少が目立つ。高額品の販売が減少し、中価格帯、低額品が現状維持のため、売上自体は伸びていない。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量、販売量共に、少しずつ右下がりになってきている。東京近郊の同業者からは良い声も聞かれるが、一部に限られる。会社全体でみても、受注量、販売量は前年比で約90%となっている。
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・業界での規制問題に端を発した設備投資の抑制は、依然として続いている。今期一杯は回復の見通しが立たない状況である。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		輸送業（営業担当）	取引先の様子	・土日の有料化で、配達件数がかなり減っている。
		輸送業（営業所長）	受注量や販売量の動き	・第2四半期が終わり、10月に入ってから、じゅう器関係の荷動きが鈍化している。
		通信業（管理担当）	受注価格や販売価格の動き	・長雨による野菜価格の高騰で、影響を受けている。
		その他サービス 〔自動車修理〕 （経営者）	受注量や販売量の動き	・忙しくならない。
		その他非製造業 〔商社〕（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・年々価格が下落しているが、それ以上に安い製品が中国などから入っている。価格が採算に全く合わない状況で、受注量は激減している。
	×	その他非製造業 〔電気業〕（営業担当）	受注量や販売量の動き	・株価は上がっているが、景気の実感が湧かない。
雇用 関連  (近畿)		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・派遣料金がアップしているほか、求人数も増加傾向にある。
		人材派遣会社（役員）	求職者数の動き	・今まで家庭にいた主婦や、高齢の男性の求職者が出てきたと同時に、企業側にも受け入れる素地が整いつつある。
		人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・紹介案件が多く動いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は前年比で増加傾向にある。建設関係や自動車、電機設備、家電などで、企業業績は好調となっている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・ハローワークで3か月に1回実施している企業ヒアリングによると、特に製造業で景況感が回復した。自動車や建機、産業用機械、インバウンド関連などで、特に好調との声が聞かれる。
		民間職業紹介機関（営業担当）	求人数の動き	・例年は減少するこの時期になっても、まだ新卒の求人が減りそうにない。その点では、3か月前よりもやや良くなっている。また、この状況はリーマンショックの前にも似ている。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・中堅、中小企業を中心に、求人数が堅調に伸びている。
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・人材派遣関係は、前月と同様に動きが鈍い。全業種から多くの注文が入ってくるが、人材不足のため、ほとんど成約できていない。IT関係では大型案件がいつ出てくるのか分からない状況で、特に関西は沈んだままである。ただし、衆議院選挙が与党の圧勝で終わったため、年末にかけて景気が良くなる期待感はある。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・有効求人倍率は高く、販売系の求人については、常に枯渇状態である。
		アウトソーシング企業（社員）	雇用形態の様子	・最低賃金は上がったものの、それ以外の雇用条件は変わらない。
		アウトソーシング企業（管理担当）	それ以外	・通常の仕事は入ってきたが、忙しいわけでもなく、いつもどおりの動きである。
		新聞社〔求人広告〕（管理担当）	求人数の動き	・前月と同様に、新聞求人では運輸、建設などの労働集約型企業の求人が増えているものの、全体的な増加や減少はみられない。求人倍率が1.5倍を超え、完全失業率が3%を割り込んでいるが、報道にみられるような人手不足感を感じられず、景気が上向いている兆候も感じられない。ただし、これは新聞広告に求人媒体としての力がないことを示している可能性もある。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・関西景気の回復に手ごたえが感じられない。衆議院選挙後の株価上昇により、一般消費者に回復の実感が出てきてほしい。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・大阪では、飲食、サービス業の人手不足が顕著である。アルバイトの時給は上がっているが、人手が足りず、昼は主婦層、夜は留学生や高齢者層と、幅広い層の就業者が働いている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・管内の求人は前月よりも減少し、前年とも変わらなくなってきた。全体としては高止まりであり、状況は大きく変わらない。
	民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・建設日雇い求人では、人手不足で少しでも人材を確保したい事業所の意向により、求人申込件数が前年比で26.9%増となっているが、景気を左右するような動きはみられない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		学校〔大学〕 (就職担当)	求人数の動き	・本学の卒業予定者を採用する企業は、各社とも小規模である。今年度はどの企業も採用意欲が高いようであるが、景気動向にはあまり変化が感じられない。
		-	-	-
	x	-	-	-

9. 中国（地域別調査機関：公益社団法人中国地方総合研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (中国)		-	-	-
		一般小売店〔眼鏡〕 (経営者)	お客様の様子	・目的の物以外にも買っていく客が増えている。
		百貨店(営業担当)	お客様の様子	・第3週末の台風の影響で売上を大きく落としているものの、気温の低下により婦人紳士衣料が数か月前と比較すると堅調に推移しており、前年からは明らかに客の購買意欲は向上している。
		家電量販店(店長)	単価の動き	・客単価が上昇している。
		乗用車販売店(統括)	販売量の動き	・10月の販売量は前年比110%と好調に推移している。
		乗用車販売店(店長)	来客数の動き	・天候には恵まれていないが、週末の来客数は前年並みであり、全体的には前年の95%で推移している。高額な新車の動きが悪く売上に苦戦している。
		自動車備品販売店(経営者)	販売量の動き	・最近の売上が前年を少々上回ってきており、先行きの希望が持てる状況になりつつある。
		一般レストラン(経営者)	販売量の動き	・地元プロ野球チームの優勝の影響で地元景気は上向していることに加え、衆議院選挙の結果からの影響も少なく、世の中が落ち着いている。
		一般レストラン(経営者)	お客様の様子	・最近では家族層の利用も増え、例年に比べて来客数も増加している。天候不順が続いているが、稲刈りも順調なためこの先も来客数の増加が見込まれる。
		観光型ホテル(営業担当)	来客数の動き	・秋の観光シーズン到来で来客数が増加している。
		タクシー運転手	単価の動き	・衆議院選挙の影響で客の動きは良くない。
		タクシー運転手	来客数の動き	・観光シーズンに入りイベントも開催され人の流れが良い。
		通信会社(総務担当)	販売量の動き	・スマートフォンサービスの契約数が増加傾向にある。
		設計事務所(経営者)	来客数の動き	・今年度の前半と比べて消費者からの耐震やリフォーム等の問い合わせが増えている。
		住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・分譲用地や戸建て注文住宅の契約受注が好調に推移している。
		住宅販売会社(営業担当)	お客様の様子	・秋に入り客からの問い合わせや来場者が増え、商談から契約に至る件数が増えつつある。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・客が必要以上に購入することが少なく、なるべく最小限の数量を好む傾向が続いている。
		商店街(理事)	販売量の動き	・慢性的な不景気で、客は必要なものしか購入しない傾向である。
		商店街(代表者)	来客数の動き	・春以降地元客の動きが鈍く、購買意欲が低下している。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・毎回選挙があるときは相対的に売上確保が難しく、今回の衆議院選挙の期間も客の消費意欲があまり感じられない。
	商店街(代表者)	お客様の様子	・商品を値下げしても客の買い控えが目につく。	
	一般小売店〔印章〕 (経営者)	お客様の様子	・大企業関連では新会社設立用の印鑑注文があるが、中小企業はそれほどない。	
	一般小売店〔紙類〕 (経営者)	来客数の動き	・地元の買い回り客の流れは悪くない。	
	一般小売店〔食品〕 (経営者)	来客数の動き	・売上が獲得できそうな日に天候不順が重なり、来客数の減少で売上の減少が顕著である。	
	百貨店(経理担当)	販売量の動き	・化粧品、婦人服飾は引き続き好調で、その他は前年を下回る部門が多い。催事が好調で前年を上回る月があっても維持することが難しい状況である。全体では今月も前年を下回る見込み。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・月初めから月半ばまで前年の数字をクリアして冬物商材も動いていたが、その後雨と台風の影響で客足が止まっている。プレミアムフライデーにイベントなどの企画はするが、売上はそれほど伸びない。
		百貨店（販売促進担当）	お客様の様子	・今月に入り婦人服と紳士服の数字が悪くなっている。寒暖の差や台風の影響などで、ジャケットやコートなどの動きが悪く、ニットやパンツなどの単品購入が増えており、客単価が低下している。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・前年同月には地元プロ野球チーム25年ぶりの優勝セールで買物疲れで、客は低単価なものしか購入しない雰囲気であったが、本年はそうした様子はなく、冷え込みも1週間早いことから冬物衣料が順調に動いている。
		百貨店（購買担当）	お客様の様子	・美術品や時計、宝飾などの高額商品の売上が好調であるとともに、急激な気温の低下でコートなど婦人服の動きも良いが、生活雑貨や食料品は前月よりも低調である。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子	・今月は衆議院選挙と自治体の市長選挙が2週続いていることに加えて台風の影響もあり、客の購買意欲が低下し来店機会が減って厳しい結果となった。もともと潜在的な商圏客数が多くない地域なので、良い客である主婦層が選挙の手伝いなどで来店することが難しい状況が影響している。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数と客単価に変化はない。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・客が必要なもののみ購入する傾向が続き、販売点数の伸びが見られない。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・毎週末の悪天候等で来客数が減り、売上が伸びていない。
		スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・買上点数は少し伸びているが、客1人当たりの来店頻度が落ちている。スーパーに行くとき余分なものまで買ってしまふからできるだけ行かないようにしているとの声も聞き、節約志向が定着し状況は厳しい。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・雨天の影響による来客数の前年割れと、野菜1品単価の前年比での大幅な下落により、既存店の売上が前年を下回っている。
		スーパー（管理担当）	来客数の動き	・依然として来客数の増加は見られず、客単価にも変動がないため変化はない。
		スーパー（販売担当）	お客様の様子	・衆議院選挙の期日前投票に行き、その足で店に寄る客が多く、売上が伸びている。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・前年同月に比べて売上が102%、来客数が96%である。客単価を上げるために品ぞろえを増やしているが、来客数が増えないと売上は伸びない。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・伸びていた来客数の伸びが鈍化してきている。
		コンビニ（支店長）	来客数の動き	・直近で非常に厳しい状況にあり、今後もそれが継続しそうだ。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・景気が良い実感が全く湧かず、周囲からもそうした話を聞かない。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・販売数と売上が前年をクリアできず、むしろ下げ止まる気配がない。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・10月半ばの大きなイベントで来客数は増加しているが、販売量増加につながらない。
		家電量販店（店長）	お客様の様子	・台風等の影響があったとはいえ、特に土日の来客数が1割は減少している。業界が縮小傾向にあるのも影響しているが、それにしても少ない状況である。
		家電量販店（販売担当）	来客数の動き	・季節的に好調となる要因がない。
		その他専門店〔和菓子〕（経営者）	販売量の動き	・特に大きな変化はない。
		その他専門店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・今月客単価が高くなっているが来客数は変わらず、景気が上向き見込みはない。
		その他小売〔ショッピングセンター〕（所長）	来客数の動き	・3か月前同様に有カブランド店退店跡は催事対応の状況で、アミューズメントで集客を図っているが陳腐化しており、計画どおりの集客につながらない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他小売 [ショッピング センター] (管 理担当)	お客様の様子	・施設への来客数は前年と比べて大きな差がない状態であるが、週末の天候不順が大きく影響している。高価格帯の商材への購買意欲は低いものの、低価格帯の買上は伸びている。
		高級レストラン (宴会サービス 担当)	来客数の動き	・地元プロ野球チームの優勝関連フェアで前年と同じくらいの売上になっている。
		スナック(経営 者)	来客数の動き	・株価が上昇しても当業界の景気は一向に良くならない。地方の中小企業の景気が回復しない限り現状のままである。
		都市型ホテル (スタッフ)	単価の動き	・忘年会など酒を飲むシーズンになるので来客数が増加する。
		都市型ホテル (総支配人)	販売量の動き	・先行予約は前年並みでスタートしたものの、衆議院選挙の影響もあり月内の伸びが弱含みである。また、台風の影響によるキャンセルが発生したことも影響している。
		都市型ホテル (企画担当)	販売量の動き	・足元の売上は宿泊、レストラン、婚礼が前年と比較して減少しているものの、一般宴会では前年同様の規模を維持している。
		旅行代理店(経 営者)	お客様の様子	・客の様子からは景気回復していないが、衆議院選挙も終わり株価も上昇していることから、回復の可能性はある。
		旅行代理店(営 業担当)	販売量の動き	・繁忙期ではあるが、前年度実績と比較しても大きな増減がない。
		通信会社(企画 担当)	お客様の様子	・客の関心度の高まりや購買の動きで、格安スマートフォンや光卸が底堅く推移している。
		通信会社(総務 担当)	それ以外	・通信業界では特段大きな変動要素が見当たらない。
		テーマパーク (管理担当)	来客数の動き	・前年同月比で入館者数や商品販売高などが微減で推移している。
		ゴルフ場(営業 担当)	お客様の様子	・予約状況は良いが、天候に左右され来場者数が減少している。
		美容室(経営 者)	販売量の動き	・客の財布のひもは固く、商品の売上が良くない。
		設計事務所(経 営者)	お客様の様子	・客は消費税の税率引上げを意識しながら少し足踏み状態であるが、購入の意識は上昇してきている。
		設計事務所(経 営者)	お客様の様子	・長年取引してきた酒屋が10月末で廃業するとの挨拶があり、歴史があっても地方で成り立つ商売がなくなってきた。
		一般小売店 [茶](経営 者)	販売量の動き	・前月は前年比でほぼ100%の売上であるが、国内販売は低下し海外輸出が増加している構図である。
		百貨店(売場担 当)	販売量の動き	・100万円以下の美術品は売れるが、それ以上の美術品や宝飾品は売れない。
		百貨店(人事担 当)	来客数の動き	・台風など悪天候が続いたことも客足を遠ざけた要因の1つである一方、客が必要なものだけを買いに來る傾向がより顕著になっている。
		スーパー(店 長)	来客数の動き	・前月まで前年の96%であった来客数が今月は95%に落ち込み、販売点数も98%で推移している。
		スーパー(販売 担当)	来客数の動き	・平日の来客数にはここ数か月間ほとんど変動がないものの、今月に限れば週末に台風や雨の影響を受けることが多く、全体の集客を大幅に下げる結果になっている。
		コンビニ(エリ ア担当)	競争相手の様子	・競合店ができて客が分散している。
		コンビニ(副地 域ブロック長)	来客数の動き	・台風などによる天候不順が続き、朝夕及び週末の郊外からの来客数が減少している。また、地元プロ野球チームの日本シリーズ進出がなくなり、前年より試合数が減少したため、市内の店舗では来客数の前年割れが起こっている。
		家電量販店(企 画担当)	来客数の動き	・来客数と売上が前年の90%を下回っている。
		乗用車販売店 (総務担当)	販売量の動き	・新車受注台数が低迷したまま回復していない。他県の系列ディーラーも軒並み前年割れを起こしており、市場の冷え込みが厳しい。
		乗用車販売店 (営業担当)	お客様の様子	・来客数が減少し成約率が低下している。
		乗用車販売店 (営業担当)	販売量の動き	・買換えの話に客は乗り気にならず、新規客も増えない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		住関連専門店 (営業担当)	来客数の動き	・月曜日から土曜日まで客足はほとんどなく、売上も良くない。
		その他専門店 [布地](経営者)	お客様の様子	・衆議院選挙と台風の影響で客は買物をする気持ちにならず、来客数が減少し客単価も低い。
		その他専門店 [土産物](店長)	来客数の動き	・10月は週末に重ねて大型台風が来たこともあって、月の半分以上が雨となり、天候に影響を受けやすい立地であることも影響し、来客数が一気に減少している。さらに、衆議院選挙も悪条件として影響している。例年ならば観光客やデイサービス関係者が多く来店するため繁忙期に当たるが、今年は前年比85%程度で推移している。
		一般レストラン (店長)	来客数の動き	・当月の売上が大きく低下しているわけでないが、台風、衆議院選挙、地元プロ野球チームの勝敗など客足に影響する要因が多く、若干の低下傾向にある。地元プロ野球チームに関しては、試合後に立ち寄る客もあり良い影響もあるが、試合中はほとんど来店が止まる傾向にある。また、台風に関しては、予約キャンセルの理由とした客も数組ある。
		一般レストラン (外食事業担当)	お客様の様子	・客単価は前年の106～107%で推移している。来客数は前年の100%をクリアしているが、飲み会が減少しているため週末と休前日の来客数が前年数値を割り込んでいる。
		都市型ホテル (企画担当)	来客数の動き	・秋の行楽シーズンとなりスポーツ文化イベントなどが多い時期であるが、台風や衆議院選挙の影響でレストランの客足が鈍いことに加え、婚礼などの問い合わせも減っており、宴会場の稼働にも影響している。株価上昇の恩恵は今のところ見られない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・天候不順や衆議院選挙の影響で夜の動きはかなり悪く、タクシーの利用頻度が低い。
		通信会社(広報担当)	お客様の様子	・客は安価なものを求めているが、当社の他の営業地域と比較してもこの状況は顕著であり、客は料金が安ければ特にスペックが落ちてても良いとする状況である。
		通信会社(販売企画担当)	販売量の動き	・来店誘因が難しくなっている。
		通信会社(工事担当)	お客様の様子	・客から聞くところでは、あまり設備投資ができない状況である。
		テーマパーク (業務担当)	来客数の動き	・台風の影響で週末の天候不順で来客数が減っている。
		テーマパーク (営業担当)	来客数の動き	・2回の台風を含めて週末に天候が悪かったため、前年より入園者数が減少している。
		競艇場(職員)	販売量の動き	・3か月前の7月初旬に売上が良かったレースがあったので、その月と比較すれば良くないが、通常並みの販売量である。
		美容室(経営者)	来客数の動き	・人がこちらに流れてこない状況で、来客数が減少して売上が悪い。
	×	商店街(代表者)	単価の動き	・秋物需要が高まる時期であるが、客の購買意欲は低いままである。
	×	その他飲食 [サービスエリア内レストラン](店長)	来客数の動き	・サービスエリア沿いの交通量が減少し、冬季閑散期に入るため景気が悪くなっている。
	×	設計事務所(経営者)	来客数の動き	・戸建て住宅の引き合いは減少していたが、リフォームや事業物件の引き合いも止まっている。
企業 動向 関連  (中国)		輸送用機械器具 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・製造を行っている自動車部品の出荷先である地元大手自動車メーカーが、現在繁忙状況となっている。
		化学工業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・中国の自動車向けアルミニウム生産の増加等により苛性ソーダの需要が増加しており、国内メーカー各社も輸出が好調で品不足感もあったため、製品の値上げを打ち出していたが、国内需要も旺盛なため主要取引先も値上げに応じてくれており、ほぼ決着してきている。
		化学工業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・第2四半期決算では販売量が伸びている製品が多く、売上の増加により営業収益も向上している。
		窯業・土石製品 製造業(総務経理担当)	受注量や販売量の動き	・大型案件の生産も本格化していることに加えて、通常生産も鉄鋼業向けが好調なため、時間外勤務だけでは対応できず、交代勤務での対応をしている。



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		鉄鋼業（総務担当）	取引先の様子	・10月に入り建設分野以外で活動水準が向上しており、薄板のコイルセンターは忙しくなっている。また、鋼材市況も上昇傾向にある。
		電気機械器具製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前年に比べ引き続き引き合いや受注が好調である。
		輸送用機械器具製造業（経営企画担当）	受注量や販売量の動き	・主要客の新製品販売が好調で、客の完成品生産拠点は1工場生産から2工場生産体制となっている。
		建設業（総務担当）	取引先の様子	・受注の引き合いが増えてきている。
		輸送業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・鋼材関連の荷動きが堅調になってきている。倉庫案件も堅調で全体的に上向いている。
		金融業（融資企画担当）	取引先の様子	・系列完成車メーカーの新型SUVの販売好調により、地元部品メーカーの受注生産は月2回程度の土曜操業が常態化するほど高水準を維持している。
		金融業（貸付担当）	受注量や販売量の動き	・乗用車の新車販売台数やドラッグストアの販売額が増加している。
		広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・客から販売促進拡大で広告受注量が増加している状況であり、販売量も上向きに推移している。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・素材商品の受注量が減少し、関連性のある商品に移行している。販売量は減少しているが、販売額は微増である。
		食料品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・値上げの影響が懸念材料であるが、定番商品のリニューアルの成果が少しずつ始めている。
		木材木製品製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・現時点では受注量や販売量に大きな変化はなく、市況も安定している。
		鉄鋼業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・電子機器向け、産業機器向け、工具鋼向け合金材料共に受注は高位で安定している。
		非鉄金属製造業（業務担当）	受注量や販売量の動き	・電子部品関係の受注が旺盛になっている。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前月からの状況に変化はなく、技術職の稼働率や予定物件の受注が順調に推移している。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・地元プロ野球チームの優勝の余波での発送数の増加が続いているが、衆議院選挙の影響で企業の出し控えも見受けられる。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・客からの受注量に変化はない。
		通信業（営業企画担当）	取引先の様子	・取引先で来期の予算取りの計画を行っているが、情報通信に関しての大幅な見直しや設備投資の案件が、前年度と比較して減少している。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・通信市場では新たなトレンド的商材もなく、受注額、受注量ともいつもどおりに推移しており、特別な需要もないため景気の良さや上向き感はあまりない。
		会計事務所（職員）	取引先の様子	・今月は衆議院選挙があり、建設業関連は公共事業の発注が一休みの状態であるため、売上高は例年に比べてやや低い水準に留まっている。その反面で、小売サービス業は前月と比べても落ち込みは少なく同程度の水準を保っている。
		金属製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・工作機械業界の得意先の受注量は増えているが、小型機の増加が主要因であるため、当社への発注となる大型機械は前年と同水準であり横ばい状態である。
	輸送用機械器具製造業（財務担当）	受注価格や販売価格の動き	・来年度以降本格化する物量の減少は既に始まっており、原材料費もここ数年で最高水準となり、足元の損益は悪化し始めている。	
	その他製造業〔スポーツ用品〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・国内販売商品は販売状況があまり思わしくないが、生産拠点の移動が頻繁であるため見通しがつきにくい。	
	不動産業（総務担当）	それ以外	・来客数や成約件数がやや悪くなっている。	
	x	-	-	-
雇用 関連  (中国)		人材派遣会社（支社長）	雇用形態の様子	・パートタイム求人の増加により、今まで紹介できなかった求職者に対して仕事を紹介できマッチングが進んでいる。
		人材派遣会社（支店長）	雇用形態の様子	・地方でも職業紹介による年収ベースが少し上昇してきている。良い人材を採用しようとするれば良い給与を用意する企業の意識の高まりが見受けられる。また、同様に人材派遣の時給も上昇してきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・求人が増加するとともにインターンシップを実施する企業も増加している。
		民間職業紹介機関（職員）	求職者数の動き	・この3か月間転職希望者数が右肩下がり減少してきている。景気が芳しくない時期には右肩上がりになることからすると、景気の良さが見受けられる。
		人材派遣会社（経営企画担当）	求職者数の動き	・企業の採用意欲は高く求職者不足は継続している。
		求人情報誌製作会社（広告担当）	求人数の動き	・新卒採用は9月末を目途にほぼ終了し、来年度卒採用の準備に入る企業が多数見受けられる。企業は人手不足感もあり採用意欲は例年より更に高めだが、学生を獲得するため業界研究会への参加やインターンシップの受け入れなど、採用手法を工夫し活動に当たっている。求人数を大きく増やすというより、求人数を増やした前年からさほど変わらず、手法を駆使して採用活動を積極的に行う企業が増えている。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・有効求人倍率はやや低下したものの、高水準であることに変わりない。人手不足も建設業などでは一服感もあるが、医療、福祉、介護関係のメーカーや機械製造業ではまだまだ解消には程遠い状況にある。ただ個人消費は堅調に推移し、企業側も省力化や効率化が進んでいる。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人は受注が好調な食料品製造など製造業の需要が高いことに加え、飲食店で新規オープンに伴うスタッフ募集が複数店舗あるなど大口求人もあったことから、求人全体では前年同月比で1割増となっている。
		職業安定所（産業雇用情報担当）	求職者数の動き	・3か月前と比較して新規求職者数が13%増加しているが、9月は求職者が増える傾向なので例年どおりの動きである。
		職業安定所（雇用開発担当）	求人数の動き	・当所の有効求人数は前年に特定の事業所からの大量求人があった特殊要因から、前年比で2か月連続のマイナスとなっている。ただ、その要因を除けば増加となるため、総じて景気は変わらない。
		民間職業紹介機関（人材紹介担当）	求人数の動き	・求人は増えているが求職者の動きが鈍い。
		学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・求人はあるが新規求人ではなく求職者不足によるものである。
		学校〔大学〕（就職支援担当）	求人数の動き	・企業からの求人数には特に大きな変動がない。
		-	-	-
	x	-	-	-

#### 10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (四国)		-	-	-
		一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・大口の外商売上があったため、前年同月比でプラスとなった。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・台風の影響を除くと前年並みの売上高である。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・台風の影響もあったが、衣替えの時期であり、良かったと思う。
		乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・新型車が少ない状況ではあるものの、前年を上回る台数は確保できている。
		観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・地元の国体で人の動きが多かったが、売上としては例年より下落する。
		タクシー運転手	来客数の動き	・秋はお遍路さんが増えるので、仕事量が増えたように思う。街中も動いており、距離は短いながらも乗車回数が多くなっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・大型台風の影響で客数の減少はあったが、国内外からの観光客を中心に、そこそこ推移している。
		商店街（事務局長）	来客数の動き	・平日、週末とも多くの人でにぎわっているが、悪天候などの影響により購買は余り振るわなかった。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		商店街（代表者）	それ以外	・地方経済が好転する要素は当面見当たらない。実店舗からネット販売に主役が切り替わっているにもかかわらず、過剰店舗状態が解消する気配もない。
		一般小売店〔文具店〕（経営者）	来客数の動き	・競合店舗が新規オープンし、客数に変化が見られるが、一過性と思われる。
		一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・高齢者は身体を気遣ってアルコール離れであり、若者は酒類に興味なしの状態なので酒類業界は厳しい。新商品を勧めても、売上につながらない。
		百貨店（販売促進）	単価の動き	・売上、単価、客数に関して大きな変化が見られない。
		スーパー（財務担当）	来客数の動き	・買上点数と単価は前年比を上回ったが、客数の減少が続いている。
		コンビニ（店長）	単価の動き	・やや客単価が上昇している。
		コンビニ（商品担当）	来客数の動き	・地元国体の影響で人は増えていたが、販売量にはつながらなかった。
		コンビニ（総務）	来客数の動き	・天候や気温に左右されるが、3か月前と比較しても変化はない。
		衣料品専門店（経営者）	販売量の動き	・あまり景気が良くなっているとは思えない。客数、単価、購買力、どれをみてもあまり上向いているとは思えないが、今後に期待したい。
		衣料品専門店（総務担当）	来客数の動き	・台風の影響が大きく、客数が減少している。
		旅行代理店（営業部長）	お客様の様子	・衆議院選挙や天候の不順もあり、客の動きが停滞したが、今後に期待する。
		タクシー運転手	お客様の様子	・大型台風の影響もあり、人の出が少ない。
		通信会社（営業部長）	販売量の動き	・販売量が3か月前と変わらない。
		通信会社（支店長）	販売量の動き	・販売量に大きな変化は見られない。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・新規の客が少ないため。
		設計事務所（所長）	単価の動き	・建設費がそれほど変わっていない。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・天候等の影響と衆議院選挙があり、販売量が前年同月に比べ落ち込んだ。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・大型台風の影響で客数が減少したため、売上が減少している。地元の国体も消費にはあまり影響がなかった。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・大型台風の影響による客数の減少及び青果物の不作の影響で売上が減少している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・地元の国体の経済効果を期待していたが、連日の雨に悩まされ、売上が伸び悩んだ。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・9～10月の新車受注状況が前年比8割程度で推移している。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・当月の受注台数が前月から減少傾向にあり不安なため。
		通信会社（技術）	販売量の動き	・弊社サービスの販売数量が減少しているため。
		競輪競馬（マネージャー）	お客様の様子	・地域行事等の客足鈍化から、売上減少を余儀なくされている。
	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・台風と衆議院選挙の影響で今月はいつにもなく客数が悪い。
企業動向関連		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・計画より受注が増加しており、年末に向かって良くなっていくと思われる。
(四国)		化学工業（所長）	受注量や販売量の動き	・気温の低い日が多くなり、冬用製品の動きが良くなっている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主に再生可能エネルギー関連設備の製造業を営んでいるが、再生可能エネルギーは客の感心が高く、受注が決まっていく状況にある。受注量が増え、大規模な案件が決まっていくので、景気は上向いていると感じる。
		輸送業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年どおりこの時期の受注量は好調である。
		金融業（副支店長）	取引先の様子	・取引先中小企業の財務状況や資金繰り状況を見ると、直近3か月の売上や受注の動向は業種別に偏りはあるものの、おおむね安定推移している印象。設備投資案件も多くはないが、徐々に出てきている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		農林水産業（職員）	取引先の様子	・大型の野菜を中心に安定した入荷が続き、基調価格は前年を下回る状況が続いている。台風で被災した品目では価格の浮上が見られるものの、全体としては停滞感が続いている。量販店では秋商材が増えてきているが、野菜を多く使用する冬商材への切替えはまだであり、野菜全体の消費は力強さに欠けている。
		木材木製品製造業（資材購買）	受注価格や販売価格の動き	・一部の取引先からの受注が増えてきた。
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注、販売量共に低水準で推移している。
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・様々な案件に挑戦するも、なかなか受注に結び付かない。
		通信業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・テレビ広告の出稿量において首都圏並びに主要地区と地方との間に明確な差が出てきている。
		公認会計士	取引先の様子	・各関与先の決算書や試算表で前年比を見ると、同等か、やや回復傾向にある。
		建設業（経営者）	競争相手の様子	・公共事業の発注量が地域によって差があり、競争相手と比べても良い悪いが斑模様である。また、人手不足も障害となっている。
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・秋の行楽シーズンは一般消費が伸び、商業貨物の取扱物量も増加するが、今年は秋雨前線の活発化や大型台風接近の影響で全国的に晴天に恵まれる事が少なかった事や、衆議院選挙の影響から消費が鈍化し、取扱物量が著しく減少した。
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・夏場の飲料需要が一服した。
	x	-	-	-
雇用関連		-	-	-
(四国)		人材派遣会社（営業担当）	雇用形態の様子	・募集形態を派遣から紹介予定派遣に切り替える企業が増えてきている。
		職業安定所（職員）	それ以外	・9月の有効求人倍率は1.46倍だが、3か月前と比べて0.10ポイント上昇している。
		人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・地場企業の慢性的な人手不足により、売上戦略の拡大には至らず、現場で従事する人材の負担はますます増えるばかりで、心身共に環境の悪化が進む企業の様子がつかえる。
		求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・製造業は多忙な様子であるが、取引先からの価格交渉が厳しくなったり、人材不足による社員の残業代増加により、人件費がかさみ稼働状況の割に景気は横ばい。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・企業の求人倍率は伸びているものの、地元の好感感を感じたことはない。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・中小企業の収益が改善されたとの話は出てこない。
		民間職業紹介機関（所長）	求職者数の動き	・求職者の要望や希望と、企業の求人ニーズと相違するケースが多い。
		-	-	-
	x	人材派遣会社（営業担当）	求職者数の動き	・派遣に登録する求職者数が減少している一方で、専門技術を求められる仕事が多いため人が見つからず、派遣業界の景気が悪くなっている。

#### 11. 九州（地域別調査機関：公益財団法人九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連		-	-	-
(九州)		商店街（代表者）	販売量の動き	・季節の移り変わりで、客の購入品目が増加している。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・夏の厳しい暑さから過ごしやすい気候に変わり、外出の機会も増え消費も上向き傾向である。高額商品の動きは鈍いが、購入点数は増えている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・気温は高めで、中旬まで来客数が好調であった。中旬以降は週末に2度の台風襲来で来客数が減少した。
		百貨店（マネージャー）	販売量の動き	・気温が高かった前年よりも、気温が下がり秋の訪れを感じる今年の方が、衣料品の動きが良かった。4月以降外国人観光客が戻り、好調だった一昨年の実績までに戻した。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		百貨店（店舗事業計画部）	販売量の動き	・中国や韓国の大型連休を受けて、外国人観光客による売上は前年比で大きく伸びた。主力の化粧品に加えて婦人服や子供服等、以前よりも購買商品に広がりが見られた。
		スーパー（経営者）	お客様の様子	・安定政権により、客の購買への不安感がない。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・食料品の売上は若干落ちているが、生鮮食品の売上が少しずつ伸びている。
		家電量販店（広報・IR担当）	販売量の動き	・冷蔵庫、洗濯機、テレビ等大型家電製品の動きが良い。冷蔵庫の平均単価は前年比でやや下がっている。洗濯機、テレビは上がっているが、一服感はある。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（統括者）	来客数の動き	・外国人観光客の伸びが順調で、来客数に比例して売上も上向きである。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・隣にある劇場の演目により稼働に影響が出るが多いが、今月は顕著に表れた。しかし自社だけでなく、市内全体で高稼働、高単価だったことから、今月は特に景気が良かった。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・外国人観光客の入込が好調である。
		旅行代理店（従業員）	単価の動き	・近場の韓国方面がまだ低迷している反面、東南アジア、ハワイ等の比較的単価の高い方面の予約が増えてきた。国内も関西、関東の大型レジャー施設が順調に推移している。
		タクシー運転手	来客数の動き	・以前に比べて外国人観光客が増加しており、景気にかなりの影響を与えている。
		タクシー運転手	来客数の動き	・今月は例年に比べて雨の日が多くタクシー利用客が増えた。通常、選挙中は夜の繁華街の出入が少なくなるが、今回は相変わらず観光客や催事が多く夜の街への影響は少なかった。
		通信会社（営業）	販売量の動き	・冬に向けて購買意欲が上がってきている。それに併せた販売促進活動も実施しており、その効果が表れるまでには時間を要するが、前年比で見ても上昇傾向である。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・台風が2度も来るなど天候の不順により、客の多い日と少ない日のバランスが非常に悪かった。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・7月から一向に変わらない。製造業は忙しく売上はあるが、それに利益が伴わない。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・欲しいものがあってもまだあるので購入しない、収入が増えないから購入できないといった状況である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・10月は台風が毎週末接近し、また総選挙があったため、商店街は閑散として人の動きがあまりなかった。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	お客様の様子	・皆に話を聞くと、売れないの一点張りであり、実際の売行きが悪い。スーパーマーケットも悪いのかも売れないが、小売店は本当に悪い。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	販売量の動き	・インターネットを見て電話での問い合わせがあり、売上がやや伸びた。
		一般小売店〔茶〕（販売・事務）	来客数の動き	・来客数が減少している。季節的に活動しやすい時期ではあるが店の前を歩いている人の数は少ない。茶葉の仕入れ値も上がりますます売上は減少していく。
		百貨店（業務担当）	お客様の様子	・台風や選挙の影響もあり、来客数に影響は出たが、当面必要のないものは買わない、衣替えの時期だが洋服は沢山あるので買わない、消費税が上がる前にどうせ買うので今は買わない、という声が多い。
		百貨店（営業統括）	来客数の動き	・10月の来客数の減少は天候不順が大きな原因だが、傾向変動としての来客数も前年を下回っている。また、株価の上昇を受けても富裕層の購買意欲の高まりはない。
		百貨店（売場担当）	競争相手の様子	・地元野球球団の優勝セールを行ったものの、3か月前と比べてやや悪い。外国人観光客は大きく伸びている。
		スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数が減り、客単価は増えているが売上は厳しい状況が続いている。特に野菜の相場が高く売上がかなり厳しい。精肉も相場高で厳しい状況が続いている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	来客数の動き	・前年は熊本地震の影響で競合店が2店舗閉店していたが、今年は2店舗共に開店して、来客数が前年比で84%で推移している。全体的に売上は前年比90%前後で推移している。青果の相場が安く、魚は風評被害で前年比79%と苦戦している。全体的には熊本地震以降、競合各店舗が出そろっており前年より厳しい。
		スーパー（総務担当）	お客様の様子	・大手スーパーマーケットの積極的な店舗改装やディスカウントストアの出店等により来客数が前年比で減少している。客単価や購入点数は前年比増だが、価格選好型の買い回りをする客が多く、なかなか売上増につながらない。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き	・気温がなかなか下がらず季節商材の動きが悪い。
		スーパー（統括者）	単価の動き	・ニュース等では景気が上向いていると言っているが、客は商品価格にシビアで不要な物は購入しようとしにくい。
		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・今月は動きがわずかであった。来客数は前年並みであるが若干下回っている。客単価は前年をやや上回っている。全体的には来客数の落ち込みより客単価の上昇の方が大きく、売上はわずかに前年を上回っている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・競合店が閉鎖した。
		コンビニ（エリア担当・店長）	来客数の動き	・おでんやホットスナックの割引のお陰で来客数は増えていないが購入点数が若干増えた。今後加熱する温かい商品の時期になるので、気温が下がれば売上も増える。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・客の様子を見ても景気が良くなっているのかどうか判断しにくい。
		衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・相変わらずの天候不順と、7月に当地域を襲った水害の影響のせいなのか、来客がほとんどない。
		衣料品専門店（店員）	お客様の様子	・相変わらず、必要な物だけを買っていく単品買いの客が多い。
		衣料品専門店（総務担当）	販売量の動き	・来客数に変化はないが、購買客数が減ったため販売量が減っている。また、1人当たりの購入点数も減少しており、改善の兆しはない。
		衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・今月は総選挙があったり、台風で雨の日が非常に多かった。当業界は天候に左右されるがなんとか数字を確保できたのは景気が良くなったからではなく催事など企業努力によるものである。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・今月も景気は悪い。3か月前も良くなかったのでここしばらくは大型商品、高額商品が売れておらず、販売数も良くない。地区的要素もあるがここ何か月かは非常に良くない。
		乗用車販売店（総務担当）	販売量の動き	・今年になって新型車販売が好調に推移している。複数の新型車が投入され、客の購買意欲が高まり、新型車効果による販売台数の増加が続いている。
		住関連専門店（経営者）	単価の動き	・都市部での販売促進活動は順調であり、地方でも来場者数は多かったが、売上にはなかなか結び付かなかった。店舗での売上も前年同月比であまり良くない。同業者の話も同様である。
		その他専門店 [コーヒー豆] (経営者)	来客数の動き	・前年比で来客数は変わらない。売上もほぼ横ばいである。
		その他専門店 [ガソリンスタンド] (統括)	販売量の動き	・10月の燃料油の小売価格は上げ基調である。10月の3連休は、当地にて地方祭が催され、県外からの多くの観光客でにぎわった。また、中旬は台風と総選挙の影響で、全般的に販売は芳しくなかった。前年同月比で販売量は変わらない。
		高級レストラン (支配人)	お客様の様子	・数か月間、昼夜とも来客数が横ばいである。
		一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・選挙や台風の影響は多少あったものの、特に来客数が減った感じもなかった。ただ、予約状況は決して芳しくない。
		都市型ホテル (販売担当)	お客様の様子	・繁忙期を迎え、売上・客数共に増えているが、大幅な売上増が見込めない。
		都市型ホテル (副支配人)	来客数の動き	・当市内でのM I C E関係、コンサート、スポーツ等の大会がたくさんあり、団体も個人も予約が強い。
		タクシー運転手	お客様の様子	・週末の度に雨が多く、県外からの客のキャンセルが多くなり、タクシー利用は伸びなかった。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		タクシー運転手	来客数の動き	・当県では10月に大きな祭りがあるが、今年は曜日が多く人出が非常に多かった。それ以降は台風が2度もきたため客足が遠のき売上が落ち込んだ。全体としては横ばいである。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・この時期は催事が多く、落ち着きのない雰囲気になるが、今年に関してはそれが景気につながっている様子がない。
		通信会社（企画担当）	販売量の動き	・販売件数は横ばいである。市場に停滞感がある。
		観光名所（従業員）	来客数の動き	・夏期休暇中は個人客が多かったが、今月は何台もの大型バスが客を乗せて観光しているのを目にする。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・年末に向けて売上が増えることを期待したが、周りを見ても売上が改善する要素がなく伸びていない。天候要因もあるが、当業界は年末に向かって伸びる時期であるが活気がない。
		美容室（店長）	お客様の様子	・テレビでは景気が良くなったと言っているが、実際の回りの回りは景気が良くなったとは聞かない。売上も変わらない。
		その他サービスの動向を把握できる者〔介護サービス〕（管理担当）	単価の動き	・医療機関の介護事業への進出や、来年度から本格的に開始される総合事業の影響により、同業他社が重度介護利用者確保に動き、価格の下落につながっている。
		設計事務所（所長）	単価の動き	・標準の人件費や各種材料の単価は上がってきているが、それに見合う対価が支払われていない。
		設計事務所（代表）	お客様の様子	・客の様子が特に変わらない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月は来客数も良く成約に至ったものもあった。景気が少し良くなっている。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・競合他社も多く、慎重な客が多い。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き	・天候不順もあり、衣料品の不振は深刻である。来客数は前年実績を超過しているものの購入率、客単価の減少が続いており回復しない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・前半は総選挙の影響もあり低調で台風の影響もあったが、後半は季節商材がやや好調に推移している。売上をけん引しているのは外国人観光客である。戦略的には当てにしていけないが、前年の倍以上の売上である。高額商品の動きが非常に好調である。
		百貨店（営業担当）	販売量の動き	・気温低下とともに衣料品の販売量は増えているものの、台風の影響等、天候不順や流行の変化がなく伸び悩んでいる。
		百貨店（売場担当）	販売量の動き	・台風が週末ごとに接近し、その前後も雨の期間が長く、9月の九州北部豪雨から間もないため、売上や来客数に影響が出た。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・1品単価が下がっている。前月は151円だったが今月に入って143円と8円下がっている。購入点数も5点から3点へ下がっている。売上も前年比94%と大幅に下回っており、厳しい状況が続いている。毎週末の天候不順も要因だが客の財布のひもも固い。
		家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・端境期に加えて、台風の影響が週末に当たったため、少なからず影響を受けた。
		ドラッグストア（部長）	販売量の動き	・台風の影響により売上が落ち、台風通過後も反動による売上増が期待したほどなかった。当社の営業努力の問題もあるが、景気的な要素もある。
		その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	来客数の動き	・前年比で来客数が激減した原因は、前年は人気映画の影響で売上が良かったこと、今年は入替え工事による大型店舗が閉鎖したことである。全体的な景気観よりも、直接的な原因で苦戦している。
		その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	販売量の動き	・今月は週末に2度も台風に見舞われたため、行楽シーズンにもかかわらず売上が低迷している。
		高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は2週も週末に台風が来てキャンセルが多く出て客足が落ちた。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・大企業の収益が上方修正されるなか、地方の飲食業界にその影響、恩恵はない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		観光ホテル（総務）	販売量の動き	・今月に限ってみれば、前月、前年同月に比べ、落ちている。熊本地震後の復興特需の反動減が見られる月が出てきている。
		通信会社（企画担当）	競争相手の様子	・他業種の参入が活発化している。客の要求も複雑になっているため、本業の割合が大きい案件と小さい案件で競争が激しくなってきた。
		競輪場（職員）	競争相手の様子	・各地の記念レースの発売額が、前年比で大幅減になっている。
		美容室（経営者）	お客様の様子	・3か月前はまだ店ができておらず10月から開店したが、広告を出しても客の反応がない。
		音楽教室（管理担当）	来客数の動き	・最近は月謝制度が好まれない。お金にシビアである。
	×	商店街（代表者）	来客数の動き	・台風等、天候が悪い1か月で来街客数、売上全てにおいて前年、3か月前を下回っている。
	×	一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外	・当県は台風は直撃しなかったが、ここにきてサニーレタスが影響を受けている。関東方面ではキュウリに影響があったため、当県のキュウリが高騰し、50本入り5キロが一箱8,000～9,000円で、現在も5,000円と一本当たり100円くらいである。販売が厳しいなか、原価が高騰している。
	×	乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・天候の影響もあり、週末の来客数は大幅に減少した。
	×	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月は総選挙があり会社関係が動かなくなるので閑散期であった。来客数の伸びがなく悪かった。
	企業 動向 関連  (九州)		農林水産業（営業）	受注量や販売量の動き
		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・夏場の売上が期待したほどでなく、その反動かもしれないが今月は居酒屋、スーパーマーケット関連の注文が全体的に多い。冷凍食品加工向けの原料肉も生産量が多い割には発注が順調である。当月も台風が2度も接近したが、どちらも週末であったため工場の生産、売上商品にも大きな影響はなかった。これも好調の要因である。
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・例年では価格が上がる時期に上がらなかったこともあり厳しい。10月中旬から上向きであったが、この2週間の台風で生育に影響が出ている。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・季節的に販売量が増える時期である。
		金属製品製造業（事業統括）	受注価格や販売価格の動き	・例年下期に受注や売上は増加傾向になるが、例年以上の受注量の増加である。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が多くなってきている。平均で5～10%くらい増えている。
		電気機械器具製造業（取締役）	受注量や販売量の動き	・一部の受注に関して、大手からの価格提示に対して価格交渉ができるようになった。
		その他製造業〔産業廃物処理業〕	取引先の様子	・半導体関連では好調で見通しも良くなっているが、電子部品関連では材料調達がうまくいかず低調である。
		建設業（社員）	取引先の様子	・下請業者が業種によっては、不足気味になっているが、土木工事の下請施工に関しては見積依頼が少ない。官公庁の発注が下火になっている。土木工事の民間工事が少ない。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・百貨店やスーパーマーケットの売上が増加しているほか、新車や家電製品の販売も増加傾向にある。また、住宅販売が高水準で推移している。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・一戸建ての住宅会社は増税を予想していることもあるが宅地の仕入れを積極的に行っている。客の方も住宅ローンの受付が増えておりやや良くなっている。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・需資は堅調である。取引先から売上減少等のマイナス要因を聞くことがない。
		新聞社〔広告〕（担当者）	受注量や販売量の動き	・総選挙で広告発注が大きく動いた。
		経営コンサルタント（社員）	受注量や販売量の動き	・客が高額商品に目を向け、高額商品の在庫が少なくなっている。
	繊維工業（営業担当）	競争相手の様子	・雨の日が多く、薄物の商品があまり売れず、工場も暇であった。弊社は、制服を手掛けているので影響はないが、運送料と最低賃金の値上がりは、厳しい。	
	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・10月の売上指数は103だが、今年の10月は100を割り込みそうである。指数で一番大きいのが2月の142%だが、2月の売上見込みは今のところ前年比90%程度である。	



分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・秋口である今が一番活性化していないといけないのだが、受注が思うようになっていない。10月中旬から注文が来なくなったという話も聞く。
		建設業（経営者）	取引先の様子	・客の話からも、以前と変わらない。
		輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・前月同様、貨物が当地に集中しているため倉庫が不足している。貨物の荷動きが好調であれば自社倉庫内で補えるものもあるが、入庫が多く出庫が少ないため、各社共に頭を抱えている。人も物も当地に集中していることも当業界を悪くしている要因である。
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・急に冷え込んできたので、季節商材の荷動きが活発になってきている。しかし肝心の配送業者が人員不足で値上げ及び配送条件交渉を提案しており、景気に水を差している。
		金融業（得意先担当）	取引先の様子	・取引先との話だが、株価上昇を好感しているが地方まで景気が届いている様子がない。
		金融業（営業）	取引先の様子	・取引先から、景気はある程度の水準を維持している。受注したいが人が足りず、今以上の受注はできないとの声を聞く。
		経営コンサルタント（社員）	それ以外	・10月中旬にセミナーを開催したが、一般の参加者はいつもと同じようであった。
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・取引先に業況や投資計画について聞くと、変化がない会社が多い。
		その他サービス業〔コンサルタント〕（代表取締役）	取引先の様子	・九州北部豪雨の影響で保留になっていた自治体の調査や計画策定業務が、復興計画の策定に伴って、改めて開始される状況になった。そのため、契約の運びとなるものもあり、景気への悪影響が薄らいでいる。
		その他サービス業〔物品リース〕（支社長）	取引先の様子	・単純な設備更新や補助金を活用したリースなどの引き合いは増加している。地方公共団体からも問い合わせが増加している。連携の話も多く、今後はSPCを組成して、事業を行う案件が増加する。取引先は安定に推移しているが企業によって差がある。
		金融業（従業員）	取引先の様子	・10月に入って台風が2度も来る等、小売業、観光業は若干潤わなかった。
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・夏場から景気が弱含んでいるが、特に10月は天候不順により全般的に小売業は悪い。
	x	-	-	-
雇用 関連  (九州)		人材派遣会社（社員）	雇用形態の様子	・派遣している非正規社員の中で、正社員としての就職が決まったとって契約途中で辞める者が数人いた。派遣社員の中にも、正社員を目指したいという理由で契約を更新しないスタッフが徐々に出てきている。正社員の求人が増えている。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・引き続き売手市場、残業抑制等で企業からの問い合わせが増えている。
		職業安定所（所長）	求人数の動き	・求人数の増加が顕著であり、それに伴って正社員求人も増加している。
		民間職業紹介機関（社員）	求人数の動き	・契約終了も新規依頼も微増であるが、若干依頼件数が上回っている。
		人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者数が求人数に対し、圧倒的に不足している。企業から提示される派遣社員の時給は上昇を続けているが、正社員求人数も増加しているため派遣会社への新規登録者数が減少している。各業界の景気は良く、人手不足が続いており求人数は多く獲得できているのに、人材が不足しているため紹介できず、成約に至らないことが非常に多い。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・総選挙事務の求人が一時的に増えたが、長期案件は落ち着いている。生命保険会社事務所が多い地域であり、年末調整要員等の需要は増えている。
		人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・ホテルでの婚礼を請け負っているが、披露宴規模も縮小傾向で、婚礼部門を縮小するホテルも増えている。
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・当社の求人情報の取扱件数の減少に歯止めが掛からない。採用難が大きな要因である。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	それ以外	・熊本地震から丸1年の節目を過ぎ、日常生活における復興需要も一段落した。企業の販売促進活動においても平時の対応が多く見られる。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		職業安定所（職員）	それ以外	・自動車部品製造、食品製造等の製造業等の景気は良くなっているが、小売業等は景気が悪くなっており、平均すると変わっていない。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・建設、福祉・看護、警備等の人材不足分野を中心に求人は増加している。ただし、これらの分野は求職者が少ない。また、接客業や調理、理美容業や介護等のサービス業の分野も求職者が少なく、求人はあるが充足が難しい。
		職業安定所（職業紹介）	求人数の動き	・引き続き求人数の増加が見られ管内の有効求人倍率は高い水準で推移している。
		学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き	・新卒採用に向けた求人票の受理件数は、前月、前年と比較して若干減少している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・受注経緯を見ると純粋な業務繁忙のための追加人員枠ではなく、社員の欠員補充等での依頼が多い。地方の一部地域で求人数が増えている所はあるが、中心地では求人数が落ちている。
	x	-	-	-

## 12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・割引料金は撤廃したが、それでも大きな値崩れはしておらず、利用人数もそれほど大幅には減少していない。
		一般小売店〔鞆・袋物〕（経営者）	来客数の動き	・インバウンド客の購買力が回復している。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年を上回っている。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・3か月前に比べ、客室稼働率の前年同月実績との対比がプラスに転じてきている。ただし、前年実績を上回る稼働率ではあるものの、台風接近に伴うキャンセルの影響も受けており、高稼働とはならなかった。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・前年に比べて販売数量が1.2～1.5倍ほどになっている。ただし、単価の下落分もあるので実際の売上高は微増である。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・話題性のある新商品の発売があり、販売数が例月の130%増と大きく伸ばしている。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場者数が3か月前より29%増、前年同月比では11%増である。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・前年同様に台風の影響で1日臨時休業となったが、前年売上はクリアできた。しかし、内容的には地元客で伸びたのではなく、インバウンド客による底上げがプラスとなった。化粧品やキャラクターグッズ等が人気となっている。
		スーパー（販売企画）	来客数の動き	・競合店の新規出店による客数減が続いている。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・夏のシーズンに比べれば落ちてきたものの、10月はイベント続きで景気は良くなると予測していた。しかし、台風続きでなかなか伸びない。
		観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・沖縄への観光入域客数は過去最高の状態である。そのため、沖縄はホテルの建設ラッシュである。一方で、民泊、不法民泊も増えている。競争相手がどんどん増えていることから、客の取り合いになっている。当社の売上高、利用者数は前年と比べて下がっている。飲食部門もランチの売上は減っている。競争相手が増え、また、サラリーマンの財布のひもも固まっている。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・携帯業界が狭い市場で潰し合っているように感じられる。解約して他社で新規契約するというケース等が多くみられる。
	その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	来客数の動き	・10月の予約状況について、当初は前年より良い状況であったが、2週連続で週末に台風が接近し大幅なキャンセルが出たため、前年を割る件数となった。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	来客数の動き	・10月は例年落ち込む月ではあるが、今年は例年以上に平日の地元客の動きが鈍い。周りのホテルの建築ラッシュで活気はあるが、飲食は地元客が低価格店に流れている。インバウンド客は、SNSの影響で行列店との差が大きい。
	×	商店街（代表者）	競争相手の様子	・商店街は個店の集まりであり、価格競争で大型店にやられているという話をよく聞く。個店は大型店とは違い、なかなか値段を下げられず、四苦八苦している様子である。店を辞めようとしても、様々な問題があって辞められないというのが現状のようである。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・観光土産用や業務用の販売量が順調に推移しており、全体的にやや良くなっている。
		建設業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・3か月前に比べて、新築の契約金額が増えた。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共向け出荷は減少、民間は横ばい、全体でほぼ横ばいとなった。
		-	-	-
	×	-	-	-
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・ほとんどの業種で人材不足による求人募集があり、派遣依頼も増え続けている。既存ユーザーもこれまでの職種以外に、従来依頼のなかった幅広い職種での依頼があり、新規も増えている。また地域をまたいで、遠方からの依頼や直接来社しての依頼もある。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・仕事の依頼が増えているという情報が多い。
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・衆議院選挙関連の単発の仕事の求職者は何とか確保できたが、長期案件の求職者は少なかった。
		求人情報誌製作会社（編集室）	求人数の動き	・3か月前と比較すると週平均で19件ほど減少はしているが、大きな増減はみられなかった。
		-	-	-
	×	-	-	-